

平成27年度 都市農村共生・対流総合対策交付金

## 観光と連携したグリーン・ツーリズムの推進

### 【報告書】



平成28年3月

株式会社 農協観光

# 目 次

|                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 第1章 取組みの目的と概要                  | P 2   |
| 1. 取組の目的                       |       |
| 2. 取組の概要                       |       |
| 第2章 農林漁家民宿開業・運営の手引き作成          | P 6   |
| 1. 農林漁家民宿・手引き作成委員会の設置・運営       |       |
| 2. 調査の実施                       |       |
| 3. 手引きの普及                      |       |
| 第3章 セミナーの開催                    | P 2 2 |
| 1. プラン造成講座／リスクマネジメント研修         |       |
| 2. 農林漁家民宿開業・運営の手引き活用／ツアー検証セミナー |       |
| 第4章 ツアーの検証                     | P 5 6 |
| 1. 実施概要                        |       |
| 2. アンケートの結果と検証                 |       |
| 第5章 ツーリズムEXPOジャパンへの出展          | P 7 2 |
| 1. 実施概要                        |       |
| 2. 来場者アンケート                    |       |
| 3. 出展地域アンケート                   |       |
| 第6章 まとめ                        | P 9 0 |
| 1. 現状の課題                       |       |
| 2. 今後に向けての取組                   |       |

## 第1章 取組の目的と概要

## 1. 取組の目的

グリーン・ツーリズムは、農山漁村の魅力を主に都市住民が体験・交流し、地域の農林漁業および生産者のサポーターとなってもらうことを目的に各地で取組みが進んでいる。

ここ数年来の旅行形態はニーズの多様化・細分化によりマスツーリズムからニューツーリズムへの移行が進んでおり、「田園回帰」とよばれる動きも生まれてきている。グリーン・ツーリズムを通じ、都市住民が農山漁村の価値や魅力に直接触れ新たなライフスタイルを実現することで、日本全体が真に豊かな社会になることに貢献することがますます期待されている。

また新たな潮流として、年々増加する訪日外国人においても、都市部での観光やショッピングのみならず、農山漁村地域における体験や交流に対するニーズの高まりが期待されている。

こうした現況のなか、農家民宿は、訪問者に日本の農林漁業や農山漁村への理解促進の機会を提供するだけでなく、受入れる農家にとっては所得向上のほか、都市住民との交流を通じて自らの生活文化を見つめなおし、地域の価値を再発見をすることにもつながることから、地域における交流の拠点として「農林漁家民宿（※1）」の役割はますます大きくなることが想定される。

本事業は農家民宿に着目し、「農林漁家民宿開業・運営」の手引き作成、プラン造成およびリスクマネジメントに関するセミナーの開催、ツアーの検証を行うとともに、ツーリズムEXPOジャパンへの出展等を通じて地域における受入体制の支援・強化を通じて観光と連携したグリーン・ツーリズムを推進することにより交流人口の拡大に資することを目的としたものである。

※1 農林漁家民宿（本報告書では、「農家民宿」という。）

農家民宿とは、農林漁家が宿泊者を宿泊させ、自ら生産した農林水産物や地域の食材を用いた料理を提供したり、農林漁業体験メニューを提供したりする宿泊業です。都市住民の農山漁村地域への関心の高まりへの対応や、地域活性化の一環として、各地で地域資源を活用した取組が行われています。

## 2. 取組の概要

### (1) 農林漁家民宿の開業・運営の手引き作成

農林漁家民宿の経営モデルの調査・分析などを行ったうえで、農林漁家向けの開業・経営の手引きを作成する。

### (2) 委員会の設置及び運営

(1)の手引き作成の検討を行うため、委員を選定のうえ委員会を設置し、その運営を行う。

### (3) セミナーの開催

地域の農林漁業関係者と観光関係者等との連携による、農林漁家民宿への宿泊を含むグリーン・ツーリズムのプラン開発及びグリーン・ツーリズム推進に関する法令や安全管理等に関するセミナーの開催（2回）。また（1）で作成する手引きや（4）で行うツアーの検証結果等に関するセミナーの開催（1回）。

### (4) ツアーの検証

(3)のセミナーで造成されたプランを催行のうえ検証する。プランの販売にあたっては、複数の旅行会社の販売チャネルを活用する（10コース）。

### (5) ツーリズムEXPOジャパン（平成27年9月開催）への出展

都市住民に対しグリーン・ツーリズムをPRするため、ツーリズムEXPOジャパンに出展する。出展にあたってはグリーン・ツーリズムの先進地域の協力を得るものとする（5地域）。



## 第2章 農林漁家民宿開業・運営の手引き作成

## 第2章 農林漁家民宿開業・運営の手引き作成

### 1. 農林漁家民宿・手引き作成委員会の設置・運営

#### (1) 委員会の設置

農業経営学の分野で地産地消・地域づくりを専門分野とする中村貴子講師（京都府立大学生命環境科学研究科農業経営学研究室）、体験活動におけるリスクマネジメントの権威でもあり宿泊施設の許認可事業にも精通する早川修弁護士（早川総合法律事務所）、自治体をはじめ多様な地域団体・個人が連携して農家民宿を中心としたグリーン・ツーリズムに取り組んでいる（一社）みなかみ町体験旅行の北山郁人常務理事を構成員とした。

また事務局は、（株）農協観光と（一社）全国農協観光協会および（一財）都市農山漁村交流活性化機構が連携して務めた。

|        |       |           |               |                     |
|--------|-------|-----------|---------------|---------------------|
| 委員（座長） | 中村 貴子 | 京都府立大学    | 生命環境科学研究科     | 講師                  |
| 委員     | 早川 修  | 早川総合法律事務所 | 弁護士           |                     |
| 委員     | 北山 郁人 | 一般社団法人    | みなかみ町体験旅行     | 常務理事                |
| 委員補助   | 坊 安恵  | 京都府立大学    | 生命環境科学研究科     | 共同研究員               |
| 事務局    | 花垣 紀之 | 一般財団法人    | 都市農山漁村交流活性化機構 | 業務部次長               |
| 事務局    | 小池 哲二 | 一般社団法人    | 全国農協観光協会      | 地域振興推進部 専任部長        |
| 事務局    | 出口 高靖 | 一般社団法人    | 全国農協観光協会      | 子ども交流プロジェクト事務局長     |
| 事務局    | 前場 大樹 | 株式会社      | 農協観光 旅行事業部    | グリーンツーリズム課 専任マネージャー |

#### (2) 委員会の運営

「農林漁家民宿・手引き作成委員会」において、本章2の調査結果も踏まえて課題を整理・分析し、農家民宿における運営の実態を踏まえた上で手引きの作成を行った。（全4回とも東京にて開催）

##### 1) 1回目

①開催日：平成27年7月10日（金）

②検討事項：

- ・実施の経過について（交付金事業計画、取組の目的と内容）
- ・手引き作成について（委員会運営、スケジュール）
- ・手引きの冊子形態について

##### 2) 2回目

①開催日：平成27年10月9日（金）

②検討事項：

- ・手引き作成について（構成・編集・本文）
- ・農林漁家民宿調査表について



### 3) 3回目

①開催日：平成27年12月4日（金）

②検討事項：

- ・手引き作成について（委員・事務局・農林水産省からの修正意見の整理と対応方法）
- ・完成までのスケジュールについて

### 4) 4回目

①開催日：平成28年2月5日（金）

②検討事項：

- ・手引き作成について（委員・事務局・農林水産省からの修正意見の整理と対応方法）
- ・農林漁家民宿開業・運営の手引き活用／ツアー検証セミナーの開催について

## 2. 調査の実施

全国9ブロックから1地域（受入協議会等）ずつ選定し、農林漁家民宿経営者の実態調査、都市生活者への意識調査を行った。分析・整理の結果は、手引きへ反映するとともにセミナーにて発表した。

地域の選定にあたっては、農林漁家民宿が整備されているものの課題を抱え、それを乗り越えようとしている地域とし、農・林・漁の地域をできる限り配分することを意識した。

調査地域：北海道 上川郡東川町（ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会）

東北 秋田県大館市（大館市まるごと体験推進協議会）

関東 利根郡みなかみ町（みなかみ町体験旅行）

北陸 石川県鳳珠郡能登町（春蘭の里実行委員会）

東海 岐阜県郡上市（郡上田舎の学校）

近畿 京都府綾部市（あやべ観光交流ネットワーク推進協議会）

中四国 広島県山県郡北広島町（北広島町農山村体験推進協議会）

九州 宮崎県小林市（北きりしま田舎物語推進協議会）

沖縄 沖縄県国頭郡東村（東村観光推進協議会）

(1) 農林漁家民宿経営者の実態調査

|     |   |
|-----|---|
| 目的  | 農林漁家民宿（以下、農家民宿）経営者の運営や課題について明らかにする  |
| 方法  | 全9ブロックのモニター地域の協議会よりヒアリングおよびアンケートの配布、回収  |
| 実施日 | 平成27(2015)年8月に実施  |
| 対象者 | モニター地域の協議会に加入する農家民宿経営世帯、各30世帯   |
| 回収数 | 114世帯（42.2%）<br>北海道：29世帯、東北：18世帯、関東：7世帯、東海：3世帯、北陸：5世帯、近畿：2世帯、中国・四国：14世帯、九州：22世帯、沖縄：14世帯 |

1) 農家民宿経営主体者について

農家民宿の経営主体者の概要について、出身地は、表1-1より現市町村内出身者が90世帯（78.9%）、現市町村外出身者が21世帯（18.4%）、性別は、表1-2より男性が47世帯（41.2%）、女性が64世帯（56.1%）となっている。また、年代は表1-3より最も多い順に60歳代が60世帯（52.6%）、70歳代以上が21世帯（18.4%）、50歳代が13世帯（11.4%）となっており、60歳代以上の経営者が71.1%を占めている。農林漁家形態は、表1-4より専業が59世帯（51.8%）、兼業が43世帯（37.7%）、非農林漁家が9世帯（7.9%）である。

表1 農家民宿経営主体者について

1-1 出身地

| カテゴリ    | 件数  | (全体)% |
|---------|-----|-------|
| 現市町村内出身 | 90  | 78.9  |
| 現市町村外出身 | 21  | 18.4  |
| 不明      | 3   | 2.6   |
| 合計      | 114 | 100   |

1-2 性別

| カテゴリ | 件数  | (全体)% |
|------|-----|-------|
| 男    | 47  | 41.2  |
| 女    | 64  | 56.1  |
| 不明   | 3   | 2.6   |
| 合計   | 114 | 100   |

1-3 年代

| カテゴリ   | 件数  | (全体)% |
|--------|-----|-------|
| 30歳代以下 | 10  | 8.8   |
| 40歳代   | 7   | 6.1   |
| 50歳代   | 13  | 11.4  |
| 60歳代   | 60  | 52.6  |
| 70歳代以上 | 21  | 18.4  |
| 不明     | 3   | 2.6   |
| 合計     | 114 | 100   |

1-4 農林漁家形態

| カテゴリ   | 件数  | (全体)% |
|--------|-----|-------|
| 専業農林漁家 | 59  | 51.8  |
| 兼業農林漁家 | 43  | 37.7  |
| 非農林漁家  | 9   | 7.9   |
| 不明     | 3   | 2.6   |
| 合計     | 114 | 100   |

同居家族世代数は、表1-5より最も多い順に1世代が47世帯（41.2%）、2世代が39世帯（34.2%）、3世代以上が21世帯（18.4%）となっており、夫婦世帯の経営が多くなっている。また、同居家族構成は表1-6に示す通りとなっている。

農家民宿の受入体制は、表1-7より69世帯（60.5%）が夫婦での受入、23世帯（20.2%）は家族全員での受入となっている。また、表1-9より1世代の世帯の夫婦での受入は42世帯であり、65世帯（57.0%）が同居家族全員の受入体制となっている。また、1世代の世帯は夫婦での受入、3世代以上の世帯は家族全員での受入の傾向がみられた。

農家民宿の受入開始時期は、1994年以前、1995～2002年、2003～2007年、2008年の4区分に分類した。つまり、1995年の農山漁村体験民宿登録制度の運用開始、2003年の旅館業法の規制緩和の実施、2008年の子ども農山漁村交流プロジェクト（以下、子プロ）の開始という農家民宿の開業に影響を及ぼした3つの地点に着目し、分類した。表1-8に示す通り、2008年以降が最も多く、71世帯（62.3%）が開始している。また、農家民宿の規制緩和が開始される以前に当たる2002年以前には、25世帯（22.3%）である。

表1 農家民宿経営主体者について

1-5 同居家族世代数

| カテゴリ  | 件数  | (全体)% |
|-------|-----|-------|
| 1世代   | 47  | 41.2  |
| 2世代   | 39  | 34.2  |
| 3世代以上 | 21  | 18.4  |
| 不明    | 7   | 6.1   |
| 合計    | 114 | 100   |

1-6 同居家族（複数回答）

| カテゴリ    | 件数  | (全体)% |
|---------|-----|-------|
| 父       | 13  | 11.4  |
| 母       | 29  | 25.4  |
| 配偶者     | 98  | 86.0  |
| 子ども     | 43  | 38.4  |
| 子どもの配偶者 | 5   | 4.5   |
| 孫       | 9   | 8.0   |
| その他     | 4   | 3.6   |
| 不明      | 7   | 6.3   |
| 合計      | 114 | 100   |

1-7 受入体制

| カテゴリ | 件数  | (全体)% |
|------|-----|-------|
| 主に1人 | 11  | 9.6   |
| 夫婦   | 69  | 60.5  |
| 家族全員 | 23  | 20.2  |
| その他  | 8   | 7.0   |
| 不明   | 3   | 2.6   |
| 合計   | 114 | 100   |

1-8 開始時期

| カテゴリ       | 件数  | (全体)% |
|------------|-----|-------|
| 1994年以前    | 12  | 10.5  |
| 1995～2002年 | 13  | 11.4  |
| 2003～2007年 | 6   | 5.3   |
| 2008年以降    | 71  | 62.3  |
| 不明         | 12  | 10.5  |
| 合計         | 114 | 100   |

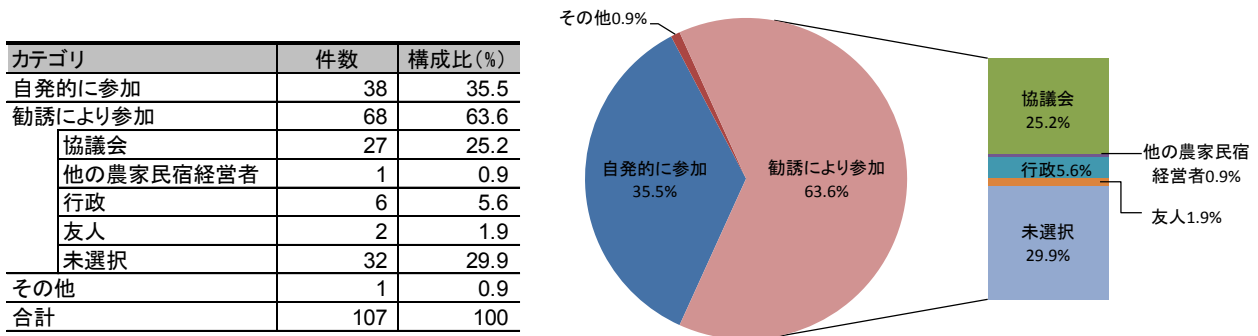
1-9 農家民宿経営世帯の家族世代別にみた家族の受入体制

| 上段:度数<br>下段:% | 家族の受入体制 |      |      |      |      |
|---------------|---------|------|------|------|------|
|               | 合計      | 主に1人 | 夫婦   | 家族全員 | その他  |
| 全体            | 107     | 8    | 69   | 23   | 7    |
|               | 100.0   | 7.5  | 64.5 | 21.5 | 6.5  |
| 1世代           | 47      | 4    | 42   | -    | 1    |
|               | 100.0   | 8.5  | 89.4 | -    | 2.1  |
| 2世代           | 39      | 3    | 22   | 10   | 4    |
|               | 100.0   | 7.7  | 56.4 | 25.6 | 10.3 |
| 3世代以上         | 21      | 1    | 5    | 13   | 2    |
|               | 100.0   | 4.8  | 23.8 | 61.9 | 9.5  |

2) 農家民宿の開業のきっかけ

農家民宿の開業のきっかけを尋ねたところ、図表2-1の示す通りである。68世帯（63.6%）が勧誘により、また38世帯（35.5%）が自発に参加していることがわかった。勧誘により参加した世帯のうち、勧誘先の特定ができない32世帯を除外した残り36世帯をみると、75.0%にあたる27世帯が協議会の勧誘により参加している。

図表 2-1 農家民宿の開業のきっかけ



次に、表 2-2 より開業時期別にみた開業のきっかけをみると、2002 年以前は自発的に開業する世帯に特徴がみられ、2003 年から 2007 年に開業した世帯は勧誘により参加している特徴がみられる。

表 2-2 農家民宿の開業時期別にみた開業のきっかけ

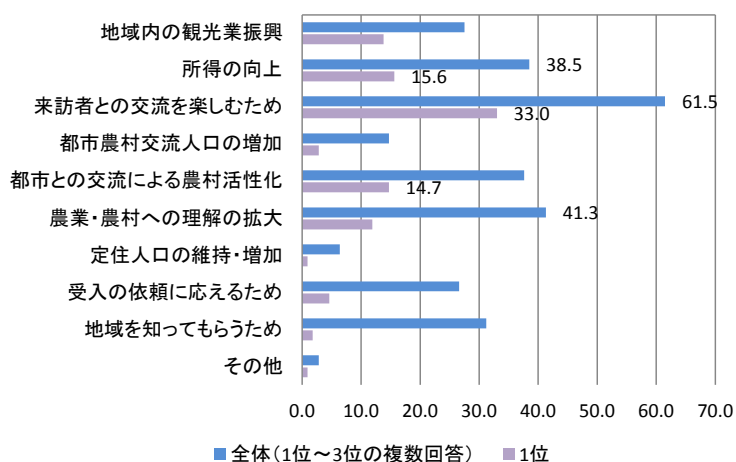
| 上段:度数      | 受入のきっかけ(大枠) |        |         |     |
|------------|-------------|--------|---------|-----|
|            | 合計          | 自発的に参加 | 勧誘により参加 | その他 |
| 全体         | 96          | 32     | 64      | -   |
|            | 100.0       | 33.3   | 66.7    | -   |
| 1994年以前    | 12          | 7      | 5       | -   |
|            | 100.0       | 58.3   | 41.7    | -   |
| 1995~2002年 | 11          | 6      | 5       | -   |
|            | 100.0       | 54.5   | 45.5    | -   |
| 2003~2007年 | 5           | 1      | 4       | -   |
|            | 100.0       | 20.0   | 80.0    | -   |
| 2008年以降    | 68          | 18     | 50      | -   |
|            | 100.0       | 26.5   | 73.5    | -   |

### 3) 農家民宿の開業目的

農家民宿の開業目的を上位 3 つ尋ねたところ、図表 3-1 のようになった。全体、つまり開業目的の上位 1 位から 3 位までの複数回答でみると、最も多いのは、「来訪者との交流を楽しむため」が 67 世帯 (61.5%) となっており、続いて、「農業・農村への理解拡大」が 45 世帯 (41.3%)、「所得の向上」が 42 世帯 (38.5%)、「都市との交流による農村活性化」が 41 世帯 (37.6%) となっている。また、1 番の目的に限定してみると、最も多い順から「来訪者との交流を楽しむため」が 36 世帯 (33.0%)、続いて、「所得の向上」が 17 世帯 (15.6%)、「都市と農村交流人口の増加」が 16 世帯 (14.7%) となっている。

図表 3-1 農家民宿の開業目的

| カテゴリ           | 農家民宿の開業目的    |        |     |        |
|----------------|--------------|--------|-----|--------|
|                | 全体(複数回答、3個迄) |        | 1位  |        |
|                | 件数           | 構成比(%) | 件数  | 構成比(%) |
| 地域内の観光業振興      | 30           | 27.5   | 15  | 13.8   |
| 所得の向上          | 42           | 38.5   | 17  | 15.6   |
| 来訪者との交流を楽しむため  | 67           | 61.5   | 36  | 33.0   |
| 都市農村交流人口の増加    | 16           | 14.7   | 3   | 2.8    |
| 都市との交流による農村活性化 | 41           | 37.6   | 16  | 14.7   |
| 農業・農村への理解の拡大   | 45           | 41.3   | 13  | 11.9   |
| 定住人口の維持・増加     | 7            | 6.4    | 1   | 0.9    |
| 受入の依頼に応えるため    | 29           | 26.6   | 5   | 4.6    |
| 地域を知ってもらうため    | 34           | 31.2   | 2   | 1.8    |
| その他            | 3            | 2.8    | 1   | 0.9    |
| 合計             | 109          | 100    | 109 | 100    |



次に、表 3-2 より農家民宿開業時期別にみた開業目的をみると、農家民宿の体制整備が出来る 1994 年以前に開業した世帯の目的は、「地域内の観光業促進」、「所得の向上」、「受入の依頼に応えるため」に、登録制度の運用開始後から規制緩和が行われるまでの 1995～2002 年に開業した世帯は、「所得向上」、「来訪者との交流を楽しむため」、「地域を知ってもらうため」に、規制緩和後から子プロが開始されるまでの 2003～2007 年は、「都市との交流による農村活性化」、「定住人口の維持・増加」に、子プロ開始後の 2008 年以降は、「農業・農村への理解拡大」にそれぞれ特徴がみられる。

表 3-2 農家民宿開業時期別にみた開業目的

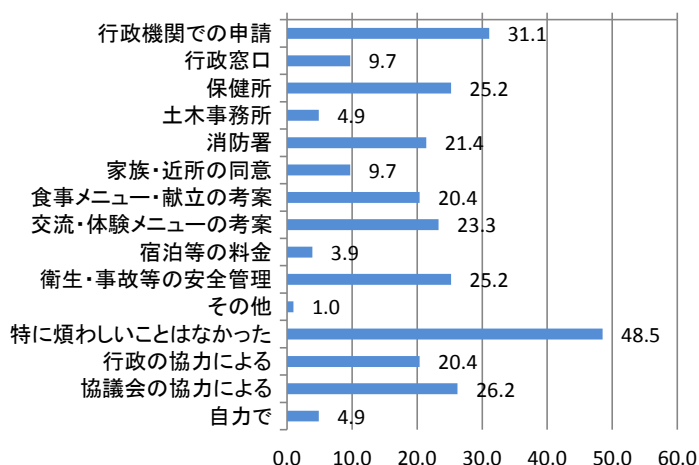
| 上段:度数      | 農家民宿開業の目的 |           |       |               |             |                |              |            |             |             |     |  |
|------------|-----------|-----------|-------|---------------|-------------|----------------|--------------|------------|-------------|-------------|-----|--|
| 下段:%       | 合計        | 地域内の観光業振興 | 所得の向上 | 来訪者との交流を楽しむため | 都市農村交流人口の増加 | 都市との交流による農村活性化 | 農業・農村への理解の拡大 | 定住人口の維持・増加 | 受入の依頼に応えるため | 地域を知ってもらうため | その他 |  |
| 全体         | 98        | 28        | 37    | 59            | 15          | 35             | 40           | 6          | 28          | 32          | 3   |  |
|            | 100.0     | 28.6      | 37.8  | 60.2          | 15.3        | 35.7           | 40.8         | 6.1        | 28.6        | 32.7        | 3.1 |  |
| 1994年以前    | 12        | 8         | 9     | 3             | 1           | 1              | 1            | 1          | 5           | 3           | -   |  |
|            | 100.0     | 66.7      | 75.0  | 25.0          | 8.3         | 8.3            | 8.3          | 8.3        | 41.7        | 25.0        | -   |  |
| 1995～2002年 | 11        | 3         | 8     | 9             | -           | 3              | 2            | -          | 2           | 5           | -   |  |
|            | 100.0     | 27.3      | 72.7  | 81.8          | -           | 27.3           | 18.2         | -          | 18.2        | 45.5        | -   |  |
| 2003～2007年 | 6         | 1         | 1     | 3             | 1           | 3              | 2            | 1          | 1           | 2           | -   |  |
|            | 100.0     | 16.7      | 16.7  | 50.0          | 16.7        | 50.0           | 33.3         | 16.7       | 16.7        | 33.3        | -   |  |
| 2008年以降    | 69        | 16        | 19    | 44            | 13          | 28             | 35           | 4          | 20          | 22          | 3   |  |
|            | 100.0     | 23.2      | 27.5  | 63.8          | 18.8        | 40.6           | 50.7         | 5.8        | 29.0        | 31.9        | 4.3 |  |

#### 4) 農家民宿開業にあたり苦労した点

農家民宿を開業するに当たり、苦労した点を複数回答にて尋ねたところ、「特に煩わしいことはなかった」が 50 世帯 (48.5%) と最も多く、続いて、「行政機関での申請」が 32 世帯 (31.1%)、「衛生・事故等の安全管理」が 26 世帯 (25.2%) となっている (図表 4)。「特に煩わしいことはなかった」に関しては、協議会 (27 世帯、26.2%) や行政 (21 世帯、20.4%) の協力によるものと回答しており、農家民宿の開業に当たり、協議会や行政が果たす役割の大きさがわかる。また、「行政機関での申請」に関しては、保健所 (26 世帯、25.2%)、消防署 (22 世帯、21.4%) での申請が苦労されていることがわかる。「知識不足のため」、「申請書類の作成や提出が煩わしかった」、「家の見取り図の作成」、「飲食店営業許可の要件を満たす準備」に苦労されている世帯があった中、「下見をせず、高額な火災報知機を強制的に設置させられた」、「管轄行政内で第 1 号のため、行政の担当がおらず、たらいまわしになった」と農家民宿開業における行政業務の不備により行政機関での申請に苦労された世帯の存在が確認された。

図表 4 農家民宿の開業にあたり苦労した点 (複数回答)

| カテゴリ          | 件数  | 構成比(%) |
|---------------|-----|--------|
| 行政機関での申請      | 32  | 31.1   |
| 行政窓口          | 10  | 9.7    |
| 保健所           | 26  | 25.2   |
| 土木事務所         | 5   | 4.9    |
| 消防署           | 22  | 21.4   |
| 家族・近所の同意      | 10  | 9.7    |
| 食事メニュー・献立の考案  | 21  | 20.4   |
| 交流・体験メニューの考案  | 24  | 23.3   |
| 宿泊等の料金        | 4   | 3.9    |
| 衛生・事故等の安全管理   | 26  | 25.2   |
| その他           | 1   | 1.0    |
| 特に煩わしいことはなかった | 50  | 48.5   |
| 行政の協力による      | 21  | 20.4   |
| 協議会の協力による     | 27  | 26.2   |
| 自力で           | 5   | 4.9    |
| 合計            | 103 | 100    |



#### 5) 体験メニューの実施状況

農家民宿が提供する体験メニューの実施に関しては、表 5 の通りである。最も多い体験メニューは、農林漁業体験を 80 世帯 (70.2%) が提供しており、委託の 11 世帯 (9.6%) を合わせると 79.8%の農家民宿で実施しているのが実態である。続いて、調理体験は 70 世帯 (61.4%) が提供しており、委託の 7 世帯 (6.1%) を合わせると 67.5%が実施している。ただし、この回答に関しては、提供、もしくは委託内容の記述形式であることから、実際には提供、もしくは委託しているが記入していないケースが考えられる。

表5 体験メニューの実施状況

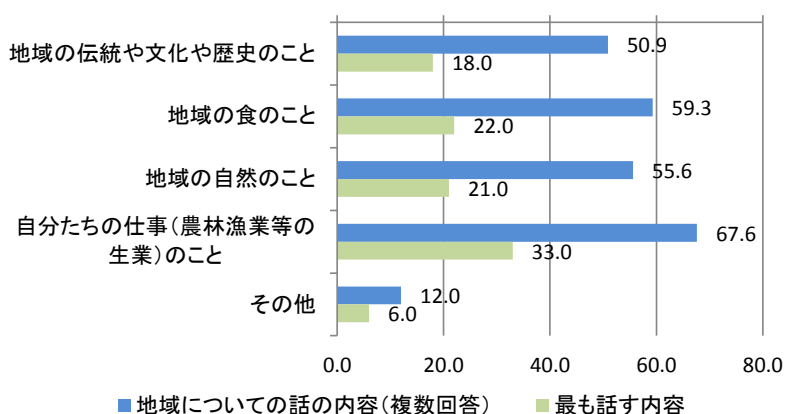
| カテゴリ    | 農林漁業体験     | 自然体験       | 調理体験       | 伝統・文化体験    | その他の体験      |
|---------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 体験の提供あり | 80<br>70.2 | 55<br>48.2 | 70<br>61.4 | 31<br>27.2 | 9<br>7.9    |
| 体験の委託あり | 11<br>9.6  | 10<br>8.8  | 7<br>6.1   | 7<br>6.1   | 0<br>0.0    |
| 記載なし    | 23<br>20.2 | 49<br>43.0 | 37<br>32.5 | 76<br>66.7 | 105<br>92.1 |
| 合計      | 114<br>100 | 114<br>100 | 114<br>100 | 114<br>100 | 114<br>100  |

6) 交流時における地域の話の内容

宿泊者との交流の時に話す地域の話の内容は図表6の通りである。最も多い地域の話の内容は、「自分たちの仕事（農林漁業等の生業）のこと」が73世帯（67.6%）、続いて「地域の食のこと」が64世帯（59.3%）、「地域の自然のこと」が60世帯（55.6%）となっている。102世帯の農林漁家のうち71.6%の農家民宿経営者が自身の生業である農林漁業のことを宿泊者との交流ツールにしていることがわかった。

図表6 交流時における地域の話の内容について

| カテゴリ                 | 交流時における地域の話の内容(複数回答) |        |     |        |
|----------------------|----------------------|--------|-----|--------|
|                      | 最も話す内容(1つ回答)         |        |     |        |
|                      | 件数                   | 構成比(%) | 件数  | 構成比(%) |
| 地域の伝統や文化や歴史のこと       | 55                   | 50.9   | 18  | 18.0   |
| 地域の食のこと              | 64                   | 59.3   | 22  | 22.0   |
| 地域の自然のこと             | 60                   | 55.6   | 21  | 21.0   |
| 自分たちの仕事(農林漁業等の生業)のこと | 73                   | 67.6   | 33  | 33.0   |
| その他                  | 13                   | 12.0   | 6   | 6.0    |
| 合計                   | 108                  | 100    | 100 | 100    |



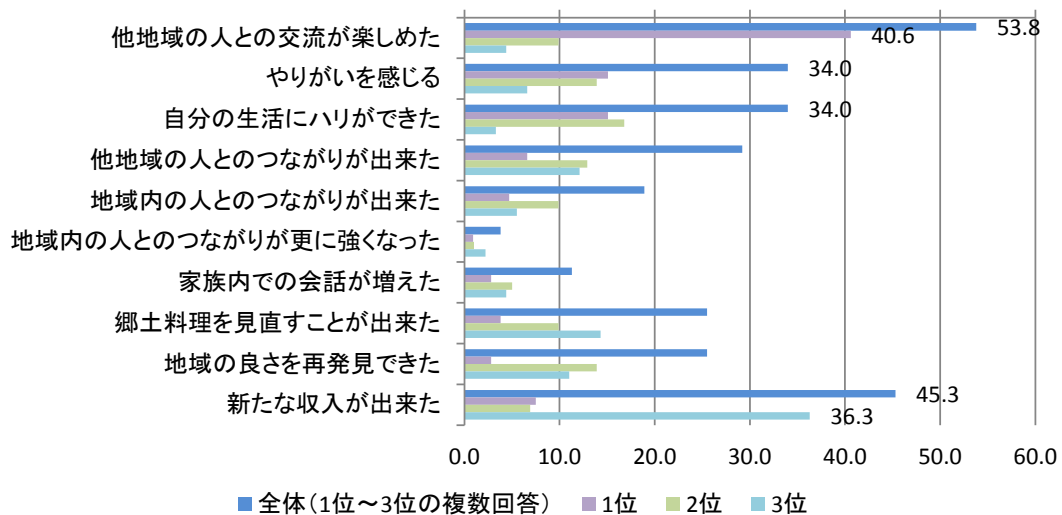
### 7) 農家民宿を開業してよかった点

農家民宿を開業して良かった点を上位3つまでの複数回答で尋ねたところ、最も多いのは「他地域の人との交流が楽しめた」が57世帯(53.8%)、続いて「新たな収入が出来た」が48世帯(45.3%)、「やりがいを感じる」と「自分の生活にハリができた」が36世帯(34.0%)となっている(図表7-1)。全体の回答と1位の回答に相違はみられないが、2位の回答では「地域の良さを再発見できた」が3番目に多く、3位の回答ではもっとも多い順に「新たな収入が出来た」、「郷土料理を見直すことができた」、「他地域の人とのつながりが出来た」となっている。

全体での回答において2番目に多いのは「新たな収入が出来た」であるが、上位3位で33世帯(36.3%)と最も多く回答されている。

表 7-1 農家民宿を開業して良かった点

| カテゴリ                | 農家民宿を開業して良かった点 |        |     |        |     |        |    |        |
|---------------------|----------------|--------|-----|--------|-----|--------|----|--------|
|                     | 全体(複数回答、3個迄)   |        | 1位  |        | 2位  |        | 3位 |        |
|                     | 件数             | 構成比(%) | 件数  | 構成比(%) | 件数  | 構成比(%) | 件数 | 構成比(%) |
| 他地域の人との交流が楽しめた      | 57             | 53.8   | 43  | 40.6   | 10  | 9.9    | 4  | 4.4    |
| やりがいを感じる            | 36             | 34.0   | 16  | 15.1   | 14  | 13.9   | 6  | 6.6    |
| 自分の生活にハリができた        | 36             | 34.0   | 16  | 15.1   | 17  | 16.8   | 3  | 3.3    |
| 他地域の人とのつながりが出来た     | 31             | 29.2   | 7   | 6.6    | 13  | 12.9   | 11 | 12.1   |
| 地域内の人とのつながりが出来た     | 20             | 18.9   | 5   | 4.7    | 10  | 9.9    | 5  | 5.5    |
| 地域内の人とのつながりが更に強くなった | 4              | 3.8    | 1   | 0.9    | 1   | 1.0    | 2  | 2.2    |
| 家族内での会話が増えた         | 12             | 11.3   | 3   | 2.8    | 5   | 5.0    | 4  | 4.4    |
| 郷土料理を見直すことが出来た      | 27             | 25.5   | 4   | 3.8    | 10  | 9.9    | 13 | 14.3   |
| 地域の良さを再発見できた        | 27             | 25.5   | 3   | 2.8    | 14  | 13.9   | 10 | 11.0   |
| 新たな収入が出来た           | 48             | 45.3   | 8   | 7.5    | 7   | 6.9    | 33 | 36.3   |
| 合計                  | 106            | 100    | 106 | 100    | 101 | 100    | 91 | 100    |



### 8) 農家民宿の開業後、苦労した点(複数回答)

反対に、開業後に苦労した点を複数回答可で尋ねたところ、表8-1の通りになった。最も多いのが「特にない」が44世帯(44.0%)、続いて「日常生活に負担が出る」が29世帯(29.0%)、「受入中の怪我や事故の対応」が20世帯(20.0%)となっている。



表 8-1 農家民宿の開業後、苦労した点（複数回答）

| カテゴリ                     | 件数  | 構成比(%) |
|--------------------------|-----|--------|
| 受入中の怪我や事故の対応             | 20  | 20.0   |
| 宿泊者の対応                   | 12  | 12.0   |
| 食事内容                     | 18  | 18.0   |
| 受入に対する情報交換をする人・場所がない     | 3   | 3.0    |
| 受入のサポートしてくれる人・場所・組織がない   | 2   | 2.0    |
| 受入のサポートしてくれる人・場所・組織を知らない | 2   | 2.0    |
| 家族の協力が得られない              | 6   | 6.0    |
| 日常生活に負担が出る               | 29  | 29.0   |
| その他                      | 6   | 6.0    |
| 特になし                     | 44  | 44.0   |
| 合計                       | 100 | 100    |

9) 農家民宿の開業・運営時の相談相手

農家民宿の開業・運営時の相談相手は表 9 の通りである。開業の手続きの相談相手は、協議会が 54 世帯 (55.1%)、行政 (40.8%) となっている。一方、農林漁業体験、食事や交流の相談相手は、家族が最も多く 60 世帯 (62.5%)、66 世帯 (72.5%) 42 世帯 (47.2%)、続いて協議会が 35 世帯 (36.5%)、31 世帯 (34.1%)、37 世帯 (41.6%) であり、他の農家民宿者が 31 世帯 (32.3%)、27 世帯 (29.7%)、31 世帯 (34.8%) となっている。運営の悩みの相談相手は、多い順に特になしが 30 世帯 (40.5%)、協議会が 26 世帯 (35.1%)、他の農家民宿者が 22 世帯 (29.7%) であり、宿泊者とのトラブルの相談相手は多い順に、特になしが 41 世帯 (61.2%)、協議会が 14 世帯 (20.9%) であり、運営全般の相談相手は多い順に協議会が 39 世帯 (48.8%)、家族が 29 世帯 (36.3%)、特になしが 20 世帯 (25.0%) である。

表 9 農家民宿の開業・運営時の相談相手（複数回答）

| カテゴリ         | 開業の<br>手続き | 農林漁業<br>体験 | 食事         | 交流         | 運営の悩み      | 宿泊者との<br>トラブル | 運営全般       |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------|------------|
| 家族           | 28<br>28.6 | 60<br>62.5 | 66<br>72.5 | 42<br>47.2 | 20<br>27.0 | 11<br>16.4    | 29<br>36.3 |
| 他の<br>農家民宿者  | 19<br>19.4 | 31<br>32.3 | 27<br>29.7 | 31<br>34.8 | 22<br>29.7 | 6<br>9.0      | 19<br>23.8 |
| 協議会          | 54<br>55.1 | 35<br>36.5 | 31<br>34.1 | 37<br>41.6 | 26<br>35.1 | 14<br>20.9    | 39<br>48.8 |
| 行政           | 40<br>40.8 | 12<br>12.5 | 5<br>5.5   | 12<br>13.5 | 7<br>9.5   | 2<br>3.0      | 9<br>11.3  |
| ご近所          | 2<br>2.0   | 9<br>9.4   | 6<br>6.6   | 6<br>6.7   | 1<br>1.4   | 0<br>0.0      | 3<br>3.8   |
| 地域内の<br>農林漁家 | 2<br>2.0   | 17<br>17.7 | 7<br>7.7   | 10<br>11.2 | 0<br>0.0   | 1<br>1.5      | 3<br>3.8   |
| その他          | 3<br>3.1   | 4<br>4.2   | 8<br>8.8   | 7<br>7.9   | 3<br>4.1   | 3<br>4.5      | 4<br>5.0   |
| 特になし         | 6<br>6.1   | 9<br>9.4   | 10<br>11.0 | 11<br>12.4 | 30<br>40.5 | 41<br>61.2    | 20<br>25.0 |
| 合計           | 98<br>100  | 96<br>100  | 91<br>100  | 89<br>100  | 74<br>100  | 67<br>100     | 80<br>100  |

## (2) 農家民宿の宿泊者調査

|      |   |
|------|---|
| 目的：  | 農家民宿に期待するハード・ソフトについて宿泊者のニーズを明らかにする  |
| 方法：  | 全9ブロックのモニター地域に、栃木県大田原市（大田原ツーリズム）を加えた10協議会で開催したモニターツアーにおける復路バス車内にて配布、回収              |
| 実施日： | 平成27年(2015)10月～平成28年(2016)2月に実施   |
| 対象者： | モニターツアー全参加者150名   |
| 回収数： | 143人（95.3%）<br>北海道：9人、東北：16人、関東：44人、東海：11人、北陸：10人、近畿：21人、<br>中国・四国：10、九州：11人、沖縄：11人 |

### 1) 農家民宿の宿泊者について

農家民宿の宿泊者の概要については、表1に示す通りである。宿泊者の性別は、表1-1より男性が54人（37.8%）、女性が86人（60.1%）となっており、年代は、表1-2より最も多い順に60歳代が34人（23.8%）、70代以上が24人（16.8%）、40歳代が23人（16.1%）、10歳代以下が20人（14.0%）となっている。宿泊者の職業をみると、表1-3より主婦の42人（29.4%）が最も多く、続いて、会社員・団体職員が39人（27.3%）、学生が25人（17.5%）となっている。また、ツアーの同行者は、表1-4より最も多い順に友人・知人・同僚が64人（44.8%）、続いて、家族・親類が52人（36.4%）、同行者なしの単独参加者は24人（16.8%）となっており、81.2%の宿泊者が仲間内や家族との参加が確認できた。

次に、宿泊者の居住地は、表1-5より関東地方（首都圏）が65人（45.5%）、近畿地方が34人（23.8%）となっており、69.3%が首都圏と京阪神であった。また、居住地を農業地域類型でみると、表1-6のようになる。農業地域類型とは、地域農業の構造を規定する基盤的な条件（DID面積<sup>1)</sup>、人口密度、宅地、耕地および林野の割合）に基づき、都市的地域>山間農業地域>平地農業地域・中間農業地域の決定順位で旧市町村<sup>2)</sup>を区分したものである。つまり、都市的地域はDID面積のある地域、平地農業地域は林野率が50%未満かつ耕地率20%以上の地域、中間農業地域は平地農業地域と山間農業地域の間にある地域、山間農業地域は林野率が80%以上の地域のことである<sup>3)</sup>。表1-6をみると、宿泊者の131人（91.6%）が都市的地域に居住していることがわかる。すなわち、今回のモニターツアーに参加した宿泊者は都市住民いえる。

### 注

- 1) DIDとは、人口集中地区（Densely Inhabited Districts）のことであり、原則として人口密度が4,000人/km<sup>2</sup>以上の国勢調査基本単位区等が市町村内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が5,000人以上を有する地区をいう。主に都市的地域と農村的地域の区分に使用されている。
- 2) 旧市町村とは、1950年2月1日時点での市町村のことである。
- 3) 農業地域類型区分は、短期の社会経済変動に対して比較的安定している土地利用指標を中心とした基準指標を用いている。詳細に農業地域類型区分での各地域区分の各基準指数指標を示すと次の通りである。

表 農業地域類型区分の基準指標

| 区分     | 基準指標   |
|--------|--|
| 都市的地域  | ・可住地に占めるDID面積が5%以上で、人口密度500人以上またはDID人口2万人以上の旧市町村。<br>・可住地に占める宅地等率が60%以上で、人口密度500人以上の旧市町村。<br>ただし、林野率80%以上のものは除く。                           |
| 平地農業地域 | ・耕地率20%以上かつ林野率50%未満の旧市町村。<br>ただし、傾斜1/20以上の田と傾斜8度以上の畑との合計面積の割合が90%以上のものは除く。<br>・耕地率20%以上かつ林野率50%以上で、傾斜1/20以上の田と傾斜8度以上の畑の合計面積の割合が10%未満の旧市町村。 |
| 中間農業地域 | ・耕地率が20%未満で、「都市的地域」及び「山間農業地域」以外の旧市町村。  |
| 山間農業地域 | ・耕地率が20%以上で、「都市的地域」及び「平地農業地域」以外の旧市町村。<br>・林野率80%以上かつ耕地率10%未満の旧市町村。   |

資料：農林水産省（2012）より筆者作成。

註：傾斜とは、1筆ごとの耕地面の傾斜ではなく、団地としての地形上の主傾斜をいう。

表 1 農家民宿の宿泊者について

1-1 性別

| カテゴリ | 件数  | (全体)% |
|------|-----|-------|
| 男性   | 54  | 37.8  |
| 女性   | 86  | 60.1  |
| 不明   | 3   | 2.1   |
| 合計   | 143 | 100   |

1-2 年代

| カテゴリ  | 件数  | (全体)% |
|-------|-----|-------|
| 10代以下 | 20  | 14.0  |
| 20代   | 18  | 12.6  |
| 30代   | 8   | 5.6   |
| 40代   | 23  | 16.1  |
| 50代   | 14  | 9.8   |
| 60代   | 34  | 23.8  |
| 70代以上 | 24  | 16.8  |
| 不明    | 2   | 1.4   |
| 合計    | 143 | 100   |

1-3 職業

| カテゴリ      | 件数  | (全体)% |
|-----------|-----|-------|
| 会社員・団体職員  | 39  | 27.3  |
| 農林漁業者     | 0   | 0.0   |
| 自営業・会社経営  | 4   | 2.8   |
| 公務員       | 4   | 2.8   |
| パート・アルバイト | 6   | 4.2   |
| 主婦        | 42  | 29.4  |
| 学生        | 25  | 17.5  |
| 無職        | 5   | 3.5   |
| その他       | 16  | 11.2  |
| 不明        | 2   | 1.4   |
| 合計        | 143 | 100   |

1-4 同行者

| カテゴリ     | 件数  | (全体)% |
|----------|-----|-------|
| 家族・親類    | 52  | 36.4  |
| 友人・知人・同僚 | 64  | 44.8  |
| なし       | 24  | 16.8  |
| その他      | 0   | 0.0   |
| 不明       | 3   | 2.1   |
| 合計       | 143 | 100   |

1-5 居住地

| カテゴリ      | 件数 | (全体)% |
|-----------|----|-------|
| 北海道       | 8  | 5.6   |
| 東北        | 14 | 9.8   |
| 関東(首都圏)   | 65 | 45.5  |
| 関東(首都圏以外) | 0  | 0.0   |
| 中部        | 0  | 0.0   |
| 近畿        | 34 | 23.8  |
| 中四国       | 6  | 4.2   |
| 九州        | 12 | 8.4   |
| 沖縄        | 0  | 0.0   |
| 不明        | 4  | 2.8   |

1-6 居住地（農業地域類型）

| カテゴリ   | 件数  | (全体)% |
|--------|-----|-------|
| 都市的地域  | 131 | 91.6  |
| 平地農業地域 | 1   | 0.7   |
| 中間農業地域 | 0   | 0.0   |
| 山間農業地域 | 0   | 0.0   |
| 不明     | 11  | 7.7   |
| 合計     | 143 | 100   |

## 2) 宿泊者が農家民宿に求めること

宿泊者に農家民宿を求めることを3つまでの複数回答で尋ねたところ、図表2-1のようになっている。最も求めていることは、「地域の食事」で91人(70.5%)となっており、2番目は「交流」で69人(53.5%)、3番目は「農林漁業等の体験」で55人(42.6%)、4番目は「自然・景観」で53人(41.1%)となっている。一方で、大手旅行会社による旅行者購買行動調査(2013年)によると、旅行者は国内観光旅行に「温泉(53%)」、「料理・味覚・食材(52%)」、「自然・風景(46%)」に対して高い期待がみられた(表2-2)。この結果を踏まえると、宿泊者が高い期待を抱くことに関して農家民宿を利用した旅行と国内観光旅行の共通点は「食事」と「自然・景観」であるが、「食事」に関しては、宿泊者が訪れた地域の食事を求めていることに留意する必要がある。また、農家民宿でみられた「交流」や「農林漁業等の体験」は農家民宿が持つ独自の魅力であり、宿泊者にそれらをPRしていくことが顧客獲得の要素として重要であると考えられる。

図表 2-1 宿泊者が農家民宿に求めること (3つまでの複数回答)

| カテゴリ         | 件数  | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 地域の食事        | 91  | 70.5   |
| 農林漁業等の体験     | 55  | 42.6   |
| 交流           | 69  | 53.5   |
| 宿全体の雰囲気      | 36  | 27.9   |
| 快適さ          | 17  | 13.2   |
| 安全性          | 11  | 8.5    |
| 自然・景観        | 53  | 41.1   |
| 観光地との近さ      | 4   | 3.1    |
| リーズナブルな宿泊料金  | 16  | 12.4   |
| 近隣の観光地等の情報発信 | 3   | 2.3    |
| その他          | 0   | 0.0    |
| 合計           | 129 | 100    |

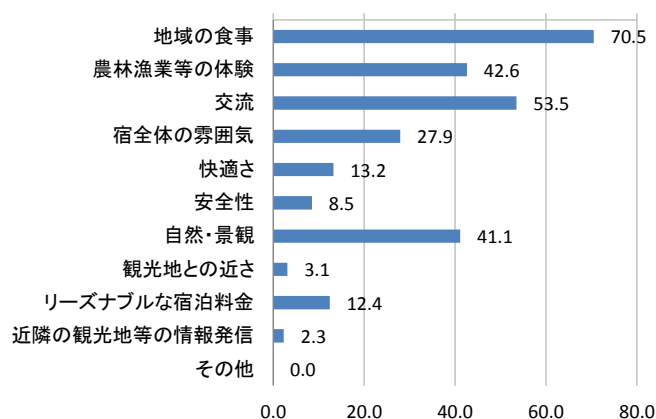


表 2-2 年齢別にみた国内旅行に期待したこと (複数回答)

| カテゴリ   | 温泉 | 料理・味覚・食材 | 自然・風景 | のんびり休息 | テーマパーク | 歴史・文化的施設 | ショッピング | 街歩き |
|--------|----|----------|-------|--------|--------|----------|--------|-----|
| 全体     | 53 | 52       | 46    | 34     | 26     | 18       | 10     | 18  |
| 20-30代 | 40 | 46       | 36    | 36     | 38     | 12       | 10     | 20  |
| 40-50代 | 53 | 55       | 44    | 31     | 25     | 18       | 12     | 17  |
| 60代    | 69 | 55       | 62    | 35     | 10     | 26       | 7      | 19  |

資料:JTB旅行者購買行動調査(2013)

次に、宿泊者の年代別にみた農家民宿に求めることは、表2-3に示す通りである。表よりそれぞれの特徴は、10代以下が「宿全体の雰囲気」、「安全性」、「自然・景観」に、20代が「交流」と、「宿全体の雰囲気」、「快適さ」に、30代が「交流」に、40代が「農林漁業等の体験」と「安全性」に、50代が「農林漁業等の体験」に、60代が「地域の食事」、70代が「自然・景観」に高い期待をしていた。すなわち、20代から50代の宿泊者は、農家民宿が持つ独自の魅力である「農林漁業等の体験」や「交流」を求めている傾向にあることがわかる。

表 2-3 宿泊者の年代別にみた農家民宿に求めること（複数回答）

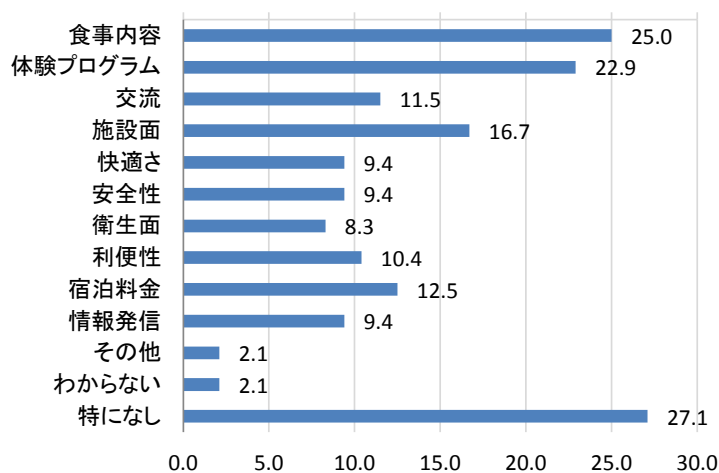
| 上段:度数<br>下段:% | 農家民宿に求めること   |            |            |            |            |            |           |            |          |             |              |     |
|---------------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|----------|-------------|--------------|-----|
|               | 合計           | 地域の食事      | 農林漁業等の体験   | 交流         | 宿全体の雰囲気    | 快適さ        | 安全性       | 自然・景観      | 観光地との近さ  | リーズナブルな宿泊料金 | 近隣の観光地等の情報発信 | その他 |
| 全体            | 127<br>100.0 | 90<br>70.9 | 55<br>43.3 | 68<br>53.5 | 36<br>28.3 | 16<br>12.6 | 11<br>8.7 | 51<br>40.2 | 4<br>3.1 | 15<br>11.8  | 3<br>2.4     | -   |
| 10代以下         | 15<br>100.0  | 10<br>66.7 | 5<br>33.3  | 6<br>40.0  | 6<br>40.0  | 2<br>13.3  | 3<br>20.0 | 8<br>53.3  | -        | 1<br>6.7    | -            | -   |
| 20代           | 18<br>100.0  | 10<br>55.6 | 2<br>11.1  | 12<br>66.7 | 10<br>55.6 | 6<br>33.3  | -         | 4<br>22.2  | -        | -           | 1<br>5.6     | -   |
| 30代           | 8<br>100.0   | 5<br>62.5  | 3<br>37.5  | 7<br>87.5  | 1<br>12.5  | -          | 1<br>12.5 | 3<br>37.5  | -        | 1<br>12.5   | -            | -   |
| 40代           | 20<br>100.0  | 16<br>80.0 | 11<br>55.0 | 7<br>35.0  | 3<br>15.0  | 1<br>5.0   | 4<br>20.0 | 9<br>45.0  | 1<br>5.0 | 4<br>20.0   | -            | -   |
| 50代           | 14<br>100.0  | 8<br>57.1  | 11<br>78.6 | 8<br>57.1  | 3<br>21.4  | 1<br>7.1   | -         | 4<br>28.6  | 1<br>7.1 | -           | -            | -   |
| 60代           | 33<br>100.0  | 27<br>81.8 | 16<br>48.5 | 16<br>48.5 | 11<br>33.3 | 4<br>12.1  | 2<br>6.1  | 12<br>36.4 | 2<br>6.1 | 6<br>18.2   | 1<br>3.0     | -   |
| 70代以上         | 19<br>100.0  | 14<br>73.7 | 7<br>36.8  | 12<br>63.2 | 2<br>10.5  | 2<br>10.5  | 1<br>5.3  | 11<br>57.9 | -        | 3<br>15.8   | 1<br>5.3     | -   |

### 3) 宿泊者が思う農家民宿の課題・改善点

宿泊者に農家民宿の課題や改善点を複数回答で尋ねたところ、図表 3 のようになっている。最も多い回答は、「特になし」で 26 人（27.1%）となっている。続いて、「食事内容」で 24 人（25.0%）、「体験プログラム」で 22 人（22.9%）となっている。具体的な課題・改善点は、「食事面」では豪華な食事ではなく、地元産の食材や地域特有の食材を利用した郷土料理や伝統料理、行事食を希望する回答が最も多かった。また、少数意見ではあるが、適量や朝食後のコーヒーを希望する回答も得られた。また、「体験プログラム」では、ゆとりある進行や雨天時の代替プランを求める回答であった。

図表 3 宿泊者が思う農家民宿の課題・改善点

| カテゴリ    | 件数 | 構成比(%) |
|---------|----|--------|
| 食事内容    | 24 | 25.0   |
| 体験プログラム | 22 | 22.9   |
| 交流      | 11 | 11.5   |
| 施設面     | 16 | 16.7   |
| 快適さ     | 9  | 9.4    |
| 安全性     | 9  | 9.4    |
| 衛生面     | 8  | 8.3    |
| 利便性     | 10 | 10.4   |
| 宿泊料金    | 12 | 12.5   |
| 情報発信    | 9  | 9.4    |
| その他     | 2  | 2.1    |
| わからない   | 2  | 2.1    |
| 特になし    | 26 | 27.1   |
| 合計      | 96 | 100    |

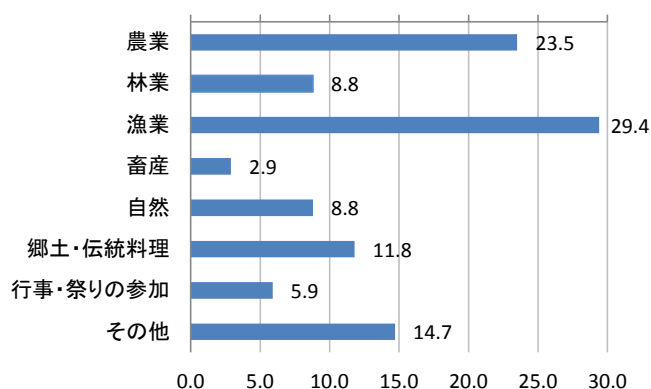


#### 4) 農家民宿又は近隣の体験施設で体験してみたい体験メニュー

宿泊者に農家民宿又は近隣の体験施設で体験してみたい体験メニューを自由記述で尋ねたところ、図表4のようにになっている。自由記述ということもあり、全回答者のうち34人(23.8%)の回答しか得られなかった。最も多い順に、「漁業体験」が10人(29.4%)、「農業体験」が8人(23.5%)となっている。

図表4 農家民宿又は近隣の体験施設で体験してみたい体験メニュー

| カテゴリ     | 件数 | 構成比(%) |
|----------|----|--------|
| 農業       | 8  | 23.5   |
| 林業       | 3  | 8.8    |
| 漁業       | 10 | 29.4   |
| 畜産       | 1  | 2.9    |
| 自然       | 3  | 8.8    |
| 郷土・伝統料理  | 4  | 11.8   |
| 行事・祭りの参加 | 2  | 5.9    |
| その他      | 5  | 14.7   |
| 合計       | 34 | 100    |



### 3. 手引きの普及に向けて

広く配布・公開することで、農林漁家による開業・運営の促進および行政関係者による開業・運営の支援につながることを目指す。

#### <配布先・配布方法>

- ①全国のグリーン・ツーリズム協議会組織への配布(約150団体)
- ②全都道府県のグリーン・ツーリズム担当部署への配布(47箇所)
- ③JA都市農村交流全国協議会への配布(約150団体)
- ④グリーン・ツーリズムメールマガジンにおける配信
- ⑤農林水産省および農協観光のWEBサイトにおけるダウンロード対応



併せて、並行して作成したダイジェスト版も活用する。また農山漁村地域における購読者が多い農業系を中心としたマスコミにおけるパブリシティ掲載を通じた告知の促進を図る。(平成28年4月に日本農業新聞および日本農民新聞に掲載)

## 第3章 セミナーの開催

## 1. プラン造成講座／リスクマネジメント研修

### (1) 趣旨・目的

「農家民宿を活用したグリーン・ツーリズム」をテーマに、リスクマネジメント研修や、ツアープランの造成方法を学ぶものとした。

リスクマネジメント研修においては、農山漁村体験・自然体験活動に係るリスクの洗い出し方法から始まり、最新の事例も踏まえた法令・安全管理に関する研修とし、プラン造成は、農山漁村の地域資源をプログラム化し、体験・交流に繋げることを念頭に、訪問者ニーズを意識した戦略的なプラン造成に必要なプロセスを学ぶことをねらいとした。なお研修会で造成したプランは旅行会社と連携して回遊・滞在型のツアーとして実施することを目指した。

セミナーの参加対象者は地域関係者（農家民宿経営者・開業希望者を含む）、観光関係者、行政関係者等とし、東京・大阪で各1回の開催をした。なお手引き作成の際に調査地域として選定した9地域からの参加を中心に考え、それ以外の参加者は一般募集により募った。

### (2) 実施概要

#### 1) 大阪会場

- ①開催日時 平成27年9月6日（日）13時～18時  
9月7日（月）9時30分～16時
- ②参加者数 16団体／34名  
地域協議会22名、行政7名、その他5名

#### 2) 東京会場

- ①開催日時 平成27年9月10日（木）13時～18時  
9月11日（金）9時30分～16時
- ②参加者数 30団体／41名  
地域協議会19名、地域組織（株式会社含む）10名、行政6名、旅行会社2名、個人1名、その他2名

### (3) セミナーの内容（大阪・東京共通）

#### 1) リスクマネジメント研修

- ①リスクマネジメント概論・農林漁家民宿における安全管理の留意点  
講師：出口 高靖（一般社団法人全国農協観光協会）
- ②農林漁家民宿に関する事故事例  
講師：早川 修（早川総合法律事務所）
- ③ワークショップ  
講師：出口 高靖（一般社団法人全国農協観光協会）
- ④グリーン・ツーリズムの現状  
発表：川島 守（一般社団法人全国農協観光協会）



2) プラン造成講座

- ①プラン造成に関する概要説明
- ②ワークショップ
- ③プラン表作成・質疑応答

講師：佐脇 尚 (一般社団法人全国農協観光協会)

※研修会で使用した資料は別添資料①として収録。

日本農業新聞  
(平成 27 年 9 月 11 日掲載)

日本農業新聞  
(平成 27 年 8 月 15 日掲載)

日本農業新聞

**農林漁家民宿を活用したグリーン・ツーリズムの作り方を考えよう**  
 農林漁家民宿は10日、リスクマネジメントやツアープラン作成を学ぶ研修会を東京都内で開いた。農山漁村への関心が高まる中、受け入れ先で最も重要な安全管理に着目。参加者は民宿で発生する可能性のある事故事例を聞き、各現場でのリスクを洗い出す重要性や対策を考えた。11日まで。

農水省の都市農村共生・対流総合交付金を活用して企画。農林漁家民宿を活用して地域活性化に取り組み地域協力を進めたいと、宿泊施設生・対流総合交付金会などから約50人が参加。研修では、リスクマ

安全管理は万全に

農協観光がリスク対応を確認

研修会では、講師を務めた都内の弁護士が施設での転倒・転落、浴室での事故、ノロウイルスなどによる食中毒、火災に関する発生事例を提示。弁護士はリスクを回避するために「協議会や行政で考えるだけでなく、現場でリスクを共有する必要がある」と強調。研修の必要性を唱えた。引き継ぎ、浴室での事故の対応を考えるワークショップも展開した。

リスクマネジメント概論の研修では、受け入れ組織の体制の作り方に詳しい一般社団法人全国農協観光協会の担当者が講師。組織づくりのポイントとして情報共有の徹底や安全管理マニュアルの作成、リスクマネージャールの設置なども項目を挙げ「取り組みにより組

日本農業新聞

グリーン・ツーリズム強化

交流人口拡大後押し  
農協観光受け皿レベルアップ

農山漁村に対する都市住民の関心が高まっているを受け、農協観光は観光と連携したグリーン・ツーリズム事業を強化する。旅行客の受け皿となる農林漁家民宿のレベルアップを目指して研修会を開いたり、実態調査に基づき施設運営の手引きを作ったり、地方の交流人口拡大を後押しする。

実態調査や研修会も

農協観光は農水省の都市農村共生・対流総合交付金を活用し、今月から農林漁家民宿の宿泊者を対象にした実態調査を開始。下旬からは民宿経営者への調査を進め現状と課題、ニーズや期待などを把握した上で手引書を作成する。トラブル防止、苦情への対応など、経営者の悩み解決につなげていく。

国土交通省が2012年に都市住民約3000人を対象にしたインターネット調査では、5割弱が農山漁村への訪問・滞在を望んでいると回答。ここ数年、旅行需要が多様化し、地方での季節感のある体験への関心も高まっている。

研修会は9月6、7日に大阪、10、11日に東京で開く予定。リスクマネジメントの他、事故の事例から予防策を学んだり、ワークショップを通じて民宿を活用したラ

んの企画を考えたりし、定まる研修会の参加者を旅行客の受け入れ体制を構築している。対象は農林漁家民宿の経営者や関係者。同社は大阪、東京で事業希望者、行政担当者

ら。定員はいずれも40人。問い合わせは同社グリーンツーリズム事業課、03(5369)0307。

織・団体の維持、消費者の安全確保につながる」などと述べた。

#### (4) セミナーの結果

「農家民宿を活用したグリーン・ツーリズム」をテーマとして、リスクマネジメントとツアープランの作成方法を学ぶ内容であったが、両方ともワークショップを導入して実施したため、他地域との情報交換を行うことができ、その点についてはとりわけ評価が高かった。

全体的な傾向として概ね評価を頂きつつも、ワークショップの時間不足およびファシリテーターの役割、グリーン・ツーリズムの現状の発表方法に対して改善意見を頂いた。参加者からのアンケートより主な感想を以下に紹介する。

##### 1) 研修時間について

###### ①良かった点

- ・ チーム内での意見の調整を行うにあたり適度な時間だったと思うし、クオリティも担保するには必要時間であったと思う。
- ・ 2日目のプランニングについて短時間で出来るものではないのでちょうど良いと思います。
- ・ 地方からくるのでこのくらいの時間がちょうどよい。日帰りは短すぎるし、2泊は長すぎる。

###### ②改善点

- ・ ワークショップの時間にもう少し時間があるともっとたくさんの助言がいただけたのかなと感じました。
- ・ ワークショップの時間が短いと感じた。
- ・ 集中して出来る時間の限界や内容についてご検討いただければ幸いです。
- ・ 研修が少し長く感じました。

##### 2) 研修の総合的な評価

###### ①良かった点

###### <プラン造成>

- ・ ワークショップを通じて実践でき、とても勉強になった。
- ・ 他地域での取り組み事例を知れたのは勿論有意義であり、何よりディスカッションができ、本気度を目の当たりに感じられたことがよかった。
- ・ 初めてプラン造成に携わり、楽しさ、難しさを実感しました。
- ・ 自分のところだけではなく、他のグループの発表が聞けることがとてもよかったです。
- ・ ツアー造成の流れが体験でき、大変参考になった。
- ・ 各所のツアーを造成にあたり、地元の内容がふんだんに取り込んであり、提案しやすいと思います。

#### <リスクマネジメント講座>

- ・早川先生の講義、とてもよかったです。あまり「おどかし」が耳に入ると実践者にとってブレーキになるかとの心配もあったが、これなら良いと思います。
- ・事故の予防の徹底と事後対応の考え方の重要性が認識できた。
- ・具体的な事故事例を通して安全管理(平素からの積み重ね)の重要性がとても伝わった。

#### <全体>

- ・普段自分が勉強している内容とは異なっており、新鮮でした。アグリツーリズムに関わっていらっしゃる方とも交流できて勉強になりました。

## ②改善点

#### <プラン造成>

- ・2日目のワークショップ時、グループで話し合う際に、**関係者の方が話しすぎている気がしました。**(気を使ってくださってると思うのですが…)
- ・ワークショップ(プラン造成)はもう少しシステマティックに構成した方がよいと思います。初めに回答ありきで大学の方もリードしておられましたが、**もう少し傾聴するという姿勢で導いていった方がよかった**のではありませんか？受入地域の本当のニーズ(農家の思い)を汲み取れましたか？「誰でも出来るプラン造成」にするべきと思いますが、「声の大きい人が作るプラン造成」では意味がない。

#### <グリーン・ツーリズムの現状>

- ・グリーン・ツーリズムの現状の分析は「ターゲットの絞り込み、思い(理念)の設定⇒資源の抽出⇒アクティビティの選択が大まかな流れだと思いますが、「資源とアクティビティの選択⇒全体の構成⇒思いの設定」では先々ブレが出ると思います。
- ・**現状データの分析を掘り下げた話**がほしい。またN数の多いデータを。
- ・法的な部分、これから先の国が作ろうとしている**グリーンツーリズムの詳細**をもう少し知りたかったです。
- ・資料は大きめの印刷をしてほしいです。せっかくのデータなので…
- ・プレゼン資料は白黒印刷で、説明時に色を言って説明してもどこを見ていいのか探すのに時間がかかってしまう。

#### <全体>

- ・総論的なので、少しつまらない時間もあった。しかたないですよ…
- ・**他業種の成功例**をこの業界に生かすような視点で取り組んでいただければ幸いです。

### 3) 自由意見

#### <プラン造成>

- ・民泊の受け入れは行っていますが、企画関係についてはノータッチだったので勉強になりました。
- ・宿泊を入れることで民宿でありながら非常にレベルの高い西日本各地のプランの内容だったと思います。
- ・プラン造成講座は大変な勉強になりました。ワガマチをグリーンツーリズムの商品化して、都会の人に楽しんでもらい、また地域の活性化につなげることの難しさを痛感いたしました。日ごろの勉強不足を無関心さを反省しました。旅行会社の視点という見方で地域の見直しをしていきたいと思ひますし、もっと物語を上手に語れる自分づくりをしたいと思ひます。仲間ともそういう共通意識を高めていきたいです。都会の交流人口を増やしていきたいものです。
- ・思いを「商品化」する講座はとても楽しかったしGTとして参考になること多々でした。ただし、素朴ではなくかなり豪華な一般ツアーと見られるものもあったように思ひます。(最初は教育に絞ると思ひていたので)
- ・プラン造成講座は外部からの新しい意見をいただくのにとってもありがたいです。
- ・プラン造成講座は練習としてではなく、実際に実施するモニターツアーのプラン造成ということで実現可能性も考えながら、緊張感を持って取り組むことが出来ました。他地域の方の意見、また研修会の進め方なども非常に参考になりました。
- ・自分の地区での当たり前前の考えがもっと選択すべき点があったとほかの地区の方々のお話から感じました。

#### <リスクマネジメント講座>

- ・リスク対応は重要なテーマであり、関心を持って参加した。参考になりました。
- ・責任の所在についての話も聞ければと思ひます。

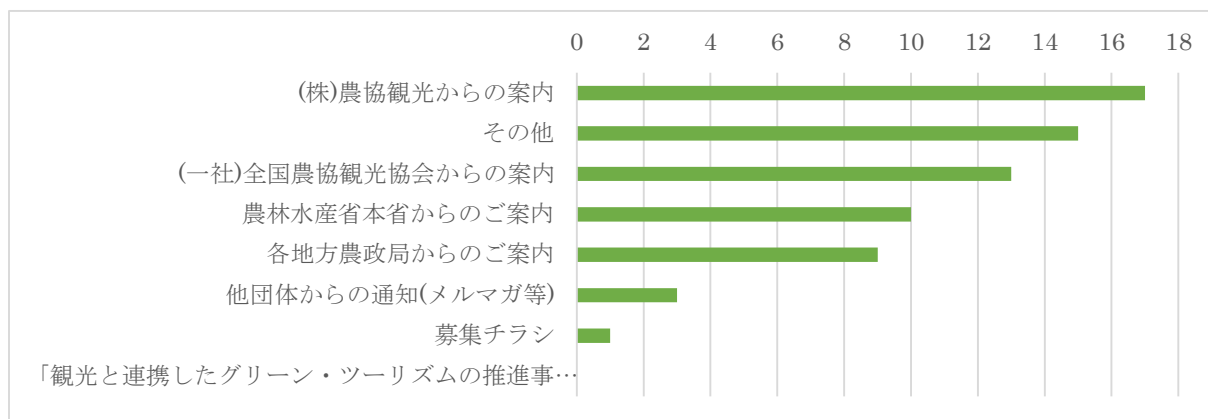
#### <全体>

- ・新しく事業に取り組みますのですべて勉強になりました。
- ・久しぶりに地域の皆様とゆっくりじっくりプラン作りをすることができ、大変有意義な時間を過ごさせていただき、心より感謝申し上げます。今回限られた時間、限られた人数ではありましたが、この研修を全国の多くの地域でやれるといいですね(理想です)。
- ・初の研修会で自分たちの地域以外のところのプランなどを聞いて、同じような活動をしているところと交流が来て良かったと思ひます。
- ・コーディネート組織の人的費、活動費の確保・運営について聞きたいです。
- ・先進地の皆さんの活動、取組を聞くことができ今後の活動の参考になった。地域の小学校が来年度末に閉校になるので、閉校後の転用に参考になる話委も聞くことが出来た(廃校利用)。
- ・ワークショップはいい雰囲気！地域としては、とても良い意見交換が出来た。新しい価値が発見できた。
- ・グリーンツーリズムに注目、働いてみたいという若者や学生は多くいる。そこで、グリーンツーリズムに関わる仕事のリクルート支援や合説などの規格で組織の継続を目指せる体制を目指したい。

4) アンケート結果 (全回答者74名 ※大学生も含む)

①今回の研修をお知りになったきっかけ

|   | 項目                             | 回答数 | %     |
|---|--------------------------------|-----|-------|
| 1 | 農林水産省本省からのご案内                  | 10  | 13.5% |
| 2 | 各地方農政局からのご案内                   | 9   | 12.2% |
| 3 | (株)農協観光からの案内                   | 17  | 23.0% |
| 4 | (一社)全国農協観光協会からの案内              | 13  | 17.6% |
| 5 | 「観光と連携したグリーン・ツーリズムの推進事業」のHPを見て | 0   | 0.0%  |
| 6 | 募集チラシ                          | 1   | 1.4%  |
| 7 | 他団体からの通知(メルマガ等)                | 3   | 4.1%  |
| 8 | その他                            | 15  | 20.3% |

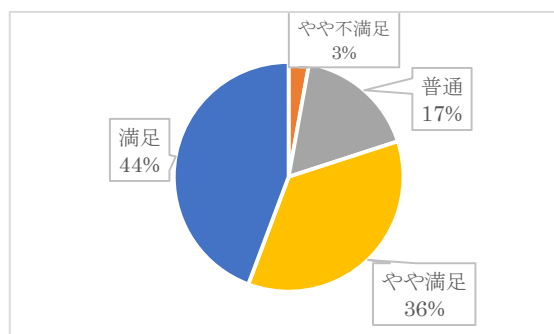


⇒26年度に当社が実施した本事業（観光と連携したグリーン・ツーリズムの推進、以下「26年度事業」）において、研修会に参加した地域およびメールマガジンを受信していた地域への案内が有効であった。（上記項目3および7）

②研修会プログラムの内容

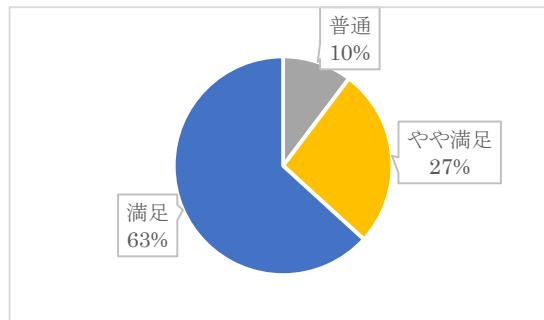
②-1 リスクマネジメント研修会

|   | 項目    | 回答数 | %     |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 不満足   | 0   | 0.0%  |
| 2 | やや不満足 | 2   | 2.7%  |
| 3 | 普通    | 12  | 16.2% |
| 4 | やや満足  | 25  | 33.8% |
| 5 | 満足    | 31  | 41.9% |



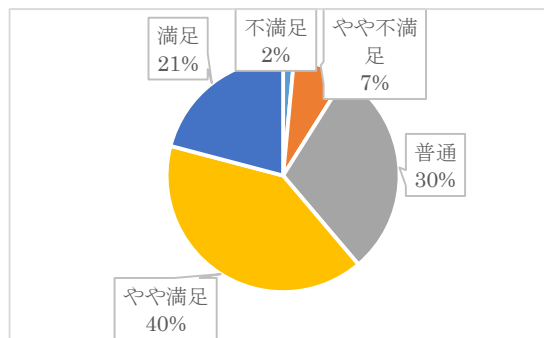
②- 2 農林漁家民宿に関する事件事例

|   | 項目    | 回答数 | %     |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 不満足   | 0   | 0.0%  |
| 2 | やや不満足 | 0   | 0.0%  |
| 3 | 普通    | 7   | 9.5%  |
| 4 | やや満足  | 18  | 24.3% |
| 5 | 満足    | 43  | 58.1% |



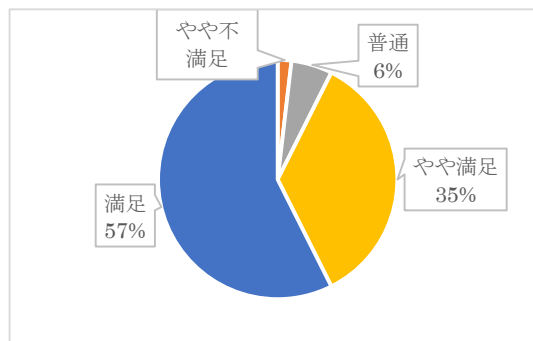
②- 3 グリーン・ツーリズムの現状

|   | 項目    | 回答数 | %     |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 不満足   | 1   | 1.4%  |
| 2 | やや不満足 | 5   | 6.8%  |
| 3 | 普通    | 20  | 27.0% |
| 4 | やや満足  | 27  | 36.5% |
| 5 | 満足    | 14  | 18.9% |



②- 4 商品造成に関するワークショップ

|   | 項目    | 回答数 | %     |
|---|-------|-----|-------|
| 1 | 不満足   | 0   | 0.0%  |
| 2 | やや不満足 | 1   | 1.4%  |
| 3 | 普通    | 3   | 4.1%  |
| 4 | やや満足  | 19  | 25.7% |
| 5 | 満足    | 31  | 41.9% |

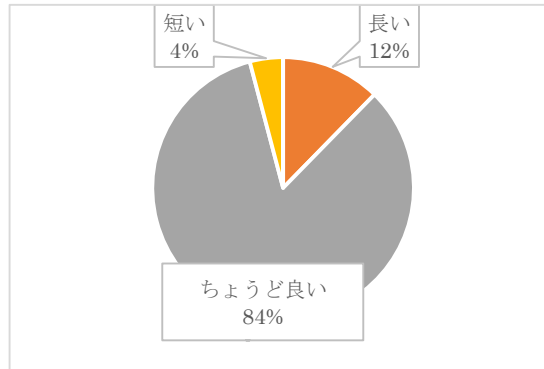


⇒グリーン・ツーリズムの現状以外は、8割以上において「満足」または「やや満足」を頂けた。

前段の参加者からのコメントにもあったように、グリーン・ツーリズムの現状に関しては、より踏み込んだ内容と分かりやすい見せ方が必要であった。

③全体の研修時間

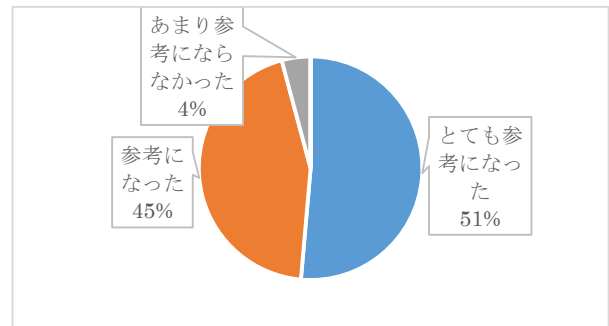
|   | 項目     | 回答数 | %     |
|---|--------|-----|-------|
| 1 | 長すぎる   | 0   | 0.0%  |
| 2 | 長い     | 9   | 12.2% |
| 3 | ちょうど良い | 61  | 82.4% |
| 4 | 短い     | 3   | 4.1%  |
| 5 | 短すぎる   | 0   | 0.0%  |



⇒概ね「ちょうど良い」との評価を頂いた。ワークショップにおいて時間が短いという意見が散見された。

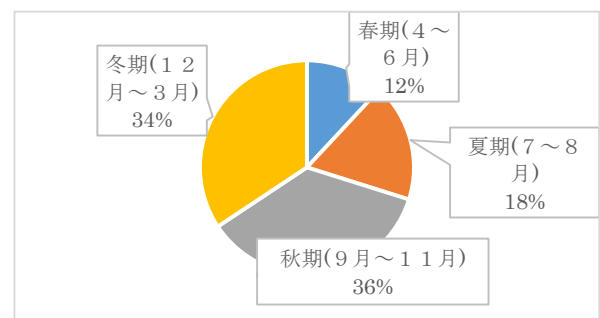
④研修の総合的な評価

|   | 項目           | 回答数 | %     |
|---|--------------|-----|-------|
| 1 | とても参考になった    | 37  | 50.0% |
| 2 | 参考になった       | 32  | 43.2% |
| 3 | あまり参考にならなかった | 3   | 4.1%  |
| 4 | 全く参考にならなかった  | 0   | 0.0%  |



⑤今回のような研修会について、いつの時期の開催が望ましいか

|   | 項目         | 回答数 | %     |
|---|------------|-----|-------|
| 1 | 春期(4～6月)   | 8   | 10.8% |
| 2 | 夏期(7～8月)   | 12  | 16.2% |
| 3 | 秋期(9月～11月) | 24  | 32.4% |
| 4 | 冬期(12月～3月) | 23  | 31.1% |



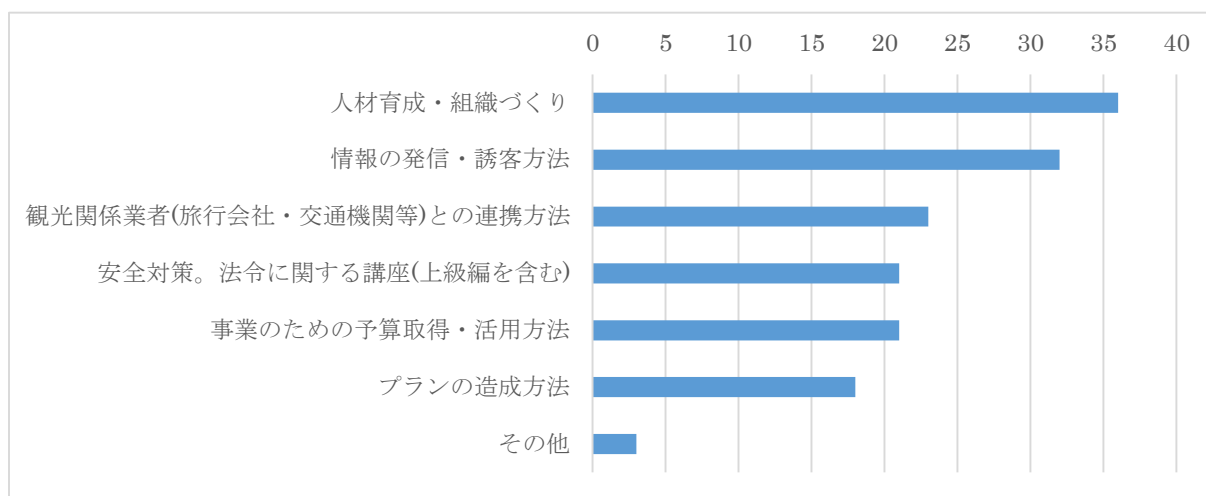
⇒繁忙期および農繁期に重ならないことを前提に、秋期および冬期という回答が多かった。

今回の9月上旬実施においては概ね問題はなかったと思われる。

今後の想定実施時期：7月上旬／9月上旬／11月下旬／12月上旬／1月下旬／2月上旬

⑥グリーン・ツーリズムを進めるにあたって課題となっていて、今後必要と思われる研修の内容(複数可)

|   | 項目                       | 回答数 | %     |
|---|--------------------------|-----|-------|
| 1 | プランの造成方法                 | 18  | 24.3% |
| 2 | 人材育成・組織づくり               | 36  | 48.6% |
| 3 | 情報の発信・誘客方法               | 32  | 43.2% |
| 4 | 観光関係業者(旅行会社・交通機関等)との連携方法 | 23  | 31.1% |
| 5 | 安全対策。法令に関する講座(上級編を含む)    | 21  | 28.4% |
| 6 | 事業のための予算取得・活用方法          | 21  | 28.4% |
| 7 | その他                      | 3   | 4.1%  |



⇒今回のセミナーがプラン造成とリスクマネジメントを主眼に置いたため、それ以外の項目「人材育成・組織作り」「情報の発信・誘客方法」「観光関係業者との連携方法」が上位にきた。

販売チャネルの開拓およびプロモーション方法については、今後も課題になることが想定される。



(5) セミナー当日の様子



リスクマネジメント研修 (東京)



リスクマネジメント研修 (東京)



リスクマネジメント研修 (東京)



グリーン・ツーリズムの現状 (大阪)



プラン造成講座 (大阪)



プラン造成講座 (大阪)

(6) 造成されたプランの内容

| NO | 県域  | 市町村   | 団体・組織名                 | ツアータイトル                             | 実施想定時期     |
|----|-----|-------|------------------------|-------------------------------------|------------|
| 1  | 北海道 | 東川町   | ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会    | 水と写真の町「東川」の魅力体験ツアー                  | 1月中旬～2月上旬頃 |
| 2  | 秋田県 | 大館市   | 大館市まるごと体験推進協議会         | いただきます。おおだて。                        | 11月中旬      |
| 3  | 栃木県 | 大田原市  | 株式会社<br>大田原ツーリズム       | 農家に泊まって！学んで！大人の食育ツアー                | 2月         |
| 4  | 群馬県 | みなかみ町 | 一般社団法人<br>みなかみ町体験旅行    | 雪のみなかみへ行こう！<br>かまくらで麦ぶた鍋&雪国ステイ2日間   | 1月下旬       |
| 5  | 石川県 | 能登町   | 春蘭の里実行委員会              | 奥能登「春蘭の里」じわもん(地場もの)づくし              | 2月         |
| 6  | 岐阜県 | 郡上市   | 郡上田舎の学校                | 水と暮らす町「郡上八幡」の城下町めぐりとジビエ体験・絶品ジビエ料理の旅 | 12月        |
| 7  | 京都府 | 綾部市   | あやべ観光交流ネットワーク推進協議会     | のんびり綾部味わいツアー                        | 10～11月     |
| 8  | 広島県 | 北広島町  | 北広島町農山村体験推進協議会         | 冬の味覚とアウトオブフィットネス                    | 2月         |
| 9  | 宮崎県 | 小林市   | 北きりしま田舎物語推進協議会         | 北きりしま冬の田舎物語                         | 12月        |
| 10 | 沖縄県 | 東村    | 特定非営利活動法人<br>東村観光推進協議会 | 沖縄パイナップル畑でゆいま～る                     | 1～2月       |

次頁以降にセミナー造成されたプランの内容を順番に掲載

# 北海道

実施予定：平成28年1月中旬～2月上旬頃(週末)

交流 体験 観光

## 東川町

地産地消

|                   |  |                   |                                       |                          |                    |    |
|-------------------|--|-------------------|---------------------------------------|--------------------------|--------------------|----|
| No.               | 1  | 企画名<br>(ツアータイトル)  | 水と写真の町「東川」の魅力体験ツアー                    |                          |                    |    |
|                   |  | サブタイトル            | 大雪山の天然水と冬の農村の暮らしを探る旅                  |                          |                    |    |
| 食事条件              | 朝：1回 昼：1回 夕：1回   | 宿泊施設              | 東川町内 農家民宿                             |                          |                    |    |
| 最大人員              | 20名  | 最少人員              | 15名                                   |                          |                    |    |
| 現地協力先             | ひがしかわ子ども農村体験推進協議会  |                   |                                       |                          |                    |    |
| お勧めの方             | 若年層～シニア層   |                   |                                       |                          |                    |    |
| 1                 | 集合   | 札幌IC/旭川北IC        | ウェルカムランチ                              | 原生林の静寂や自然をゆったりと楽しむ(集合写真) |                    |    |
|                   | 札幌市内   | 山麓駅食堂             | アルペンフローラ                              | 旭岳原生林スノーシュートレッキング        |                    |    |
|                   | 9:00   | 移3時間              | 12:00/13:00 (1時間)                     | 移15分                     | 13:15/14:45 (1時間半) |    |
|                   | 湧水汲み   |                   | チェックイン※各家庭の東川米の美味しい炊き方(おいしい水との付き合いかた) |                          |                    |    |
|                   | 旭岳源水   | 農家民泊              |                                       | ・冬の農家生活体験                |                    |    |
| 移30分              | 15:15/15:25 (10分)  | 移35分              | 16:00                                 |                          |                    |    |
| 2                 | 出発   | 施設見学&体験(集合写真)     |                                       | 昼食(バイキング)                |                    |    |
|                   | 各農家  | 越冬野菜雪室貯蔵施設見学      | ・・・(写真データ回収)                          |                          | キトウシ高原ホテル          |    |
|                   | 10:00  | 移30分              | 10:30/11:30                           | 移20分                     | 11:40/12:50        |    |
|                   | 写真渡し・写真鑑賞(プロジェクター)   |                   | 見学                                    | 買い物・出発                   | 旭川北IC/札幌IC         | 到着 |
|                   | キトウシ高原ホテル  | 東川文化ギャラリー         | ひがしかわ道の駅                              | 札幌駅                      |                    |    |
| 13:00/13:40 (40分) | 移15分   | 13:55/14:15 (20分) | 移10分                                  | 14:25/14:50 (25分)        | 15:00出発 18:00頃     |    |
| 備考                | <p>&lt;持ち物&gt;カメラ、積雪のため長ぐつ、防寒具、水筒またはペットボトル(湧水汲み)<br/>                 &lt;荒天の場合&gt;基本的に決行しますが、状況により原生林トレッキングがビジターセンター案内に変更します。</p> |                   |                                       |                          |                    |    |

### ～企画への思い～

・「写真の町ひがしかわ」の暮らしの源である「ひがしかわの水」をテーマに水源を訪ね、その水で育ったブランド米、その水で育った野菜、その水で作る食事、そして各農家のおいしい米の炊き方を学ぶ事により、テーマとしての「食」「農」「交流」を経て「水と人との関わり」に触れるツアーになっています。参加者には「カメラ持参」で2日間の様々な場面を撮ってもらい、2日目の「丸巳(矢沢農園)」の冷却剤に雪を利用した「雪氷貯蔵庫」の見学後「お気に入りの一枚」として回収したデータをプリントして集合写真と共にプレゼントします。皆の写真をプロジェクターで写しだし、鑑賞会の後「写真の町」の文化ギャラリーを見学し、道の駅で買い物後出発していただきます。

スノーシュー



東川産野菜カレー(イメージ)



「写真の町」で写真撮影



野菜雪室貯蔵施設(イメージ)



民宿での交流



# 秋田県

## 大館市

実施予定日：  
2015年11月14日（土）～15日（日）

地産地消

交流

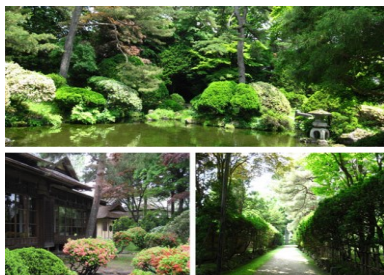
体験

観光

|       |  |                  |                    |                  |                |
|-------|--|------------------|--------------------|------------------|----------------|
| No.   | 2  | 企画名<br>(ツアータイトル) | いただきます。おおだて。       |                  |                |
|       |  | サブタイトル           |                    |                  |                |
| 食事条件  | 朝：1回 昼：2回 夕：1回   |                  | 宿泊施設               | 各農家民宿            |                |
| 最大人員  | 40名  |                  | 最少人員               | 20名              |                |
| 現地協力先 | 大館市まるごと体験推進協議会   |                  |                    |                  |                |
| お勧めの方 | シニア層の女性およびその家族   |                  |                    |                  |                |
| 1     | 出発   | 秋田犬のお出迎え         | 歓迎セレモニー            | 「中山そば懐石」の昼食と館内見学 |                |
|       | 各地   | ＝車＝ 大館駅前         | ・・・(徒歩5分)・・・       | 御成座              | ＝車＝ 鳥潟会館       |
|       |  | 11:00            | 11:30/12:30        | 12:45/14/15      | <アップルロード経由>    |
|       |  | もぎとり体験とお土産付      | 夕食のきりたんぼ鍋に入ります     | 受入民宿との対面         |                |
|       |  | ＝車＝ りんご狩り        | ＝車＝ たんぼねぎ狩り        | ＝車＝ 陽気な母さんの店     | ・・・(各民宿の車にて移動) |
|       | 14:45/15:30  | 15:40/16:10      | 16:15              |                  |                |
|       | 宿泊   |                  |                    |                  |                |
|       | ・・・各農家民宿(夕食はきりたんぼ作り/入浴は近隣温泉施設を利用します)   |                  |                    |                  |                |
| 2     | 起床   | (比内地鶏の卵かけごはん)    | 各民宿集合・お買い物         | 天然秋田杉使用曲げわっぱ作り体験 |                |
|       | 各民宿  | ・・・秋田弁ラジオ体操      | ・・・朝食              | ・・・陽気な母さんの店      | ＝車＝ 大館樹海ドーム    |
|       |  | 8:30/9:15        | 9:35/12:00         |                  |                |
|       |  | 世界最大級の木材ドーム見学    | りんごおこわ弁当           | お酒や曲げわっぱなど購入できます | 到着             |
|       | ・・・大館樹海ドーム   | ・・・大館樹海ドーム       | ＝車＝ いく大館ショッピングセンター | ＝車＝ 各地           |                |
|       | 12:00/12:30  | 12:30/13:30      | 13:40/14:40        |                  |                |
| 備考    | <p>&lt;荒天の場合&gt;「りんご狩り・たんぼねぎ収穫」→「かまぶくづくり(米の粉で作った口取り菓子の巻物)」<br/>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日目大館駅前の道中より地元案内人がバスに乗車をして大館市をご説明致します。</li> <li>・鳥潟会館は江戸時代から続く旧家が増築・改築して現在まで至っている県指定有形文化財です。</li> <li>・たんぼねぎとは、鍋料理や焼き物など色々な料理によく合い、一般的な長ねぎよりも柔らかいあまり出回らないねぎです。</li> <li>・2日目の昼食の器は、作成した曲げわっぱを使用します。食事内容は地元のお母さん方が腕をふるいます。</li> <li>・農家民宿は1件につき4～5名の宿泊が基本となります。</li> </ul> |                  |                    |                  |                |

### ～企画への思い～

- ・大館市は忠犬ハチ公の生まれ故郷です。今回は特別に本物の秋田犬がお出迎えをします。
- ・フィルム上映ができる東北でたった1軒だけ残る戸建ての名画座で歓迎セレモニーを行います。
- ・秋田弁ラジオ体操は秋田に来ないと聞けない希少価値があります。
- ・農家民宿のポイント ①本場大館きりたんぼ作り ②地元温泉の利用 ③秋田弁でのふれあい  
④新鮮大館食材での朝ごはん(比内地鶏の卵かけごはん)
- ・高級曲げわっぱ作り体験は、分かり易くお作り頂けるようになっています。完成品はお持ち帰り頂けます。



鳥潟会館



曲げわっぱ(イメージ)



秋田犬



**栃木県**

**大田原市**

実施予定日：  
2015年2月13日～2月14日

地産地消

交流

体験

観光

|       |   |                               |                           |           |       |
|-------|---|-------------------------------|---------------------------|-----------|-------|
| No.   | 3   | 企画名<br>(ツアータイトル)              | 農家に泊まって！学んで！大人の食育ツアー      |           |       |
|       |   | サブタイトル                        | 冬野菜・シシ鍋・地酒・・・大田原のうんまいもの満喫 |           |       |
| 食事条件  | 朝：1回 昼：2回 夕：1回                                    |                               | 宿泊施設                      | 各農家民宿     |       |
| 最大人員  | 40名   |                               | 最少人員                      | 30名       |       |
| 現地協力先 | 株式会社 大田原ツーリズム                                     |                               |                           |           |       |
| お勧めの方 | 主にシニア層  |                               |                           |           |       |
| 1     | 出発 首都高・外環道・東北道(矢板IC) 保存食作り(柚子巻き大根)/収穫体験(ニンジン,ゴボウ) |                               |                           |           |       |
|       | 東京都内  | きらり佐久山直売所                     |                           |           |       |
|       | 8:00  | 11:00/12:00                   |                           |           |       |
|       | 地元食材の昼食   | 参拝                            | 温泉入浴                      | 入村式/夕食/宿泊 |       |
|       | カフェレストラン  | 大雄寺                           | ・・・                       | 五峰の湯      | 各農家民宿 |
|       | 12:30/13:30                                       | 13:45/14:15                   | 14:30/15:30               | 16:00     |       |
| 2     | 朝食 郷土料理作りなど/退村式 猟師さんから鳥獣被害についての話/シシ鍋の昼食           |                               |                           |           |       |
|       | 各民宿   | 各家庭で農村生活体験                    | 大田原市内                     |           |       |
|       | 11:00出発   |                               | 11:30/13:00               |           |       |
|       | 買い物   | 見学・試飲(飲み比べ) (矢板IC)東北道・外環道・首都高 |                           |           | 到着    |
|       | 道の駅那須与一の郷   | ・・・                           | 天鷹酒造                      | 東京都内      |       |
|       | 13:30/14:00                                       | 14:30/15:30                   |                           | 18:30     |       |
| 備考    | ・フォトゲーニングの実施(事前に決めておいた写真に近いものを撮影した方にプレゼント) ※対応は検討 |                               |                           |           |       |

～企画への思い～

- ・大田原の農家に宿泊します。優しいお父さんとお母さんが迎えてくれます。
- ・無農薬栽培のニンジン、ゴボウを収穫します。収穫した野菜はその日の夜にも食べられます。
- ・農産物直売所「佐久山きらり」で大根の柚子巻き作り体験と新鮮野菜のお買物。
- ・猟師さんから猟の様子や鳥獣被害の現状などのお話を聴きます。
- ・2日間通じて生産者の話を聴き、食に対する知識と知恵を深められるツアーです。



ただいまと言いたい“ふるさと”大田原ようこそ。



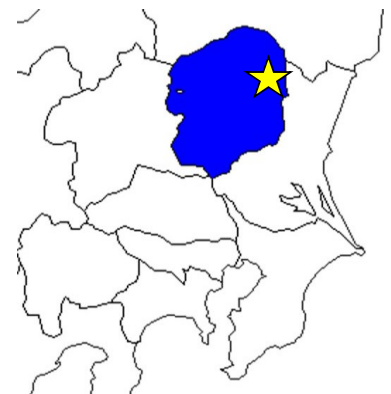
うどん収穫(イメージ)



温泉入浴(イメージ)



しし鍋(イメージ)



群馬県

みなかみ町

実施予定日：  
2016年1月下旬（平日or土日）

地産地消

交流

体験

観光

|             |   |                  |                                   |        |             |
|-------------|---|------------------|-----------------------------------|--------|-------------|
| No.         | 4   | 企画名<br>(ツアータイトル) | 雪のみなかみへ行こう！<br>かまくらで麦ぶた鍋&雪国ステイ2日間 |        |             |
|             |   | サブタイトル           | 雪国の暮らしの知恵と匠の手しごと体験                |        |             |
| 食事条件        | 朝：1回 昼：2回 夕：1回  |                  | 宿泊施設                              | 各農家民宿  |             |
| 最大人員        | 40名   |                  | 最少人員                              | 15名    |             |
| 現地協力先       | みなかみ町体験旅行、たくみの里   |                  |                                   |        |             |
| お勧めの方       | ファミリー   |                  |                                   |        |             |
| 1           | 出発 町長からウエルカム甘酒とかまくらで食べる麦ぶた鍋の昼食  |                  |                                   |        |             |
|             | 都内 〔車〕 みなかみIC 〔車〕 みなかみ町藤原地区着（かまくら体験と昼食）・・・  |                  |                                   |        |             |
|             | 11:30/13:00   |                  |                                   |        |             |
|             | お持ち帰り可能 試食とお持ち帰り 除雪体験、郷土料理作り体験  |                  |                                   |        |             |
|             | りんごジャム作り 〔車〕 雪下野菜の収穫会 〔車〕 各民宿へ（藤原地区）  |                  |                                   |        |             |
| 13:15/14:30 |   | 14:40/15:40      |                                   | 16:00頃 |             |
| 2           | 昼食そば打ち体験  |                  | 選択制ものづくり体験                        |        |             |
|             | 各民宿発 〔車〕 たくみの里  |                  | ・・・ たくみの里（お土産購入含む）〔車〕             |        |             |
|             | 9:30  |                  | 10:45/11:45                       |        | 12:30/13:30 |
|             | 到着  |                  |                                   |        |             |
|             | 〔車〕 月夜野IC 〔車〕 都内  |                  |                                   |        |             |
| 備考          | <荒天の場合> 「かまくらで食事ができない場合」→「民宿で行う」<br>「雪下野菜が収穫できない場合」→「事前準備をしてもらいお土産として渡す」<br><その他><br>・そばアレルギーの方は代替メニューをご用意致します。<br>・すべり止めの長靴を持参して頂き、防寒防水対策を準備してきてください。<br>・2日目の昼食は、地元産のそば粉を利用します。サイドメニューとしてかき揚げがつかます。 |                  |                                   |        |             |

～企画への思い～

- ・かまくらの中で鍋を食べる経験は、なかなかできません。
- ・各宿では、除雪体験など雪国ならではの体験ができます。
- ・たくみの里ではそれぞれの匠が体験施設ごとにおられます。匠の技を習得してみたいかかき揚げがつかます。



かまくら(イメージ)



雪下野菜(イメージ)



石川県

能登町

実施予定日:

2016年2月6日(土) ~ 7日(日)

地産地消

交流

体験

観光

|       |   |                  |                                       |                                      |                          |  |
|-------|---|------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|--|
| No.   | 5   | 企画名<br>(ツアータイトル) | 奥能登「春蘭の里」じわもん(地場もの)づくり                |                                      |                          |  |
|       |   | サブタイトル           | 奥能登「絶景(白米千枚田)」、食文化「かぶら寿司」、伝統工芸「輪島塗」など |                                      |                          |  |
| 食事条件  | 朝: 1回 昼: 1回 夕: 1回   |                  | 宿泊施設                                  | 春蘭の里 農家民宿群                           |                          |  |
| 最大人員  | 25名   |                  | 最少人員                                  | 10名                                  |                          |  |
| 現地協力先 | 春蘭の里実行委員会   |                  |                                       |                                      |                          |  |
| お勧めの方 | シニア   |                  |                                       |                                      |                          |  |
| 1     | 集合  | ANA747           |                                       | 体験(ほうき作り) / 昼食(春蘭の里を食べつくす! プリのかぶら寿司) |                          |  |
|       | 羽田空港  | === 航空機 ===      | のと里山空港                                | === 交流施設こぶし ===                      |                          |  |
|       | 8:55  |                  | 9:55                                  |                                      | 10:30/13:30              |  |
|       | 見学・新酒の試飲  |                  | 由緒ある地元のお寺                             | 入浴・宿泊                                |                          |  |
|       | === 鶴野酒造 ===  | === 長龍寺 ===      | === 各民宿 ===                           |                                      | ※夕食は神仏神事料理 地酒と男性給仕でおもてなし |  |
|       | 14:00/14:50   | 15:15/16:00      | 輪島塗りの食器といろりを囲んで                       |                                      |                          |  |
| 2     | 出発  | お買物              | 冬の絶景・棚田見学                             | 見学・昼食                                |                          |  |
|       | 各民宿   | === 能海山市場 ===    | === 白米千枚田 ===                         | === 輪島塗しおやす漆器工房 ===                  |                          |  |
|       | 9:00  | 9:30/10:15       | 10:45/11:30                           | 12:30/13:30                          |                          |  |
|       | 見学  |                  | ANA750                                |                                      | 到着                       |  |
|       | === 輪島市天領黒島角海家 ===  | === のと里山空港 ===   | === 航空機 ===                           | === 羽田空港 ===                         |                          |  |
|       | 14:00/14:45   | 15:30/17:00      | 18:05                                 |                                      |                          |  |
| 備考    | 能登町内ではバスに歴史おもしろガイドが乗車(予定)   |                  |                                       |                                      |                          |  |
| 備考    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物: 積雪のため長ぐつ持参、防寒・防水対策をしてきてください</li> <li>・お酒を飲めない方や弱い方への配慮はさせていただきます</li> <li>・雨天でも予定プログラムを行います</li> </ul> |                  |                                       |                                      |                          |  |

~企画への思い~

- ・すべて地元の食材を使い、砂糖・化学調味料を一切使わないこだわりの料理でおもてなしをします。
  - ・手作りの箸、輪島塗、地酒(1人2合飲みきり)、囲炉裏での夕食、神事のしきたりによる男性による給仕など郷土ならではの雰囲気をお楽しみ頂けます。
  - ・春蘭の里を立ち上げた「名物おやじ」が地域の歴史や魅力をおもしろガイドとして語りつくします。
- ※金沢駅から乗車予定



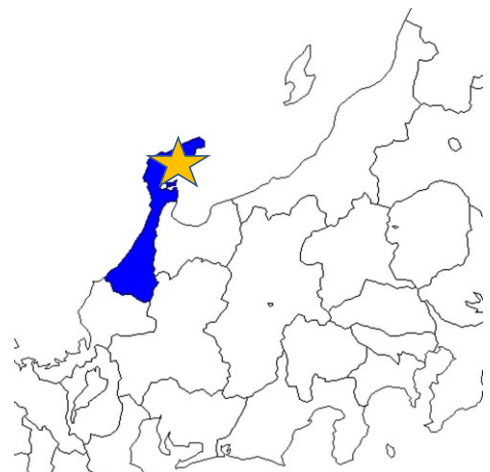
春蘭の里 農家民宿イメージ



名物おやじ 多田喜一郎さん



ほうき作りイメージ



# 岐阜県

郡上市

実施日：2015年12月5日（土）～6日（日）又は  
12月12日（土）～13日（日）

交流

体験

観光

地産地消

|             |                    |                  |   |                    |                |  |
|-------------|--------------------|------------------|---|--------------------|----------------|--|
| No.         | 6                  | 企画名<br>(ツアータイトル) | 水と暮らす町“郡上八幡”の城下町めぐりと<br>ジビエ体験・絶品ジビエ料理の旅 |                    |                |  |
|             |                    | サブタイトル           |   |                    |                |  |
| 食事条件        | 朝：1回 昼：1回 夕：1回     |                  | 宿泊施設                                    | 自然食泊 愛里            |                |  |
| 最大人員        | 40名                |                  | 最少人員                                    | 15名                |                |  |
| 現地協力先       | 郡上田舎の学校            |                  |   |                    |                |  |
| お勧めの方       | 若年層20代             |                  |   |                    |                |  |
| 1           | 名神道・東海北陸道          |                  | 女将さんこだわりの九マス弁当                          | 地元の猟師さんのレクチャーによる   |                |  |
|             | 大阪市内               | ⇒                | 郡上八幡 I C                                | ⇒                  | 郡上市明宝 自然食泊「愛里」 |  |
|             | 8:00               |                  |   | 11:30/12:30        | 13:00/15:00    |  |
|             | 愛里の女将さん指導によるこだわりの  |                  | 明宝温泉                                    | 里の幸満載の郷土料理と山の恵みジビエ |                |  |
|             | 自家製・無農薬大豆を使った豆腐づくり |                  | 民宿のお風呂で入浴                               | ご夕食                |                |  |
| 15:00/16:00 |                    | ※入浴と夕食の時間は応相談    |   |                    |                |  |
| 2           | 地場産野菜・特産物のお買物      |                  | 散策とおススメ穴場店での自由昼食                        |                    |                |  |
|             | 民宿                 | ⇒                | 道の駅 明宝                                  | ⇒                  | 郡上八幡城下町めぐり     |  |
|             | 9:30               | 9:40/10:20       | 10:50/13:00                             |                    | ⇒ 郡上八幡 I C ⇒   |  |
|             | 東海北陸道・名神道          |                  |   |                    |                |  |
|             | ⇒ 大阪市内 ⇒           |                  |   |                    |                |  |
| 18:30       |                    |                  |   |                    |                |  |
| 備考          | ※民宿のお風呂のお湯は明宝温泉を使用 |                  |   |                    |                |  |

## ～企画への思い～

- ①郡上の「鹿」は日本三大名産地の1つです。現在は鹿による獣害がある一方で、貴重な地元の食材として活用しています。このツアーでは、名峰の鹿を地元猟師さんのレクチャーで解体し、夕食にジビエ料理として頂きます。
- ②宿泊する「自然宿泊 愛里」は農林漁家民宿お母さん100選にも選ばれた民宿です。手作り料理と温泉入浴、また豆腐づくり体験等を通じてお母さんとの交流をお楽しみ頂きます。
- ③水とともに暮らす郡上八幡の城下町の豊かな姿を見て頂きます。(インストラクターのご案内あり)  
また自由散策時は「お土産・食べ歩き満喫マップ」をお配りしますので、町内の観光施設や食事施設、そして特産品である「食品サンプル作り体験」をお楽しみ頂きます。



愛里の囲炉裏



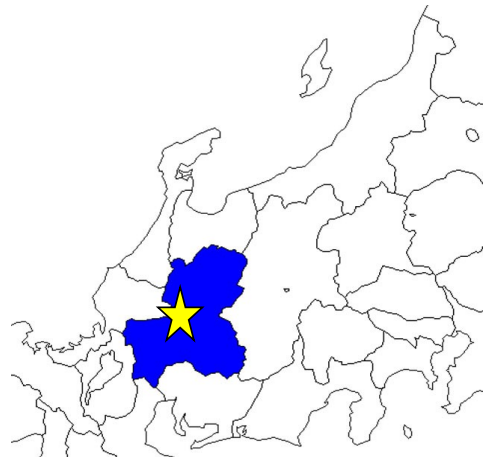
郡上の街並み散策



愛里のお母さん



食品サンプル作り体験



京都府

綾部市

実施予定日：  
2016年10月30日(金) ~ 31(土)

地産地消

体験

交流

|             |   |                  |                             |       |            |
|-------------|---|------------------|-----------------------------|-------|------------|
| No.         | 7   | 企画名<br>(ツアータイトル) | のんびり綾部味わいツアー                |       |            |
|             |   | サブタイトル           | ちょっと昔の手作り体験                 |       |            |
| 食事条件        | 朝：1回 昼：2回 夕：1回  |                  | 宿泊施設                        | 各農家民宿 |            |
| 最大人員        | 25名   |                  | 最少人員                        | 20名   |            |
| 現地協力先       | 綾部かんばやしの里体験推進協議会  |                  |                             |       |            |
| お勧めの方       | グリーンツーリズムを考えている方(ツアー造成・受入地)   |                  |                             |       |            |
| 1           | 入村式・和紙すき体験  |                  | 昼食/トチの実加工体験                 |       |            |
|             | 各地  | ==車==            | 黒谷和紙工芸の里                    | ==車== | 古屋公民館      |
|             | 10:30/11:40   |                  | 12:00/13:30                 |       |            |
|             | 受入民宿との対面式 お宿の送迎   |                  |                             |       |            |
|             | ==車==   | たからの里            | ==車==                       | 各農家民宿 |            |
| 16:00/16:30 |   | 17:00頃           |                             |       |            |
| 2           | お宿の送迎 各民宿より集合   |                  | 視察/体験(黒豆収穫と草刈等のメンテナンス作業)/昼食 |       |            |
|             | 各民宿   | ==車==            | たからの里                       | ==車== | ともときファーム丹波 |
|             | 9:30  |                  | 10:00/13:30                 |       |            |
|             | 玉露体験/お買い物/離村式   |                  |                             |       |            |
|             | ==車==   | あやべ特産館           | ==車==                       | 各地    |            |
| 14:00/15:00 |   |                  |                             |       |            |
| 備考          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家民宿は、6軒に分宿で考えております。(5人×1軒、4人×5軒)</li> <li>・トチの実加工体験は、トチの実の皮むき、おかきを焼く作業です。</li> <li>・移動中に観光や地域資源も適宜視察をします。</li> </ul> |                  |                             |       |            |

～企画への思い～

- ・「“食”へのこだわり」→日常の食を見直したいが、行き過ぎた“こだわり”は現実的ではありません。  
1日目昼食：おにぎり、野菜の炊き合わせ、汁物など  
2日目昼食：地元野菜のピザやパン、蒸し野菜サラダ、具沢山スープなど
- ・「あやべ水源の里」→トチの実拾いや加工体験をボランティア活動にとどめない商品化への可能性を探ります。
- ・「ほんものを知る」→本来、食も生活品も手間がかかることを学びます。
- ・黒谷和紙は800年の伝統と歴史を持っています。



トチの実加工体験イメージ



農家民宿イメージ



和紙すき体験イメージ



ともときファーム丹波イメージ





# 広島県

北広島町

実施予定日：  
2016年2月週末

地産地消

交流

体験

観光

|       |   |                          |                           |                         |               |             |   |       |
|-------|---|--------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------|-------------|---|-------|
| No.   | 8   | 企画名<br>(ツアータイトル)         | 冬の味覚とアウトオブフィットネス          |                         |               |             |   |       |
|       |   | サブタイトル                   | 雪原トレッキングとどぶろくポパイ鍋で美カラダづくり |                         |               |             |   |       |
| 食事条件  | 朝：1回 昼：2回 夕：1回  | 宿泊施設                     | 各農家民宿                     |                         |               |             |   |       |
| 最大人員  | 40名   | 最少人員                     | 20名                       |                         |               |             |   |       |
| 現地協力先 | 北広島町農山村体験推進協議会、北広島観光プロモーション実行委員会  |                          |                           |                         |               |             |   |       |
| お勧めの方 | 【30～60代】体を動かす健康的な方(スポーツクラブ会員)   |                          |                           |                         |               |             |   |       |
| 1     | 出発  | 北広島町到着・昼食「石州鯖寿司・きたひろ焼き類」 |                           | かんじき作り                  |               |             |   |       |
|       | 各地  | ⇄                        | 酔膳亭 みちづれ                  | ⇄                       | 中祖会館          |             |   |       |
|       |   |                          | 11:40/12:45               |                         | 13:30/15:00   |             |   |       |
|       |   | 雪中キャベツ掘り                 | 温泉入浴                      | 神楽鑑賞                    | 夕食「どぶろくポパイ鍋」等 |             |   |       |
| 2     | ⇄   | 北広島町内                    | ⇄                         | 芸北オークガーデン               | ⇄             | 北広島町内       | ⇄ | 各民宿   |
|       |   | 15:15/16:00              |                           | 16:30/17:30             |               | 18:00/19:00 |   | 19:30 |
|       | 香茸の朝食／出発  | かんじき平原トレッキング             |                           | そば打ち体験とできあがったそばで昼食・お買い物 |               |             |   |       |
|       | ⇄   | 各民宿                      | ⇄                         | 八幡高原                    | ⇄             | 豊平どんぐり村     |   |       |
|       | 8:00  |                          | 8:30/10:30                |                         | 11:00/13:00   |             |   |       |
|       | お買い物  |                          |                           |                         |               |             |   |       |
| ⇄     | 道の駅 舞ロードIC千代田   | ⇄                        | 各地                        |                         |               |             |   |       |
|       | 13:30/14:15   |                          |                           |                         |               |             |   |       |
| 備考    | <p>&lt;荒天の場合&gt; 「雪中キャベツ掘り」→「いちご狩り」 「かんじきトレッキング」→「もちつき」</p> <p>&lt;持ち物&gt; 長靴または登山靴を各自持参・防寒・防水対策を各自お願いします</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車内でゆるキャラキャンディープレゼント</li> <li>・お土産として戦国武将「吉川元春」タオルをプレゼント</li> <li>・2日間の記録動画をバスの中で流します。(不可の場合もあり)</li> <li>・かんじきトレッキングには最低2名のガイドがつきます。2時間程度の平原トレッキング。</li> </ul> |                          |                           |                         |               |             |   |       |

### ～企画への思い～

- ・西日本一の豪雪地帯で雪と自然を満喫できます。
- ・神楽鑑賞で伝統文化を楽しむことができます。
- ・町のブランド豚『芸北高原豚』を使用したどぶろく鍋の夕食。
- ・ご当地グルメ『きたひろ焼麺(米粉の麺)』と幻のキノコ『香茸(こうたけ)』をご賞味ください!
- ・雪見の露天風呂で美肌になり、手作りかんじき体験と名人直伝のそば打ち体験を楽しめます



かんじき作り  
イメージ



かんじきトレッキング



農家民宿のお父さんお母さん



どぶろくポパイ  
鍋イメージ



そば打ちイメージ



さば寿司イメージ



**宮崎県**

小林市

実施予定日：  
2015年12月12日(土)～13日(日)

交流

体験

観光

地産地消

|                 |  |   |                               |                   |                |  |
|-----------------|--|---|-------------------------------|-------------------|----------------|--|
| No.             | 9  | 企画名<br>(ツアータイトル)                                | 北きりしま冬の田舎物語                   |                   |                |  |
|                 |  | サブタイトル  | 集落の伝統祭り「祓川夜神楽」見学！地元グルメ満喫と交流の旅 |                   |                |  |
| 食事条件            | 朝：1回 昼：2回 夕：1回   |   | 宿泊施設                          | 各農家民宿             |                |  |
| 最大人員            | 20名  |   | 最少人員                          | 20名               |                |  |
| 現地協力先           | 北きりしま田舎物語推進協議会事務局  |   |                               |                   |                |  |
| お勧めの方           | 大人（ご夫婦・女性・カップル）、ご家族  |   |                               |                   |                |  |
| 1               | 出発   | 世界各地の淡水魚130種1500匹飼育 小林市の新ご当地グルメ「小林チョウザメにぎり膳」の昼食 |                               |                   |                |  |
|                 | 福岡市内   | ＝電車＝ 出の山淡水魚水族館                                  | ・・・(徒歩)・・・                    | 出の山いこいの家          | ＝電車＝           |  |
|                 | 8:00   | 11:00/12:20                                     |                               | 12:30/13:30       |                |  |
|                 | 30分食べ放題  |   | 名物！バラ湯で入浴                     | 受入民宿と対面           | 1キロ程度受入家庭と歩きます |  |
|                 | いちご狩り（いちごの丘）   | ＝電車＝ 道の駅 ゆ～ぼるのじり                                | ・・・入村式・・・                     | イルミネーション見学        |                |  |
|                 | 14:00/14:30  | 15:00/16:20                                     |                               | 16:30             | 17:30点灯        |  |
|                 | 休憩   |   | 受入農家さんと一緒に見学                  |                   | 軽食あり           |  |
| ＝(受入家庭の車)＝ 民宿到着 |  | ・・・祓川夜神楽（地域のお宅でそばのふるまい→神楽見学）・・・ 民宿着             |                               |                   |                |  |
| 18:00頃          |  | 19:30頃集合（2件のお宅に分かれてそば）                          |                               |                   |                |  |
| 2               | 受入民宿とのお別れと直売所でのお買い物  |   | 工場見学ガイド付                      | 大型バスは明石酒造に留置き     | 焼酎の神様へお参り      |  |
|                 | 杜の穂倉（退村式/お買い物）   |   | ＝電車＝ 明石酒造                     | ＝(マイクロバス移動)＝ 金松法然 |                |  |
|                 | 8:45/9:30  |   | 10:10/11:10                   |                   | 11:20/11:50    |  |
|                 | バイキングの昼食とお買い物  |   |                               | 到着                |                |  |
|                 | ＝電車＝ 道の駅 えびの   | ＝電車＝ えびのIC                                      | ＝電車＝ 福岡市内                     |                   |                |  |
| 12:15/14:00     |  | 14:05   |                               | 17:00頃            |                |  |
| 備考              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家民宿は、高原地区（5軒）の農家さんが温かく受け入れを致します。（むらうちさん家・霧島展望の宿・ポニーの宿・かもちゃんハウス・ねむの花咲く宿）／1軒につき4名の受入が基本です。（2名様の場合には、もう1組同じ宿になります）／1名参加は男女別相部屋対応</li> <li>・夜の神楽見学は冷えるので防寒対策が必要です。祓川夜神楽は夜の19時頃から翌朝まで続く祭りです。民宿単位で見学をします。見学後はその地域の民家でそばの振る舞いがありますので夕食はほどほどに・・・</li> <li>・「道の駅えびの」でレストラン対応シールの宮崎牛をご購入（1500円以上）頂きますとバイキング料金が500円引きとなります。</li> </ul> |   |                               |                   |                |  |

～企画への思い～

- ①高原地区 自然の恵みに感謝と1年でこの日ではしか体験できない夜神楽見学（祓川神楽）
- ②小林地区 チョウザメ握り膳、旬のいちご狩りをお楽しみ頂きます
- ③えびの地区 地元の酒造見学と、焼酎を供えて一つだけ願をかけることで有名な金松法然参り



農家民宿イメージ



宮崎牛イメージ



夜神楽イメージ



地元の農家さんイメージ



チョウザメ料理イメージ



# 沖縄県

東村（ひがしそん）

実施予定日：  
2016年1月中旬～2月上旬

地産地消

交流

体験

観光

|             |  |                     |                     |                       |            |  |
|-------------|--|---------------------|---------------------|-----------------------|------------|--|
| No.         | 10   | 企画名<br>(ツアータイトル)    | 沖縄パイナップル畑でゆいま～る     |                       |            |  |
|             |  | サブタイトル              | ～東村の青い空と赤い土で感じる甘い風～ |                       |            |  |
| 食事条件        | 朝：1回 昼：2回 夕：1回   |                     | 宿泊施設                | 東村各農家民宿               |            |  |
| 最大人員        | 40名  |                     | 最少人員                | 15名                   |            |  |
| 現地協力先       | NPO法人 東村観光推進協議会  |                     |                     |                       |            |  |
| お勧めの方       | 壮年層～シニア層のファミリー   |                     |                     |                       |            |  |
| 1           | 出発   | 朝食：沖縄スペシャル定食        |                     | 対面後は受入民宿の車にて移動        |            |  |
|             | 那覇市内   | 東村平良地区/サンライズひがし内東ぬ浜 |                     | ・・・ 受入民宿との対面式         |            |  |
|             | 9:30   | 11:30/13:00         |                     | 13:00                 |            |  |
|             | 体験活動（成熟パインは後日お届けします）・環境保全活動  |                     |                     | 宿泊                    |            |  |
|             | パインの植付とグリーンベルト植栽   |                     | 各民宿へ                |                       | ※夕食は沖縄料理体験 |  |
| 14:00/17:00 |  | 17:30               |                     |                       |            |  |
| 2           | 出発   | ものづくり体験             |                     | 地域のお母さんが作るお弁当         |            |  |
|             | 各民宿  | 漆喰シーサー作り体験          |                     | 福地川海浜公園（雨天時：つつじエコパーク） |            |  |
|             | 9:00/12:00   |                     | 12:00/13:00         |                       |            |  |
|             | 離村式・東村特産品加工直売所にてお買い物   |                     |                     |                       |            |  |
|             | サンライズひがし   |                     | 那覇市                 |                       |            |  |
| 13:00/13:30 |  | 15:30               |                     |                       |            |  |
| 備考          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日目の昼食内容は、沖縄そば小・ジュシー・モズク天ぷら・海ぶどう・ゴーヤちゃんぷるー・ジーマーミー豆腐・パインジュースとなります。</li> <li>・2日目の体験は、釣り体験、パインジャム作り体験に変更可能です。</li> <li>・1日目対面式～2日目離村式間の移動手段は、各民宿の車となります。</li> </ul> <p>&lt;荒天の場合&gt;<br/>「パインの植付」 → 「いちごジャム作り」</p> |                     |                     |                       |            |  |

### ～企画への思い～

- ・東村はパイナップルの生産量が日本一の地域です。そこで特産品のパイナップルの植付け体験を行います。パイナップルが成熟されるまでには植付けから2年かかるため、翌年に成熟した植栽したものは別のパイナップルをお送り致します。
- ・グリーンベルト植栽によって、海に流れ出る赤土を食い止める環境保全活動を行います。上質なパイナップルを作成するために必要な赤土とサンゴ礁には天敵の赤土を防ぐという双方にとってメリットが生じる活動です



昼食場所「東ぬ浜」



パイナップル植栽



グリーンベルト(ベチパー)植栽



東村慶佐次川



漆喰シーサー作り体験



## (7) プランの確認事項

ツアー実施に向けて生じた主な確認内容および特記事項を以下に整理した。

### 1) 北海道東川町：水と写真の町「東川」の魅力体験ツアー

- ・移住定住であったツアーコンセプトを「体験」と「交流」をメインにして気軽に参加できる内容にして、最終的に移住定住に結び付ける方向に変更。
- ・食に関するプログラムの追加（越冬野菜雪室貯蔵施設見学）
- ・食事内容の確認

### 2) 秋田県大館市：いただきます。おおだて。

- ・各プログラムの実施場所の明確化
- ・写真の入手（曲げわっぱ、秋田犬）

### 3) 栃木県大田原市：農家に泊まって！学んで！大人の食育ツアー

- ・農村生活体験のプログラム内容  
⇒教育旅行では内容未定でも案内できるが、大人向けの場合は予め内容を告知できることが望ましい。
- ・収穫体験の農産物内容
- ・写真の入手（農家民宿の外観イメージ、農家さんのイメージ、しし鍋）

### 4) 群馬県みなかみ町：雪のみなかみへ行こう！かまくらで麦ぶた鍋&雪国ステイ2日間

- ・積雪が少なく「かまくら作り体験」の実施が危ぶまれた。※直前のドカ雪で実施できた
- ・上記理由により雪下野菜の実施場所選定に時間がかかった。

### 5) 石川県能登町：「春蘭の里」じわもん(地場もの) づくし

- ・集合場所の選定（金沢駅集合解散または羽田空港集合解散）※羽田空港集合で実施  
⇒どこに居住している方をターゲットにしてどのようなプロモーションを行うのかを検討した。
- ・大根掘り体験を酒蔵での新酒試飲に変更（持ち帰るのが大変なため）  
⇒訪問者は遠距離を移動する宿泊ツアーでは重いものの持ち帰りはできるだけ避けた方が良い。
- ・2日目を能登半島の観光周遊に変更
- ・写真の入手（ほうき作り体験、農家民宿）

### 6) 岐阜県郡上市：水と暮らす町“郡上八幡”の城下町めぐりとジビエ体験・絶品ジビエ料理の旅

- ・郡上八幡見所通行手形のサービス内容
- ・写真の入手（農家民宿、ジビエ体験、街並み散策、食品サンプル作り体験）

### 7) 京都府綾部市：のんびり綾部味わいツアー

- ・ともしきファームでの視察内容
- ・写真の入手（トチの実加工、和紙すき体験、農家民宿）

8) 広島県北広島町：冬の味覚とアウトオブフィットネス

- ・ 集合場所の選定（大阪市内集合解散または広島市内集合解散）※広島市内集合で実施  
⇒当初予定していた大阪市内のスポーツクラブへの提案が難航し、最終的に広島県内での一般募集になった。それに伴いツアー名を「芸北！地産地消と田舎体験を満喫！」に変更した。
- ・ 実施日の選定（繁忙期との兼ね合い）  
⇒繁忙期での実施には農家民宿への配慮が必要であった。
- ・ 神楽鑑賞の採用見合わせ（夜間での実施によるスケジューリングの難しさおよび鑑賞費用）
- ・ かんじきトレッキングの歩行距離と勾配
- ・ 写真の入手（雪中キャベツ掘り、どぶろくポパイ鍋、かんじき作り）

9) 宮崎県小林市：北きりしま冬の田舎物語

- ・ 現地到着後に3コースに分割されていたのを1コースに集約（ツアーの告知・案内を考慮）
- ・ 神楽の情報（開始時間、見学時間、ふるまいそばの提供方法等）
- ・ 当初は宮崎牛の料理であったが料金が高く別メニューに変更  
⇒最終的な旅行代金と市場価格および想定する訪問者のターゲットを考慮。

10) 沖縄県東村：沖縄パイナップル畑でゆいま～る

- ・ パインの後日発送の条件（参加者負担か体験料金に含むか）※体験料金に含んで実施
- ・ 写真の入手（体験、料理、農家民宿）および地域内の移動手段

11) 共通

- ・ 農家民宿の情報（施設全体の外観・内装、食事内容、体験内容、アメニティ、ホスピタリティ等）
- ・ 各施設の場所およびアクセス方法
- ・ 料理の内容（特に地元の食材や郷土料理等のPRポイント）
- ・ 体験の内容（特徴、所要時間、難易度、持ち帰りできる場合その内容）
- ・ 各プログラムの料金
- ・ 各プログラムおよび農家民宿の写真
- ・ 現地インストラクターやコーディネーターの有無とミーティングポイント、案内内容

12) まとめ

不特定多数の募集型ツアーであっても、貸切の受注型ツアーであっても、プロモーションの際に地域の具体的な情報は必要不可欠となる。特に農家民宿は個人宅であるので外観から内装、サービス内容まで千差万別であるため、地域からの事前情報の提供は重みを持つ。また複数の宿を利用する場合は、参加者同士で極端な差がつかないように最大限配慮が必要となる。（食事内容や飲み物の提供方法、お土産のお渡し等）

また共通して各プログラムや農家民宿の写真の入手に時間や手間がかかるケースが多かった。写真は告知の際に重要なツールであり、特に見栄えの良い写真をストックとして揃えておくことが望まれる。その意味で参加者に撮影の許可を受けて実施するモニターツアーは撮影の絶好の機会となる。

## 2. 農林漁家民宿開業・運営の手引き活用／ツアー検証セミナー

### (1) 趣旨・目的

第2章で述べた「農林漁家民宿開業・運営の手引き」の活用方法や、第4章で述べるツアーの検証結果を発表することを目的に開催した。

手引きの活用方法に関しては、手引き作成委員会の座長であった中村貴子講師（京都府立大学生命環境科学研究科）より、また農林漁家民宿経営者の実態調査、都市生活者への意識調査について、坊安恵研究員（京都府立大学生命環境科学研究科）より発表した。

ツアー検証に関しては、秋田県の大館市まるごと体験推進協議会、群馬県のみなかみ町体験旅行、宮崎県の北きりしま田舎物語推進協議会よりツアーの様子を、また手引き作成員会の事務局よりツアーの総括を発表した。

セミナーの参加対象者は地域関係者（農家民宿経営者・開業希望者を含む）、観光関係者、行政関係者等とし、東京にて1回開催した。なお手引き作成の際に調査地域として選定した9地域からの参加は任意とし、それ以外の参加者は一般募集により募った。

### (2) 実施概要

①開催日時 平成27年3月10日（木）13時～16時30分

②参加者数 29団体／40名

地域協議会14名、行政11名、地域組織2名、個人2名、その他（大学関係者含む）11名

### (3) セミナーの内容

#### 1) 報告

##### ①農林漁家民宿開業・経営の手引き紹介

発表者：中村 貴子（京都府立大学生命環境科学研究科 講師）

##### ②農家民宿の宿泊者と経営者に関する調査結果

発表者：坊 安恵（京都府立大学生命環境科学研究科 共同研究員）

#### 2) モニターツアー実施報告・総括

##### ①大館市まるごと体験推進協議会

発表者：石垣 一子（会長）、高橋えり子

##### ②みなかみ町体験旅行

発表者：北山 郁人（常務理事）

##### ③北きりしま田舎物語推進協議会

発表者：富満 哲夫（会長）、松窪 ミツエ（副会長）

##### ④株式会社農協観光

発表者：前場 大樹（旅行事業部グリーンツーリズム事業課）

※研修会で使用した資料は別添資料②として収録。

#### (4) セミナーの結果

手引きに関しては、規制緩和やインバウンド等、最新の情報を掲載している点、開業までの過程が分かりやすい点、運営のことまで触れている点等について評価を頂いた。実際に行政・協議会担当者より改訂版の作成や地域・行政・農家等への説明に活用したいとの声があり、地域の需要に応えられそうな感触が得られた。

宿泊者と経営者の調査に関しては、特に経営者側のデータを明確に出せたことが、とりわけ行政・協議会担当者にとって有益であったという感想が得られた。

モニターツアーの実施報告に関しては、地域の実践者の生の声が聴けたことを評価する声を多く頂いた。また総括においては、訪問者ニーズの分析や販売チャネル・プロモーションについて参考になった意見を頂いた。

全体的な傾向として概ね評価を頂けたが、今後の規制緩和情報のさらなる掲載の必要性、インバウンド情報へのさらなる関心の高さ、価格設定や集客方法への懸念等の意見も頂いており、引き続き留意する必要がある。参加者からのアンケートより主な感想を以下に紹介する。

##### 1) 農林漁家民宿開業・運営の手引き紹介

- ・当県でも開業の手引きをH18に作成していますが**改訂版を作成しようと思っております**。外国人旅行者の受入など**参考になることが多々あり大変勉強になりました**。
- ・**行政担当者への説明資料としても活用できる**分かりやすい資料だと思いました。
- ・分かりやすい素晴らしい手引きになっていると思います。**地域に活用したい**と思いました。
- ・**最新の情報**が盛り込まれており、今後積極的に活用していきたいと思います。
- ・**実際の開業までのフロー**が分かり良かった。
- ・詳細なマニュアルで大変参考になりました。一般的な「民泊」についても国の方針など明確になりましたら情報がこのような形でまとまると**大変ありがたいです**。
- ・現在、市ではG Tの普及展開に向けて農家さんに**個別のアプローチ**をかけようと考えている。渡り舟のタイミングで素晴らしい資料を頂くことができた。
- ・非常にまとまっていて参考になります。特に**各種法制度の規制緩和や基準等のまとめや外国人対応**など参考にしたいと思います。
- ・開業に関することについては、これまでも手引きやマニュアルを目にすることがあったが、**運営のことまでレクチャーしてあるものは少なかった**のではないかと思う。当県においても開業軒数はある程度増えてきたが、その後の経営が課題となってきたため、行政としても研修等の支援が必要だと感じているところです。
- ・時間的に長いように感じましたが**全て参考になる内容でした**。インバウンドについてももう少し詳しくても**良かった**です。
- ・**外国人受入の声**をもっと詳しく聞きたかった。
- ・今後も手引きを改良していくことで**開業する方が増えてくる**と思います。
- ・私は民宿業を取得していますが、各市町村の担当者の方が県に働きかけてもらったら早く取得できると思います。
- ・これから規制緩和にかかわる大きな改正があるので**全国的に情報共有できる体制**をつくってほしいと感じました。
- ・規制緩和や開業までの手続きは**各県でかなり異なる**ようです。その辺りを強調してほしい。

## 2) 農家民宿の宿泊者と経営者に関する調査結果

- ・数値的にまとめられた中での考察を示していただき、**今後の支援に利用**させて頂きたい。
- ・農家民宿宿泊希望者、開設希望者それぞれから相談を受ける立場にあり、調査結果は大変興味深く参考になった。
- ・**経営者の声を聞く機会が限られている**ので非常に興味深く拝見しました。
- ・何となく感じていることがデータになると**説得力があり参考**になりました。
- ・宿泊者と経営者双方の意識と傾向からそれぞれに対するアプローチの在り方を理解できた。
- ・今までぼんやりとは感じてはいたことでも、はっきりと調査結果としてデータが示されたため、**今後の業務の参考として活用**したい。
- ・アレルギー対策のアンケートも欲しいです。(特に教育旅行の場合)
- ・読み上げだけでないコメントが聞きたかったと思いました。

## 3) モニターツアー実施報告 (各地域)

- ・どのツアーも**地域色**が活かされており工夫されていると思いました。
- ・実際に受入れを行っている方(他県)の声を聞ける**機会は大変少ない**ので地域の特色を活かして工夫した取組みをされている話が聞けて大変良かったです。
- ・実践者の発表はリアル感があり勉強になりました。
- ・実際に取組まれての感想、子供の受入との違いなど、生の声が聞けて良かったです。
- ・各団体とも地域性を活かした素晴らしい企画であったと思います。
- ・**全国レベルの素材**を組み合わせ、これでもかという位のおもてなしを提供している素晴らしいツアーばかりでした。
- ・それぞれの地域の資源や魅力がたくさん盛り込まれていて参考にしたい。
- ・それぞれの取組みをご紹介頂いて、皆さんの熱意も感じられて非常に良かった。自分も参加してみたいと感じた。
- ・どの地域も非常に工夫していて素晴らしい。「地元ならでは」の演出は地元の人にとって意外と難しいと思う。
- ・中野区とみなかみ町のように**官の協力**が全国で展開してほしい。
- ・モニターツアー等続けることで磨き上がっていくものと思うが、これから取組みを始める地域への**アドバイス**も聞きたかった。
- ・みなさん楽しそうでいらっしまったのが印象的でした。**集客や価格設定**がやはり難しいのかなと感じました。
- ・各協議会の皆さまの心のこもったおもてなしの様子が伺え、大変参考になりました。気になるのは**果たして採算がとれたのか心配**です。広報・集客に課題があると感じました。
- ・前のスライドが明るくて見づらかった。



#### 4) モニターツアー実施報告（農協観光）

- ・とても参考になる。ツアー告知の難しさは誰でも感じるどころ。いかに対象を絞り込むか。地域のメニューだけでなく地域でどういった人を受け入れたいか等、地域でじっくり考えなくてはならないと思いました。
- ・日帰りと宿泊客に分けて比較して頂いたのが、今まで自分にそのような視点が無かったため、なるほど！という感じだった。告知に関する事など非常に勉強になりました。
- ・日帰り・宿泊のニーズの違いを考えてプログラムを組みたい。
- ・非常にまとまった貴重な調査結果をありがとうございます。GTのみならず着地型観光商品づくりの参考になります。
- ・当県でも農家民宿モニターツアーの実施を考えているので今回の報告を参考に募集方法やツアー内容等を検討したいと思います。大変参考になりました。
- ・今後の参考になりました。明るい未来を感じます。貴重な報告だったと思います。
- ・「価格」についてのお話、「販売」のお話など具体的で参考になりました。
- ・実務的な分析があり今後のプランづくりに利用していきたい。
- ・農家民宿の厳しい一面、モニターツアーにも関わらず高い料金というのにショックを受けた。ハードルが高いのを実感した。普及するには儲けだけでなくやりがい進めないと難しいと思った
- ・1の調査結果とリミックスして下さると良かったように思います。
- ・再訪ニーズ分析があいまい。リピーターとなる人は本当にいるか。
- ・ツアー金額について「高い」と感じている参加者は普段どんなツアーに参加しているのか。
- ・課題も多いと思いますが地域への社会的効果は高かったように感じました。  
傾向は大体分かりましたが、モニターツアー（安物買い客）的なのところもあったのでは

#### 5) その他

- ・実際に生の実施報告を聞かせて頂き、色々と苦労はあると思いますが、大変魅力的なものに感じました。（この分野が）発展すれば日本が元気になると思います。
- ・内容が充実しており良い研修セミナーでした。ありがとうございました。
- ・最終的には支払った金額と満足度のバランス。
- ・補助金があれば別だが、残念ながら利益が出ない事業は続かない。
- ・今回10地域のモニターツアー実施とのことですが、3地域しか出席されないのが大変残念でした。

(5) セミナー当日の様子



**農家民宿活用し  
活性化と所得増**  
東京でセミナー  
農林漁家民宿を活用したグリーン・ツーリズムの在り方を考えようと、(株)農協観光と全国農協観光協会は10日、最終となるセミナーを東京都千代田区のNツアービルで開いた。参加者は農家民宿の取り組みがやりの創出や地域活性化、農家所得向上に効果があることに期待を寄せた。  
農水省の都市農村共生・対流総合対策交付金を活用して企画。民宿を生かした地域活性化に取り組む地域協議会や行政担当者ら35人が参加した。参加者は、大学の研究者から、今年度実施した民宿経営者や宿泊者を対象にした調査結果や、民宿の開業・運営に向けた手引に関する説明を聞いた。

日本農業新聞(平成 28 年 3 月 11 日掲載)

も使って欲しい」と話した。  
農家民宿に宿泊するモニターツアーの検証では、全国で一〇本実施したツアーの中から秋田県大館市、群馬県みなかみ町、宮城県北きりしま地域の受入団体が、ツアーの企画や当日の模様、参加者から寄せられた感想を報告。総括した農協観光グリーンツーリズム事業課の前場大樹氏は、「日帰りとは比べて民宿ツアーでは郷土料理や地域の人との交流・ふれあいを目的に参加する人が多く、告知は不特定多数を対象にするよりも団体・会員組織のチャネルの効果が高い」「農山漁村を体験した子どもたちが増えるので、大人になって再訪してもらおう仕掛けが大切になる」とコメントし、農協観光の立松雅敏副部長は閉会挨拶で、「開業に必要な手続きも多いが、何でも分かる手引きを作ったので、お客さんへのおもてなしと思えば、ハードルは高くなく開業できると思う」と農家民宿への取り組みを呼びかけた。



農家民宿開業・運営の開業の手引きは、開業に向けた準備、開業手続き、宿泊者との関わり方、安全管理、関係者との連携、外国人旅行者の受入れの六章と、チェックシート、申請書類の資料頁で構成され、各章の内容を分かりやすく概観できる漫画も掲載している。手引きの活用について説明した京都府立大学講師の中村貴子氏(写真)は、「小中学生を受け入れる農家民宿は増えてきたが、大人の受入れには許可が必要で、その手続きの包括的なマニュアルがなかった。開業したい人、開業をサポートする人はもちろん、既に経営している方が外国人を受入れるなど新しい取り組みをする時の研修に

◆農家民宿の開業希望者、軒数増やしたい地域向け手引きでセミナー―農観等◆  
(株)農協観光と(一社)全国農協観光協会は10日、都市農村交流で農山漁村の受入拡大に期待される農家民宿(農家民宿)について、近く発行する「開業・運営の手引き」の活用と、大人のグリーンツーリズムをテーマに実施した一泊二日のモニターツアーを検証するセミナーを東京・秋葉原のNツアービルで開催した。農水省の「観光と連携したグリーンツーリズムの推進事業」の一環で開いたもので、関係する行政・地域協議会の担当者、農家民宿経営者ら四〇名が参加した。  
開会挨拶した農水省都市農村交流課の岡村卓弥専門官は、「広がりをもてる都市農村交流や急増する訪日外国人旅行者を農山漁村地域で受入れるため、農家民宿体験民宿を増やす必要がある。手引きは開業への必要な基本的情報や心構え、規制の変化と対応などを包括的に取り上げたので、民宿経営を通じて農家の所得向上や地域の活性化のために活用してほしい」と述べた。

## 第4章 ツアーの検証

## 1. 実施概要

第3章のセミナーで作成されたプランを、農家民宿に滞在する1泊2日のツアーとして実際に販売し、結果について検証を行った。

ツアーは実施地域から1泊2日圏内の都市圏を発地として、募集型企画（一般募集）および受注型企画（団体による貸切）の2形態で実施した。また複数の旅行会社の販売チャネルを活用する試みも行った。ツアーの参加対象は、ターゲットのセグメント化とその比較を意識し、「シニア層（60代以上）」「壮年層（30～50代）」「若年層（10～20代）」の各世代層を意識して募集した。またグリーン・ツーリズムの「未経験者」と「経験者」を区別し、その比較も試みた。

アンケートの内容は「参加するまでの動機」「ツアーの感想」「今後の意向」の時間軸も意識して聞き取り、参加に際しての心理的・物理的な動機を調査した。

また項目によって、平成26年度本事業※（以下、平成26年度事業）との比較も試みている。

※平成26年度 都市農村共生・対流総合対策 観光と連携したグリーン・ツーリズムの推進、日帰りツアーを32本実施

### 実施したツアーの一覧

| No    | 地域名                 | ツアー名                                    | 旅行形態 | 主な参加世代      | 参加人数 | 旅行代金(大人) | 主な販売チャネル               |
|-------|---------------------|---|------|-------------|------|----------|------------------------|
| 1     | 北海道<br>上川郡<br>東川町   | 水と写真の町「東川」の魅力体験ツアー                      | 受注型  | 壮年層         | 9    | 17,800円  | 企業営業                   |
| 2     | 秋田県<br>大館市          | いただきます。おおだて。                            | 募集型  | シニア層        | 16   | 19,800円  | 地元リビング誌                |
| 3     | 栃木県<br>大田原市         | 農家に泊まって！学んで！<br>大人の食育ツアー                | 募集型  | シニア層        | 10   | 18,800円  | 会員組織へのDM               |
| 4     | 群馬県<br>利根郡<br>みなかみ町 | 雪のみなかみへ行こう！<br>かまくらで食べた鍋&雪国ステイ2日間       | 募集型  | シニア層<br>親子層 | 38   | 11,000円  | 連携都市における区報<br>(東京都中野区) |
| 5     | 石川県<br>鳳珠郡<br>能登町   | 奥能登「春蘭の里」じわもん(地場もの)<br>づくし              | 募集型  | シニア層        | 10   | 39,800円  | 会員組織へのDM               |
| 6     | 岐阜県<br>郡上市          | 水と暮らす町“郡上八幡”の城下町めぐり<br>とジビエ体験・絶品ジビエ料理の旅 | 受注型  | 若年層         | 11   | 15,500円  | 団体営業<br>(サークル組織)       |
| 7     | 京都府<br>綾部市          | のんびり綾部味わいツアー                            | 受注型  | 若年層         | 23   | 22,750円  | 学校営業<br>(専門学校)         |
| 8     | 広島県<br>山県郡<br>北広島町  | 芸北！地産地消と田舎生活を満喫！                        | 募集型  | 壮年層<br>シニア層 | 10   | 16,000円  | 企業営業<br>地元新聞           |
| 9     | 宮崎県<br>小林市          | 北きりしま冬の田舎物語                             | 募集型  | シニア層        | 11   | 17,500円  | 地元リビング誌                |
| 10    | 沖縄県<br>国頭郡<br>東村    | 沖縄パイナップル畑でゆいま～る                         | 募集型  | シニア層        | 12   | 18,800円  | 会員組織へのDM               |
| 参加者合計 |                     |   |      |             | 150  |          |                        |

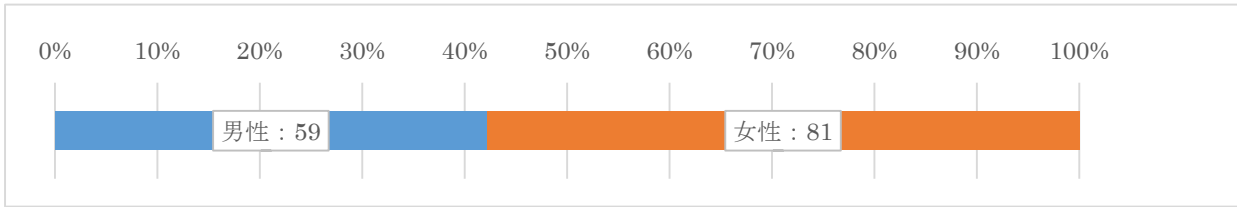
※実施した各ツアーのレポートは別添資料③として収録。

※実施した各ツアーのアンケートは別添資料④として収録。

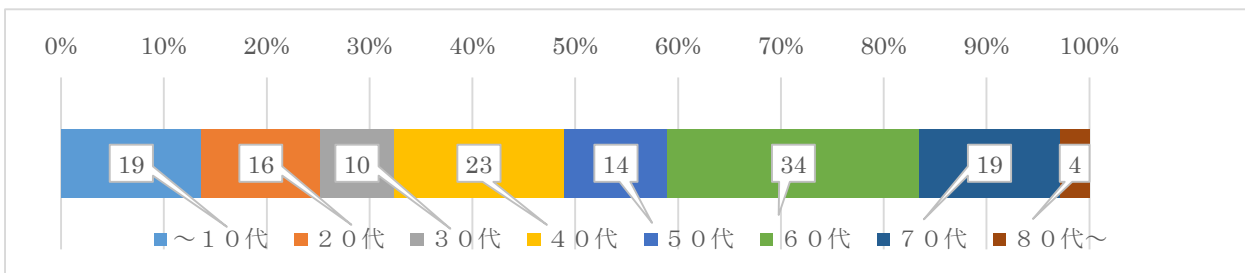
## 2. アンケートの結果と検証

### (1) 参加者の属性

#### 1) 性別 (N=140) 【回答数・割合】



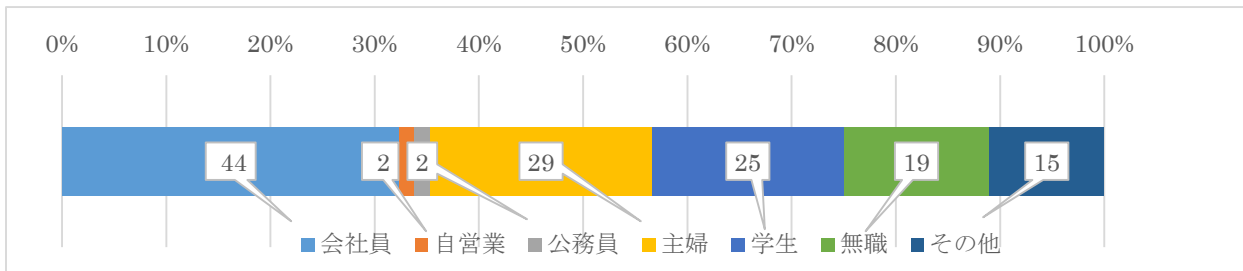
#### 2) 年代 (N=139) 【回答数・割合】



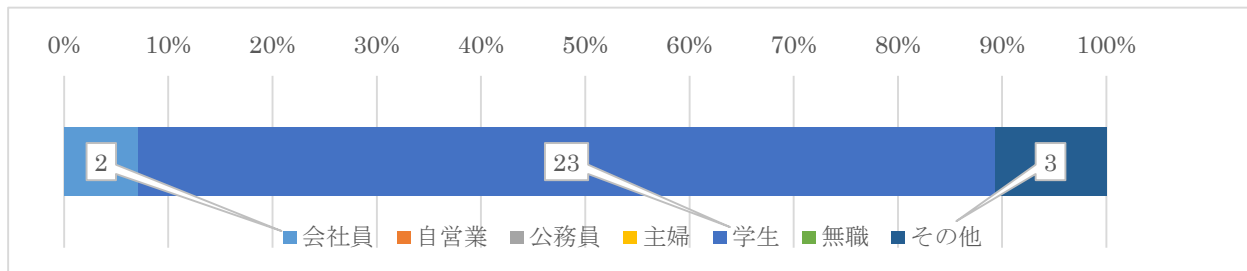
⇒全世代からバランス良くご参加頂いた。ややシニア層が多い結果となった。

#### 3) 職業 【回答数・割合】

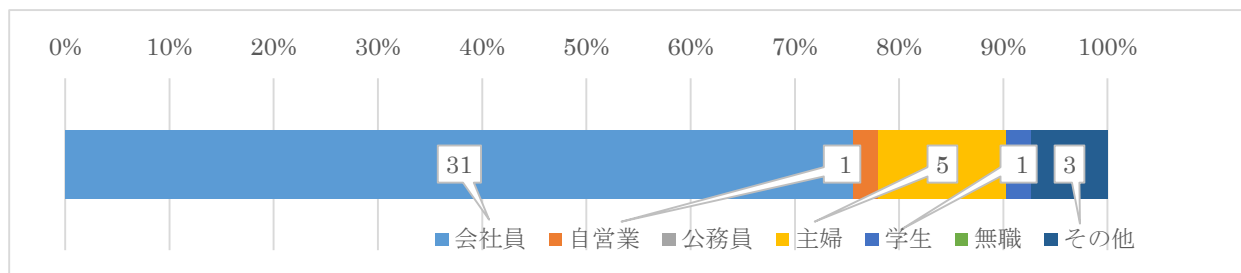
##### ①全体 (N=136)



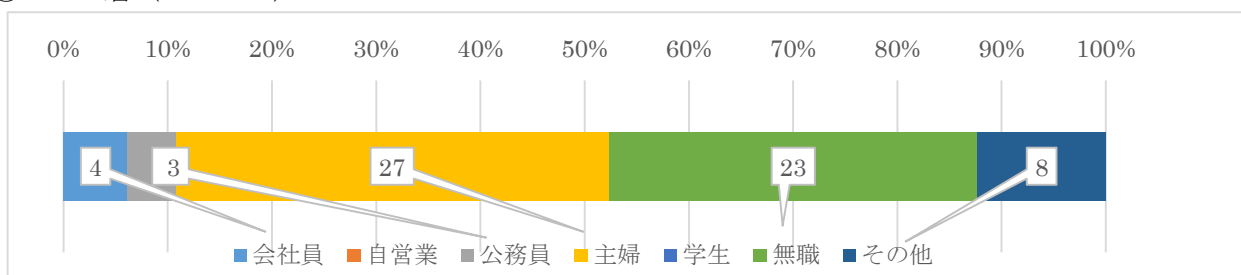
##### ②若年層 (N=28)



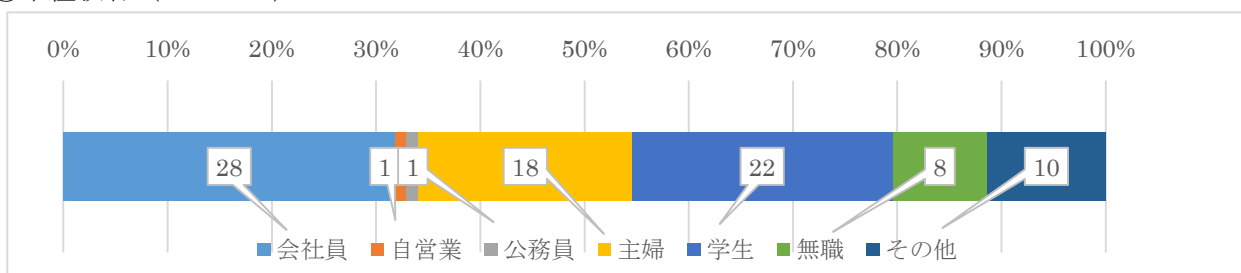
③壮年層 (N = 41)



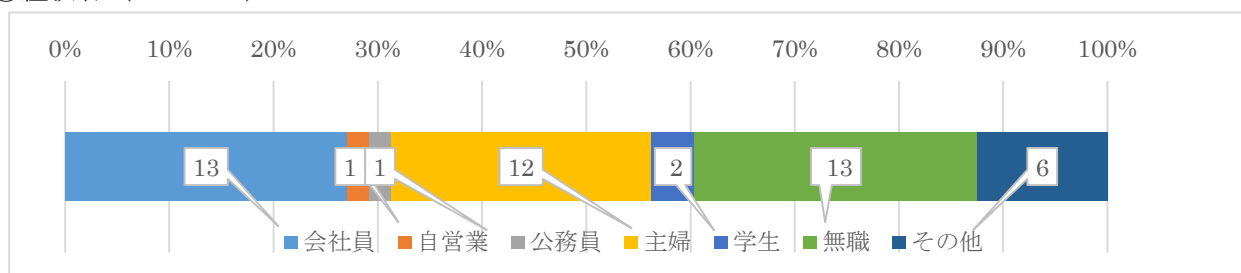
④シニア層 (N = 65)



⑤未経験者 (N = 88)



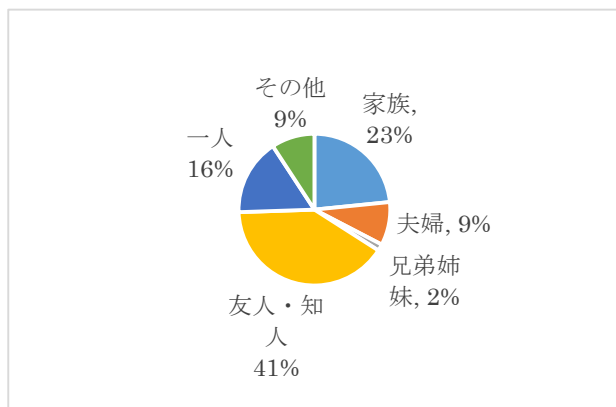
⑥経験者 (N = 48)



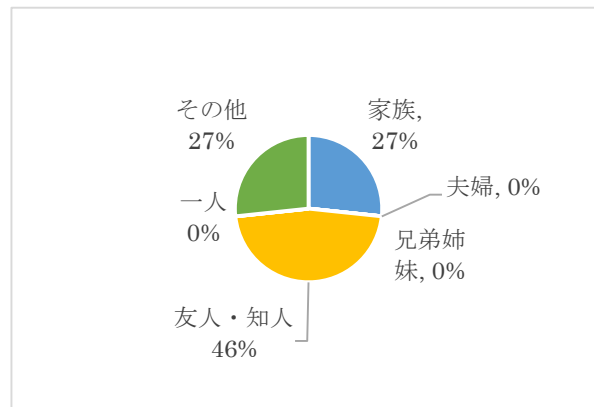
⇒当然のことを述べるが、若年層では学生、壮年層では会社員、シニア層では主婦および無職の方の参加が多かった。なお未経験者では会社員と学生、経験者では無職、主婦、会社員が多く、傾向として未経験者では年齢が低く、経験者は年齢が高い傾向がある。

#### 4) 同行者 【割合】

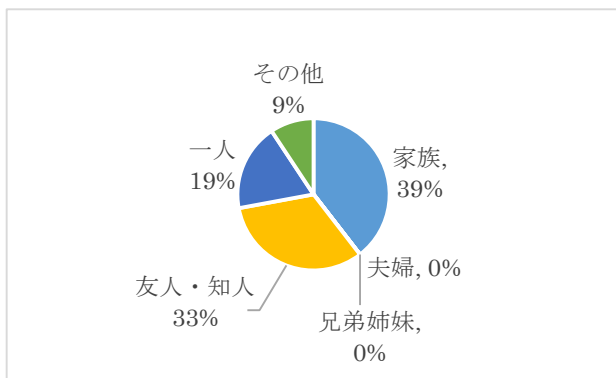
①全体 (N = 141)



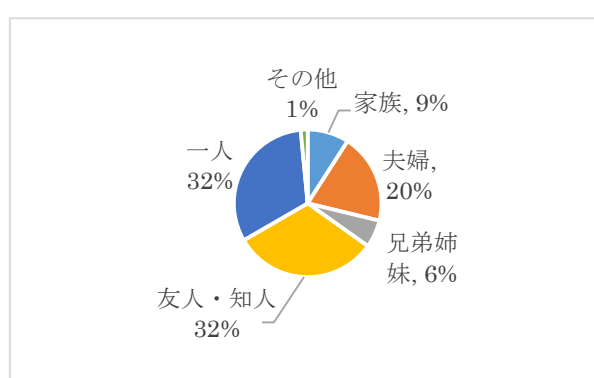
②若年層 (N = 30)



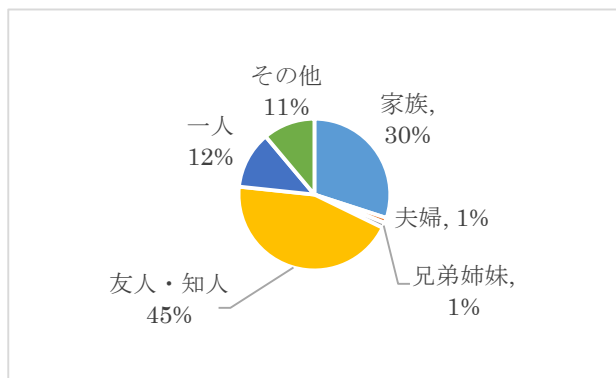
③壮年層 (N = 43)



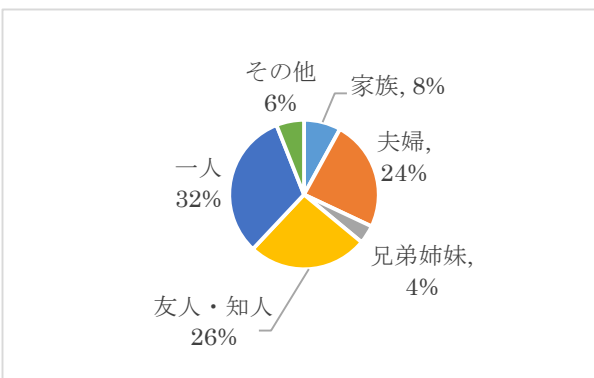
④シニア層 (N = 66)



⑤未経験者 (N = 90)



⑥経験者 (N = 50)

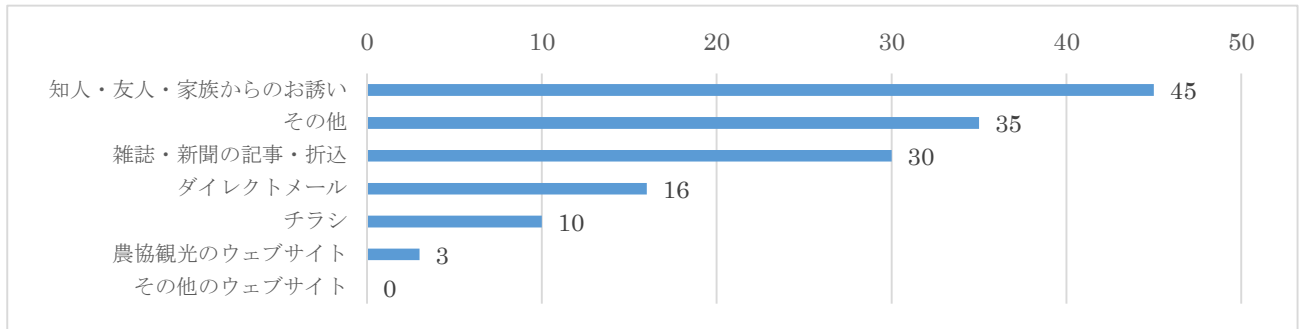


⇒全体としては友人・知人、家族、一人での参加が多かった。若年層では友人・知人、家族が多く、また“その他”が多いのは専門学校での授業の一環であったためである。壮年層では家族、友人・知人、シニア層では友人・知人、一人、夫婦が多い。

未経験者では友人・知人、家族、経験者では一人、友人・知人、夫婦と続く。経験者における一人参加の多さが特徴的。

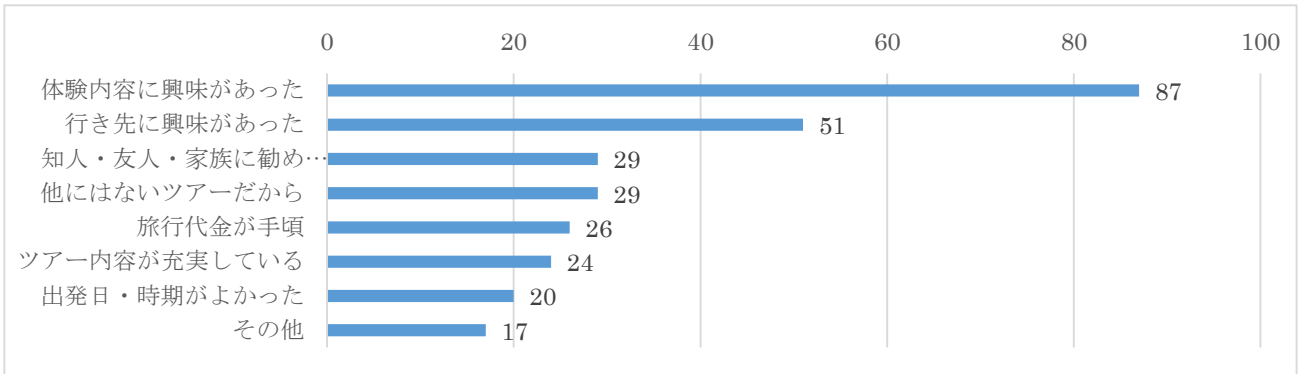
(2) 参加するまでの動機

1) 今回のツアーを初めに知ったきっかけ (N = 139) 【回答数】



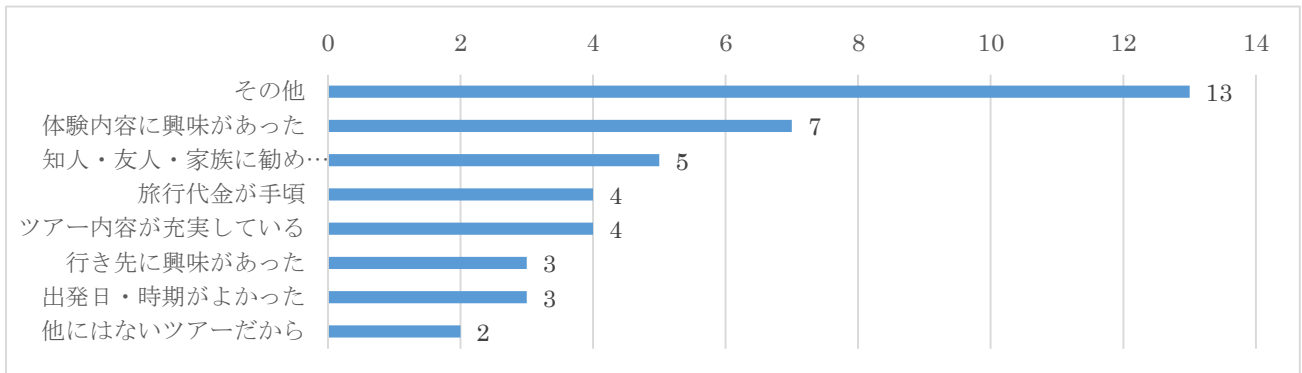
2) ツアーに参加したポイントは何か 【回答数】

①全体 (N = 283 ※複数回答)



⇒体験内容と行き先への興味が特に高い。知人・友人等からの勧め、他にないツアー、旅行代金等も重要な要素と想定され、トータルで条件が揃っていることも重要といえる。

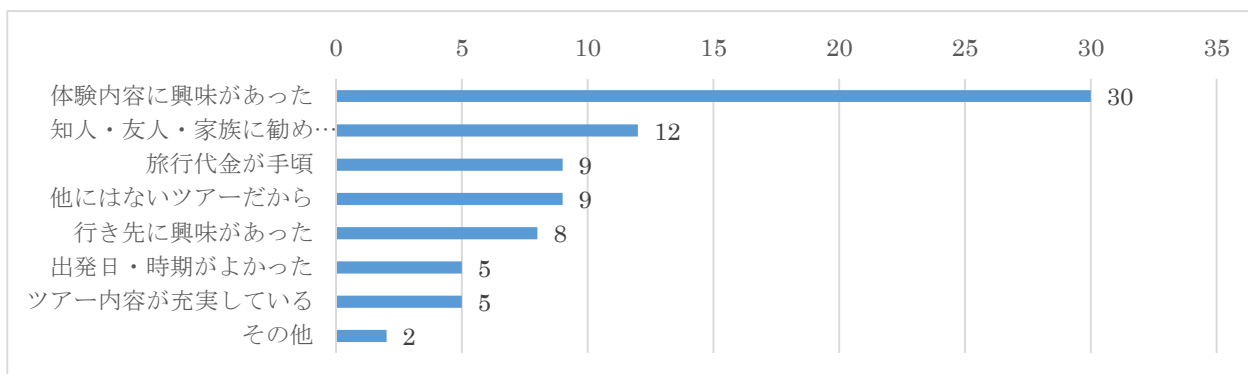
②若年層 (N = 30 ※複数回答)



⇒その他が多いのは専門学校の授業が含まれるため。複数回答にも関わらず回答数が少なく全体的に方向感がみられない結果。

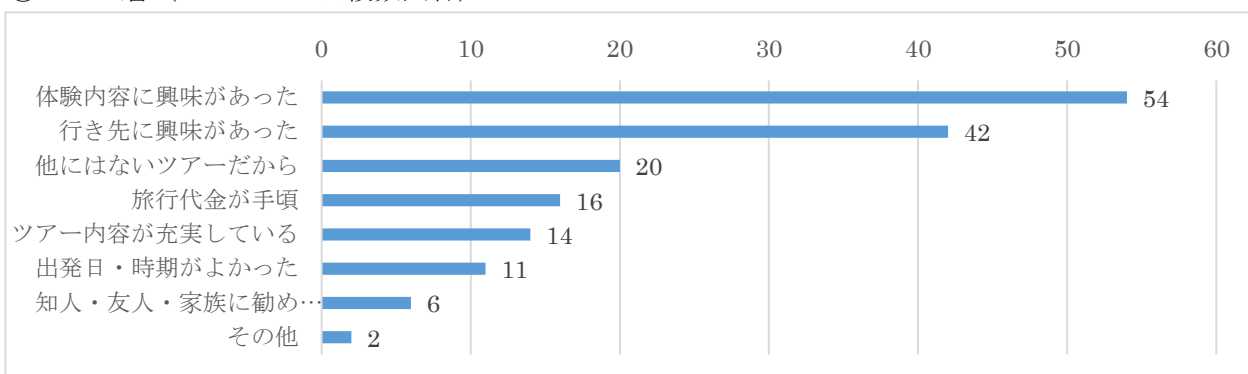


③壮年層（N=43 ※複数回答）



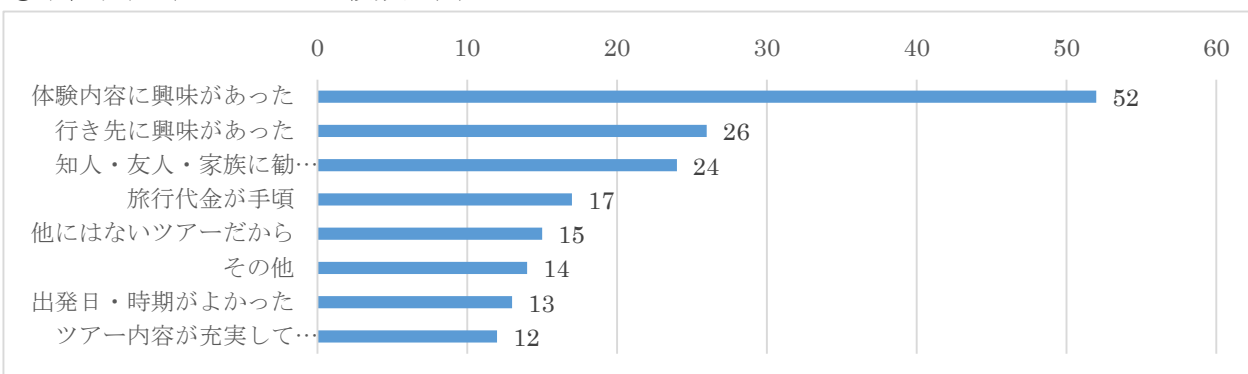
⇒体験内容が圧倒的に多い。友人・知人等からの勧めも重要な参加動機といえる。

④シニア層（N=66 ※複数回答）



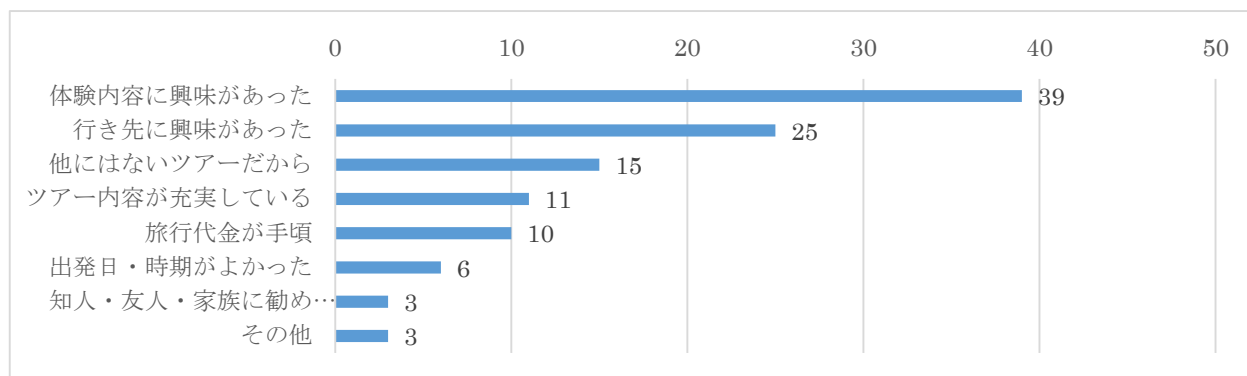
⇒体験内容に次いで行き先への興味が高い。他の世代に比べ知人・友人等からの勧めが少なく、主体的に参加する動機の強さが垣間見れる。

⑤未経験者（N=90 ※複数回答）



⇒体験内容が圧倒的に多い。行き先への興味続く知人・友人等からの勧めや旅行代金の手頃さも未経験者にとって重要な参加動機といえる。

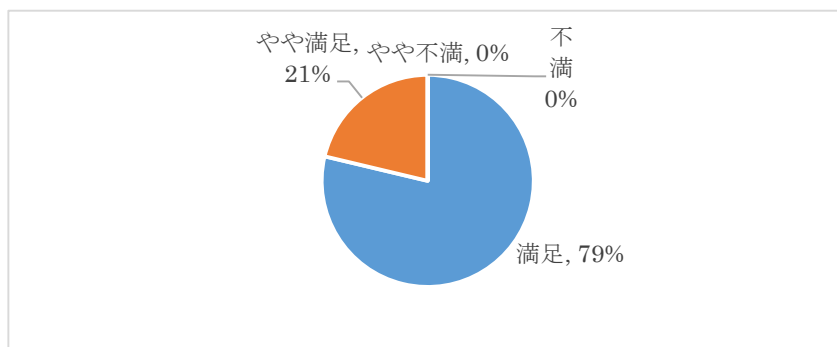
⑥経験者（N=50 ※複数回答）



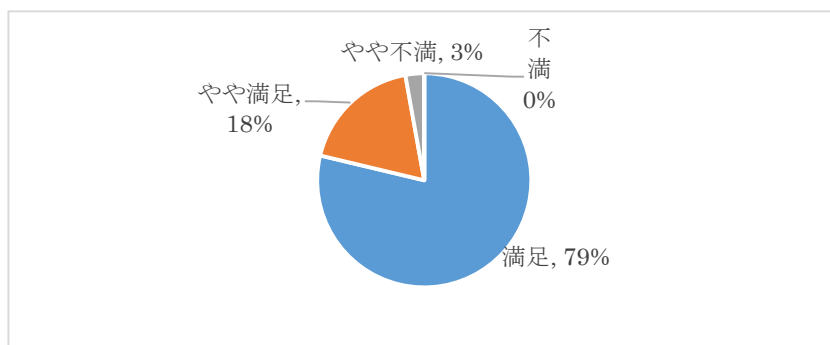
⇒経験者はシニア層が多い傾向があるため、この層と似た結果になった。同じように体験や行き先への興味が強く主体的に参加する動機の強さが垣間見れる。

(3) ツアーの感想

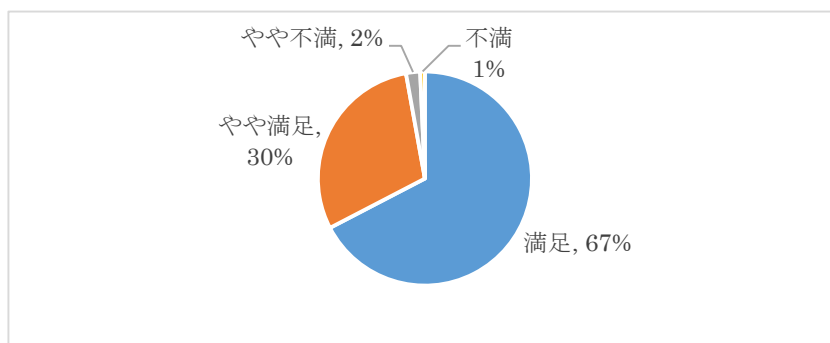
1) 全体を通しての満足度（N=141）【割合】



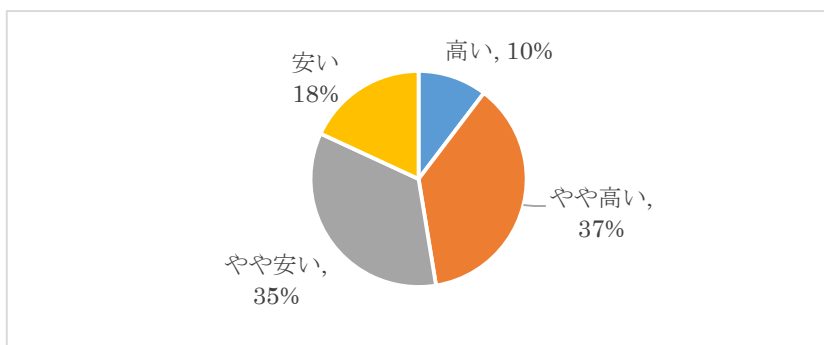
2) 現地の方々との交流（N=141）【割合】



3) 参加者同士の交流（N=141）【割合】

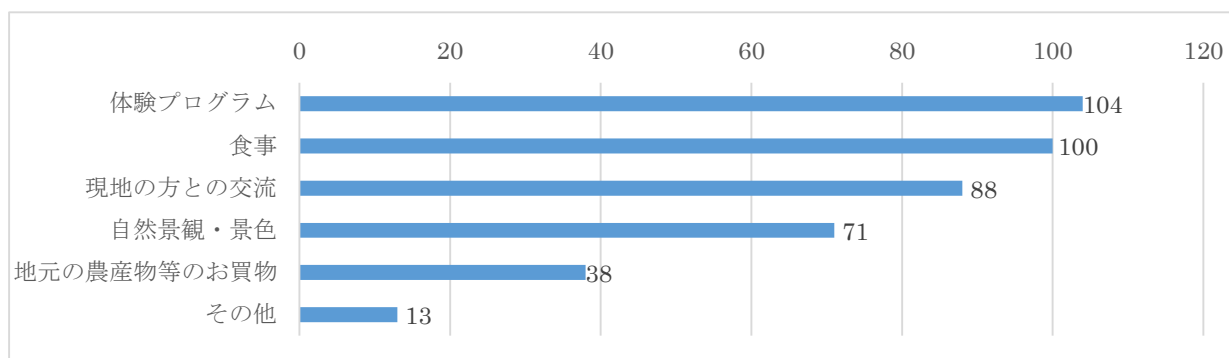


#### 4) 参加料金 (N = 116) 【割合】



⇒1) から3) までの結果に関しては、平成26年度事業(日帰りツアー)のアンケート結果と比較して3項目とも満足と回答した割合が10%以上増えている。グリーン・ツーリズムの中でも農家民宿に滞在するプログラムは満足度・交流度(現地・参加者とも)の観点から極めて高い評価が得られる分野といえる。ただし参加料金については、モニター価格であったにもかかわらず半数近くが高いまたはやや高いと回答した。コストパフォーマンスの点では今後も課題が残る結果となった。

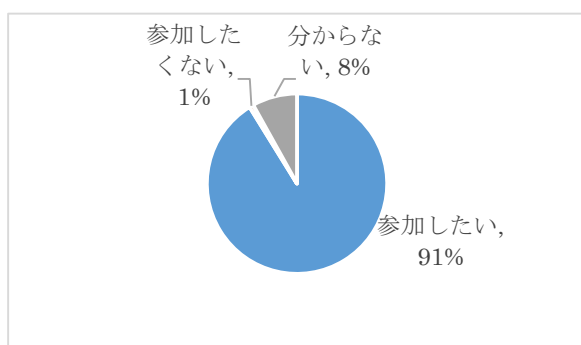
#### 5) ツアーの何が良かったか (N = 141 ※複数回答) 【回答数】



⇒「体験プログラム」と「食事」はグリーン・ツーリズムの生命線といっても過言ではない要素。本事業では農家民宿の滞在が含まれたため、現地の方との交流が上位に入ってきた。

#### (4) 今後の意向

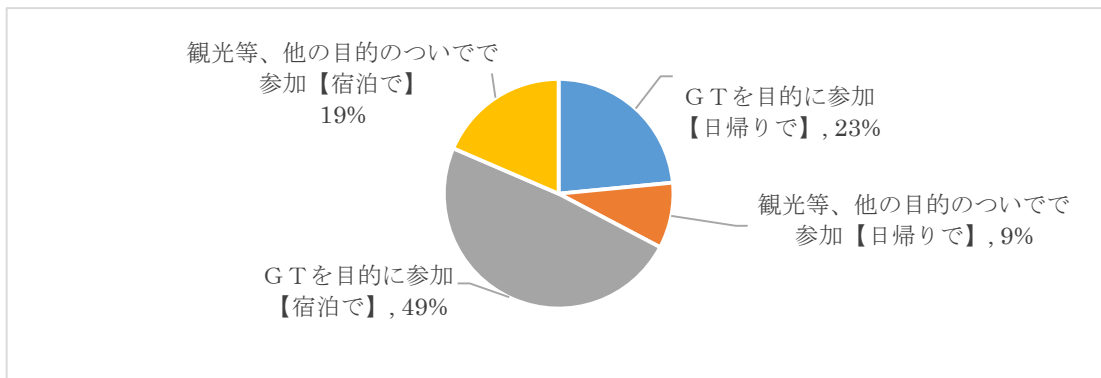
##### 1) 今後も農山漁村を訪ねるグリーン・ツーリズムの旅に参加したいか (N = 136) 【割合】



⇒年齢別・経験別に関わらず9割以上の方が参加したいと回答した。

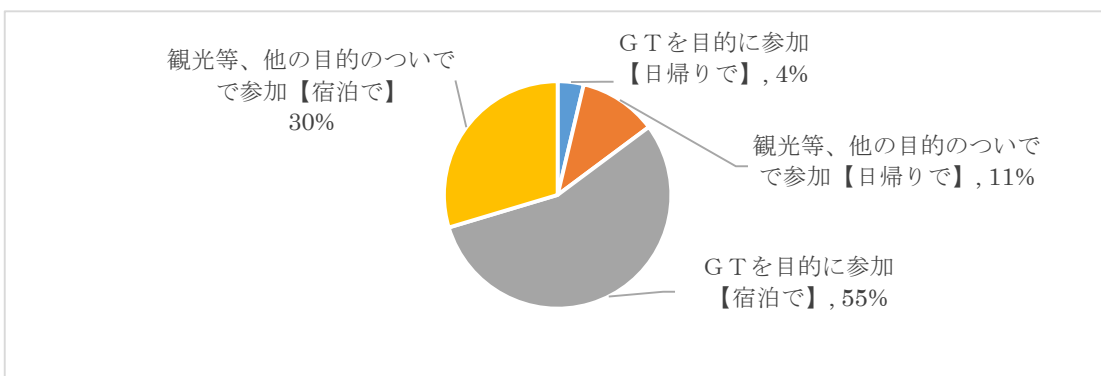
2) どのような形で参加したいか【割合】 ※1) で「参加したい」と回答した方

①全体 (N=124 ※複数回答)

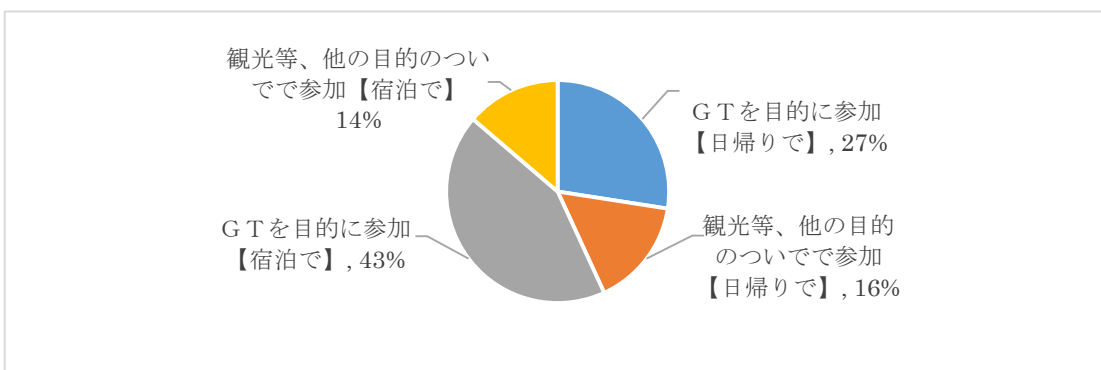


⇒日帰り・宿泊ともグリーン・ツーリズムを目的（メイン）にして訪問したいという回答の比率の方が高い。今回は農家民宿に滞在するツアーで実施したこともあり、全体としては宿泊を希望する回答が7割を占めた。

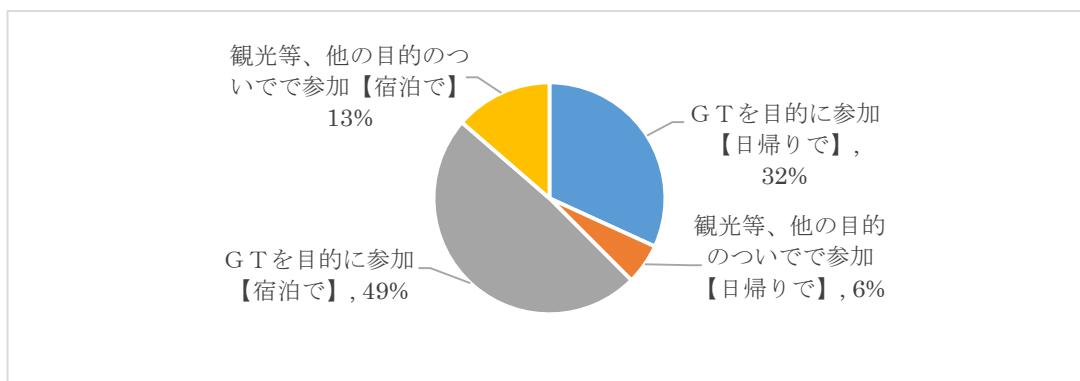
②若年層 (N=26 ※複数回答)



③壮年層 (N=38 ※複数回答)

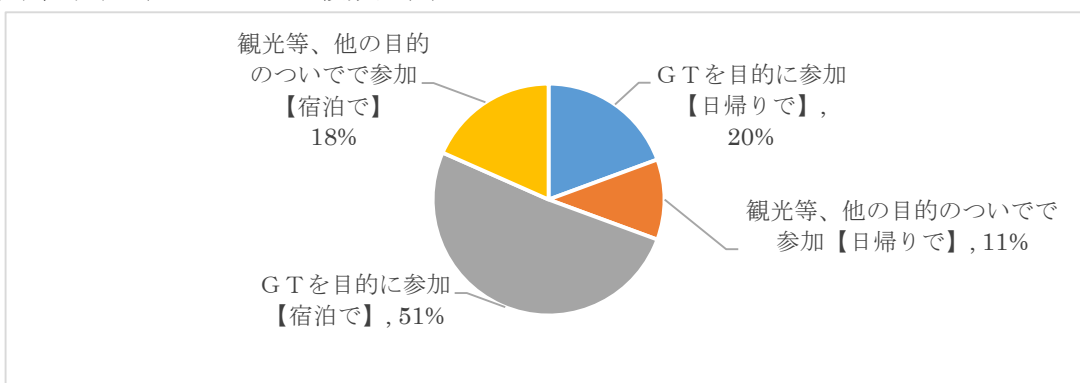


④シニア層 (N = 58 ※複数回答)

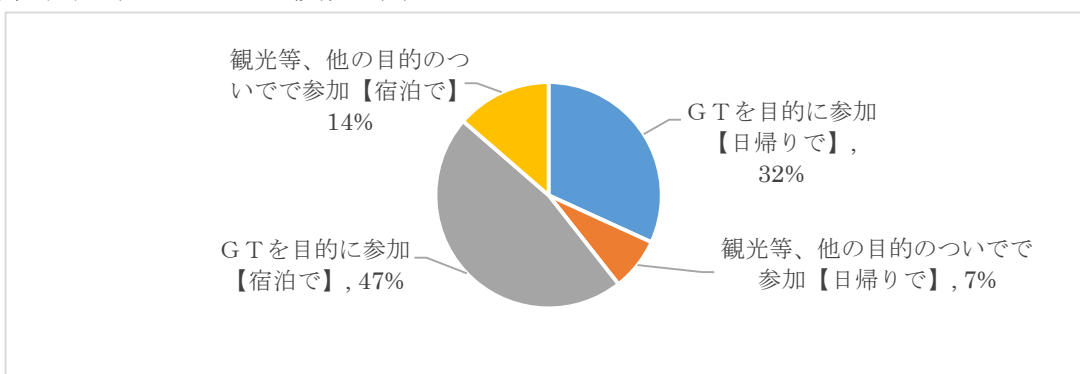


⇒若年層において突出して宿泊へのニーズが高く、特にグリーン・ツーリズムを目的にした参加ニーズが高かった。参加動機が曖昧であったとのに比べて、参加後に関心が高まったといえる。壮年層・シニア層は全体の傾向と比べても似た結果になった。

⑤未経験者 (N = 77 ※複数回答)



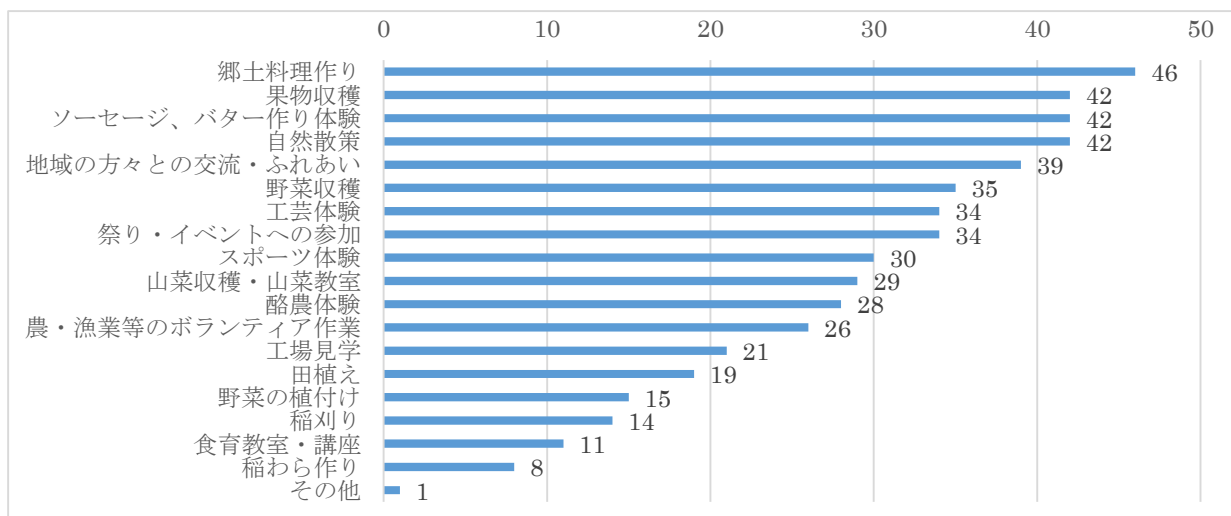
⑥経験者 (N = 46 ※複数回答)



⇒経験者別で明確な違いは見られない。日帰り・宿泊ともグリーン・ツーリズムを目的(メイン)にして訪問したいという回答の比率の方が高い。

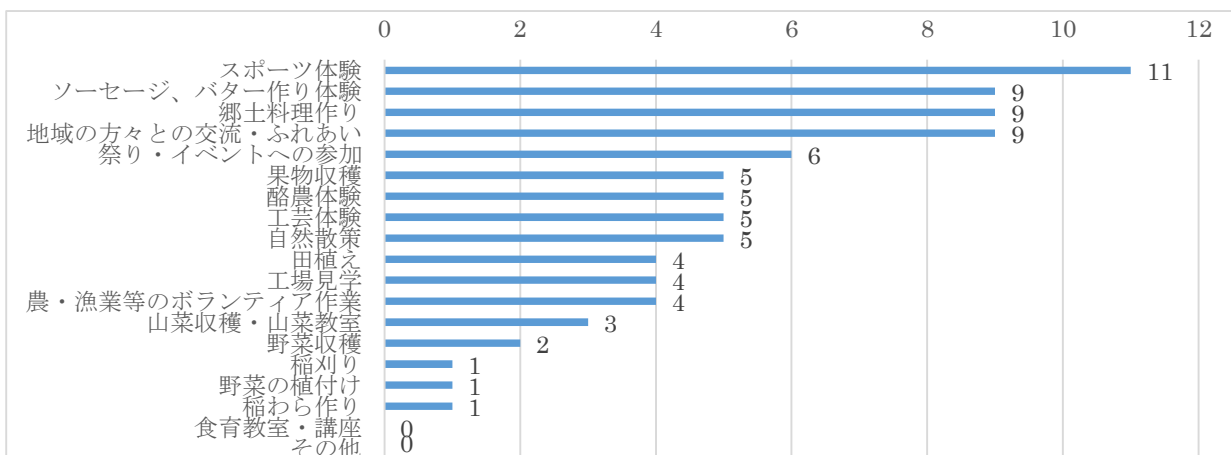
3) どのような体験をしたいか【回答数】 ※1)で「参加したい」と回答した方

①全体 (N=124 ※複数回答)

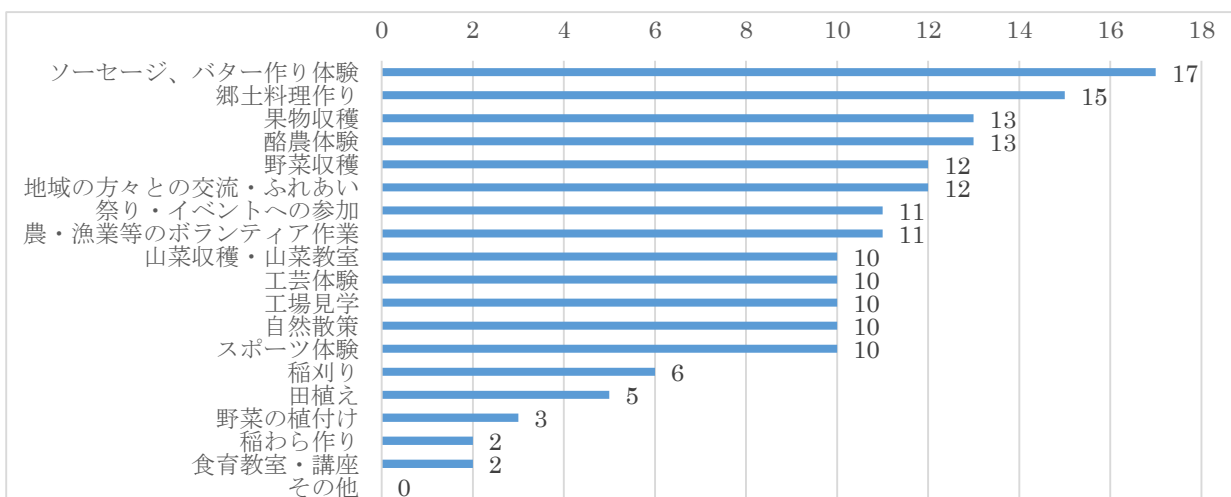


⇒平成26年度事業（日帰りツアー）のアンケート結果と比較して「郷土料理作り」と「地域の方々との交流」が上位になった点については、農家民宿に滞在するプログラムを取り入れた本事業の大きな特徴となった。果物収穫、ソーセージ・バター作り体験、自然散策、野菜収穫は定番のプログラム。

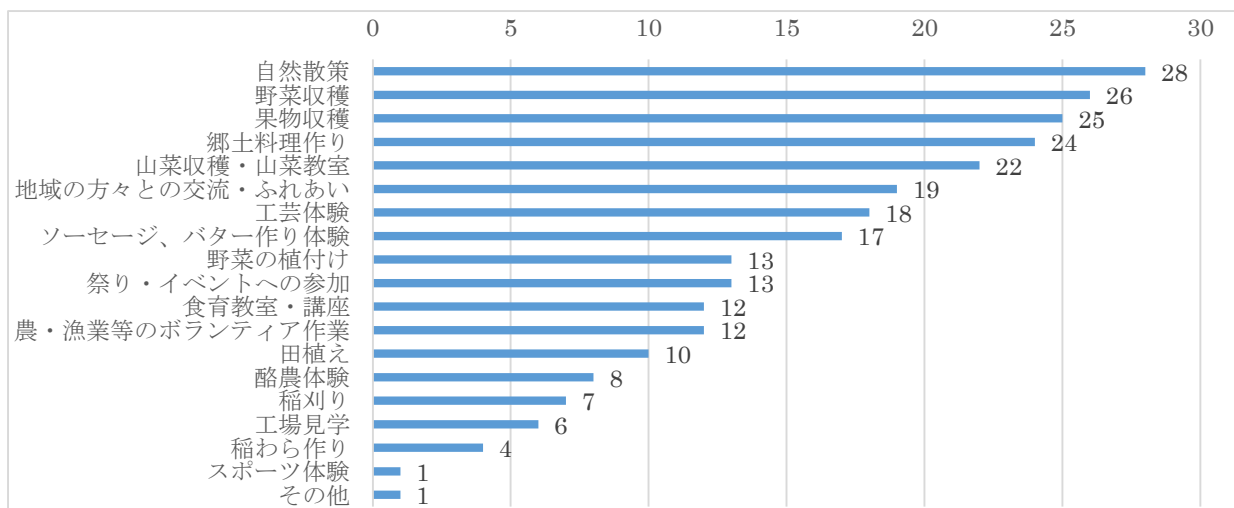
②若年層 (N=26 ※複数回答)



③壮年層 (N=38 ※複数回答)

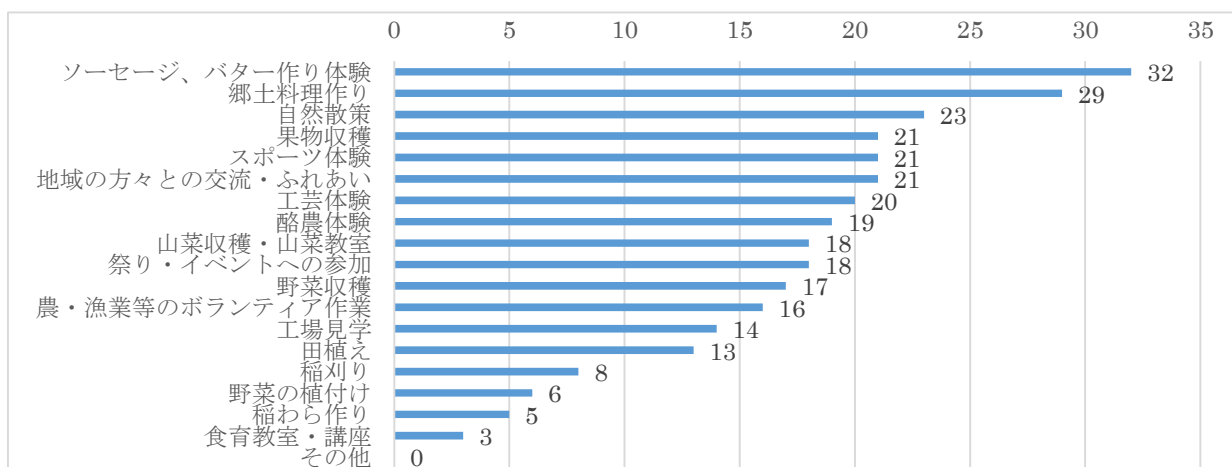


④シニア層 (N = 58 ※複数回答)

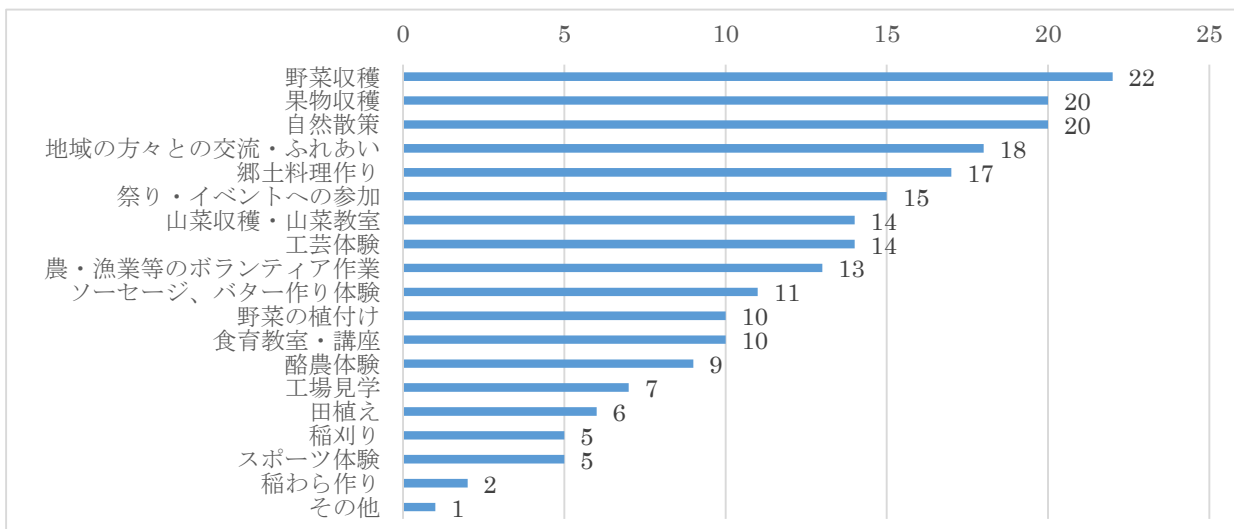


⇒各世代別の特徴として、若年層でのスポーツ体験、壮年層でのソーセージ・バター作り体験、シニア層の自然散策が上位になったことがあげられる。

⑤未経験者 (N = 77 ※複数回答)

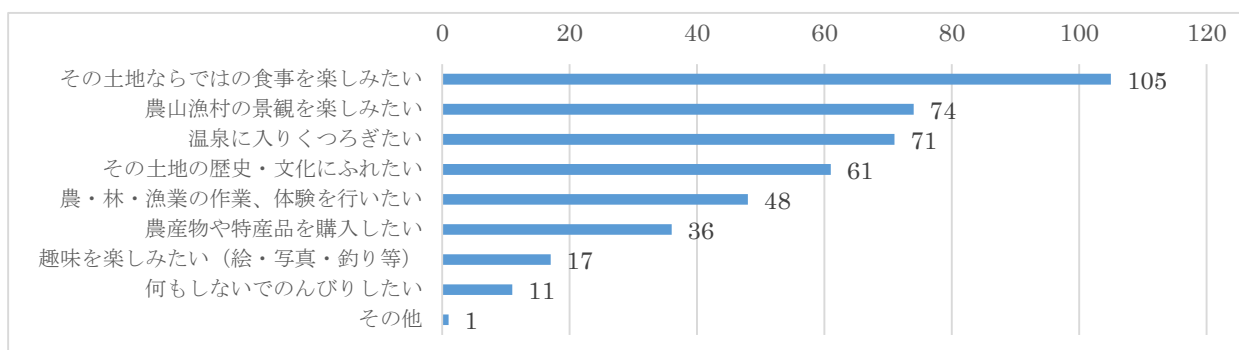


⑥経験者 (N = 46 ※複数回答)



#### 4) どのような過ごし方をしたいか【回答数】

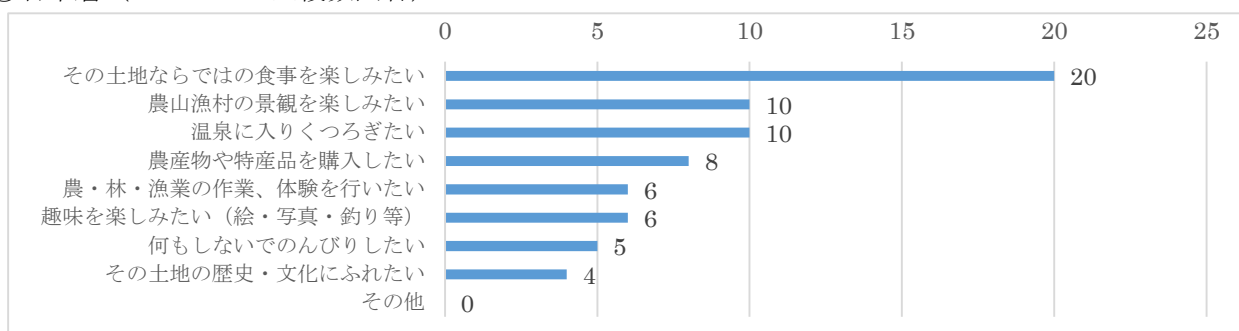
##### ①全体 (N = 141 ※複数回答)



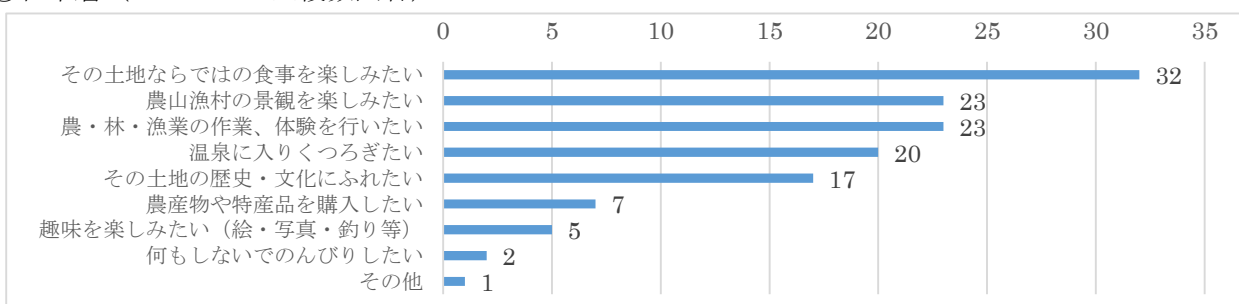
⇒「食事」を筆頭に「景観」「温泉」と続く。世代別・経験別でも傾向はほぼ似た結果となった。

(2) - 2) 参加したポイント、(3) - 5) 何が良かったかで最上位であった「体験」をあげる回答が少なかった。

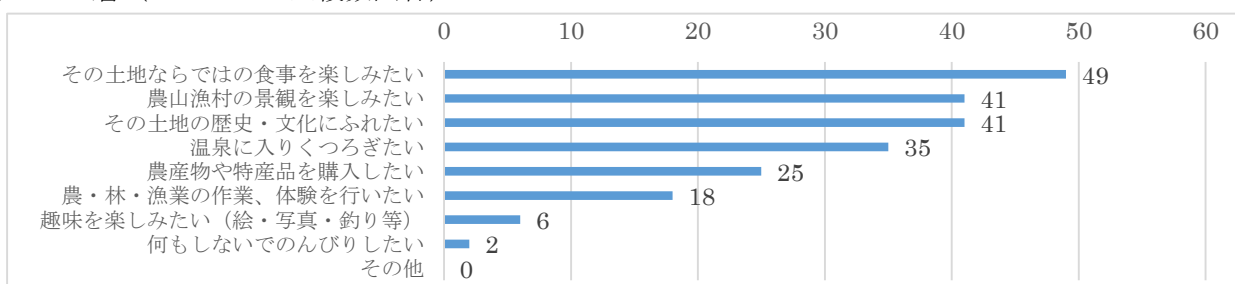
##### ②若年層 (N = 30 ※複数回答)



##### ③壮年層 (N = 43 ※複数回答)

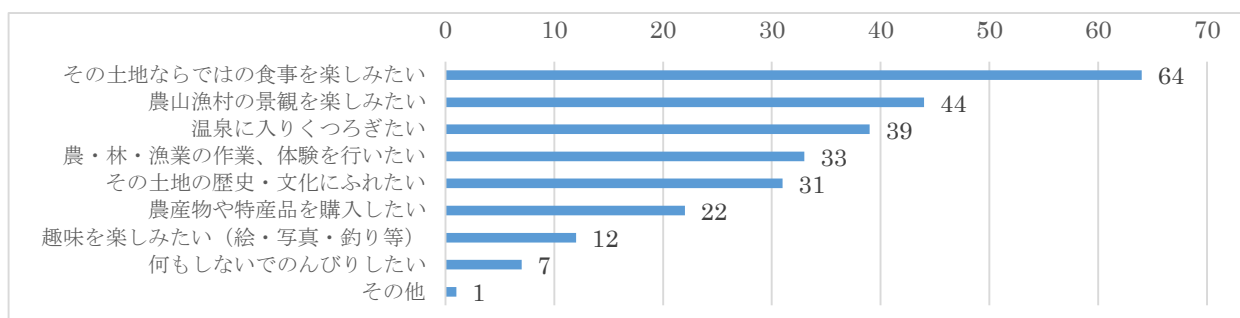


##### ④シニア層 (N = 66 ※複数回答)

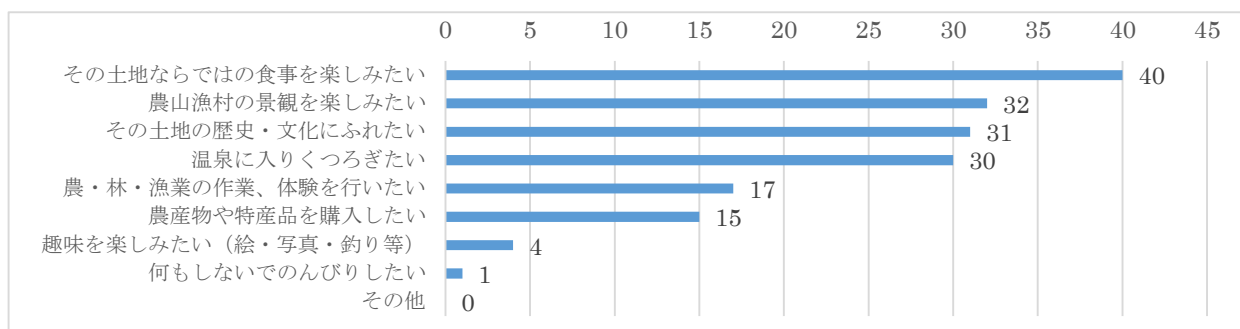




⑤未経験者（N = 90 ※複数回答）

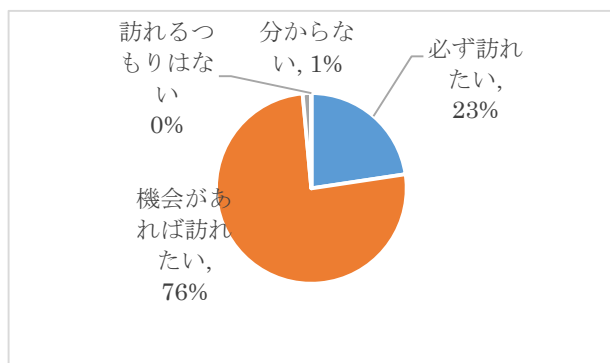


⑥経験者（N = 50 ※複数回答）

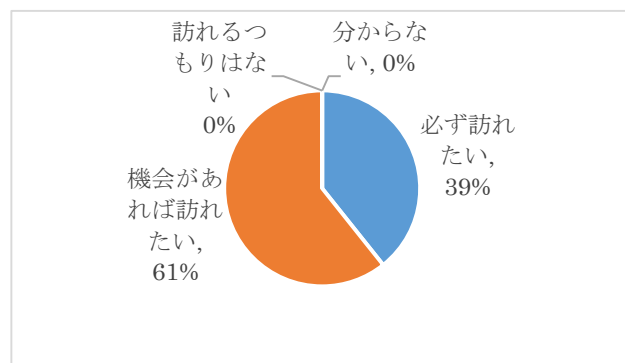


5) 訪問した地域にまた訪れたいと思うか【割合】

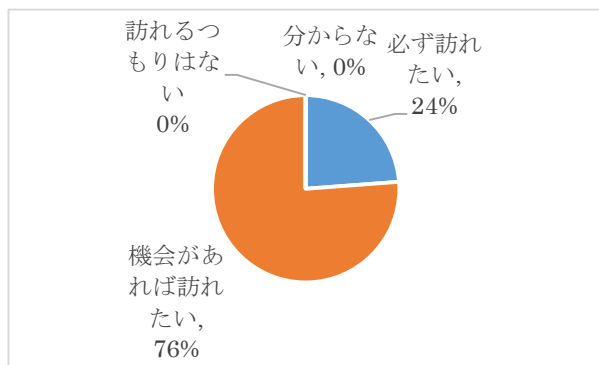
①全体（N = 137）



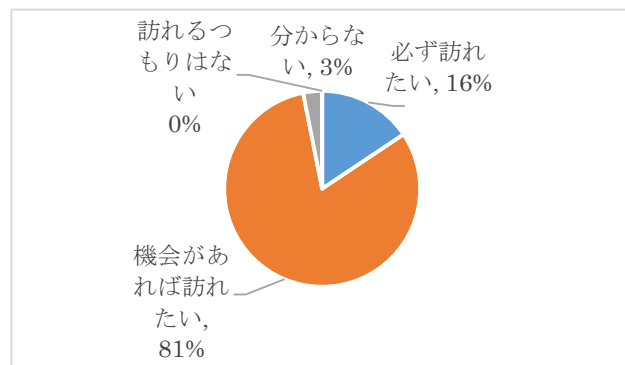
②若年層（N = 28）



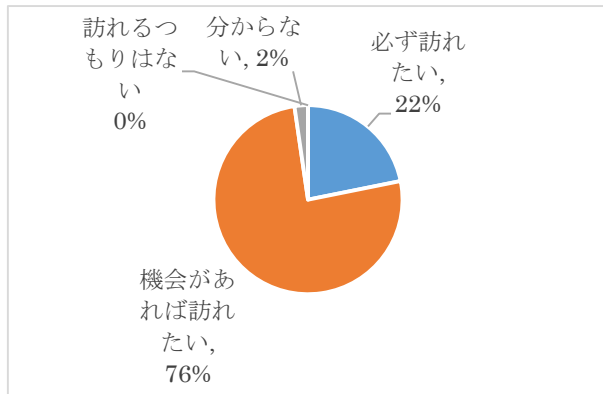
③壮年層（N = 42）



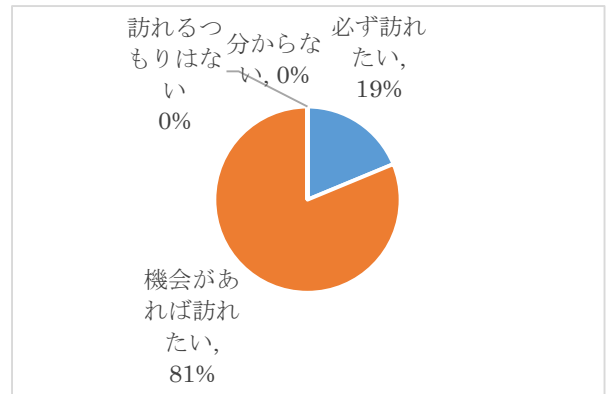
④シニア層（N = 64）



⑤未経験者 (N = 87)



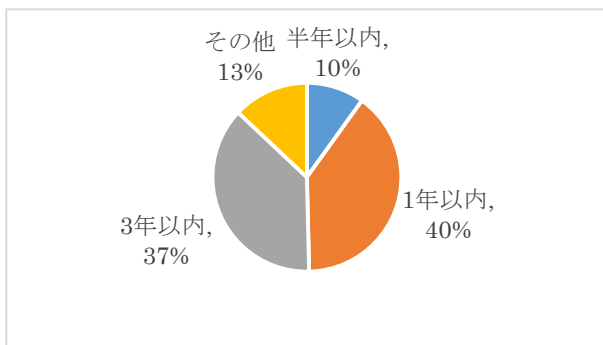
⑥経験者 (N = 48)



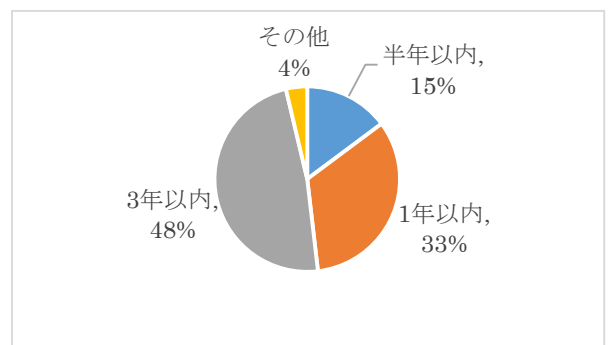
⇒世代別・経験別を問わず「機会があれば訪れたい」を含めれば、緩やかな再訪ニーズが見受けられる。若年層において「必ず訪れたい」回答割合が高いのが特徴的。

6) いつ訪れたいか【割合】 ※5) で「訪れたい」と回答した方

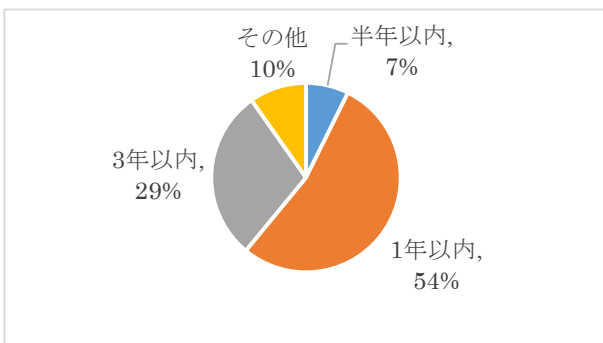
①全体 (N = 131)



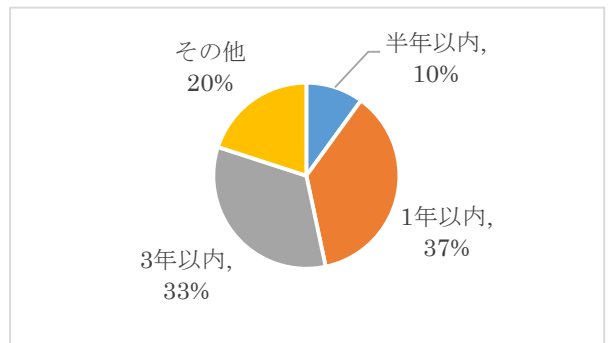
②若年層 (N = 27)



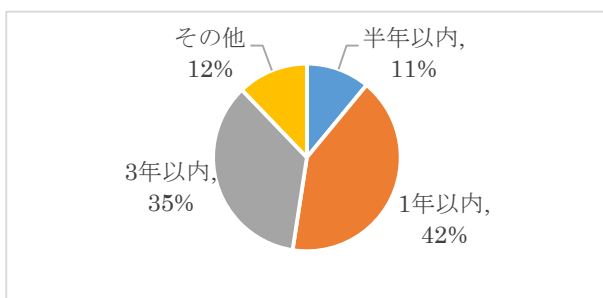
③壮年層 (N = 41)



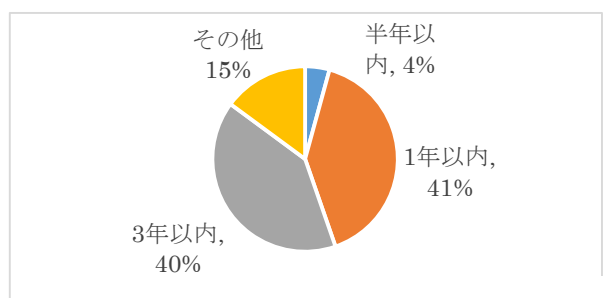
④シニア層 (N = 60)



⑤未経験者 (N = 82)



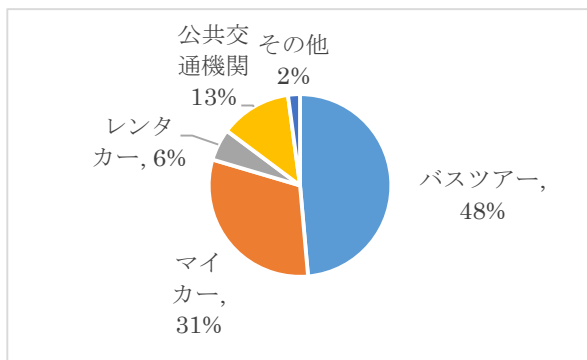
⑥経験者 (N = 47)



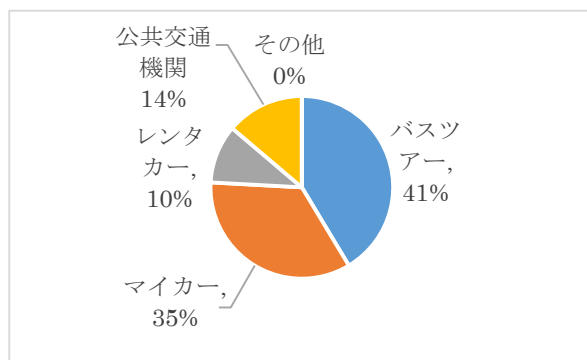
⇒世代別・経験別とも共通してほぼ似た傾向になった。壮年層において「1年以内」の回答割合が高いのが特徴的。

7) 次回訪れる際の交通手段のイメージ【割合】 ※5) で「訪れたい」と回答した方

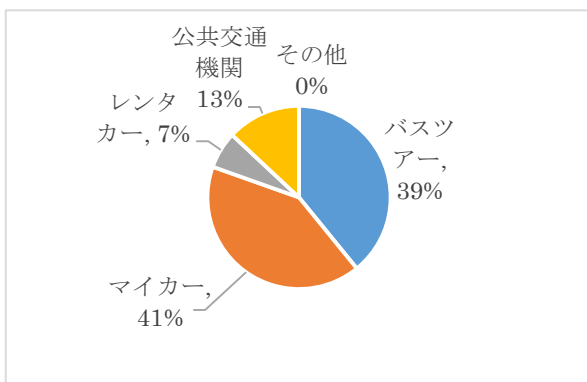
①全体 (N = 142)



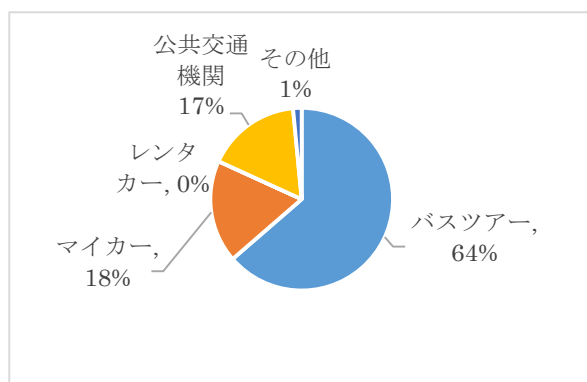
②若年層 (N = 27)



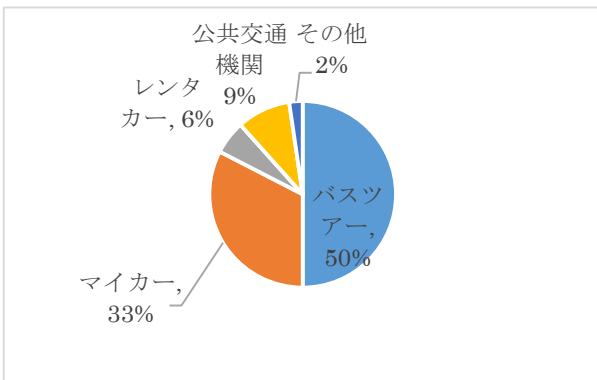
③壮年層 (N = 46)



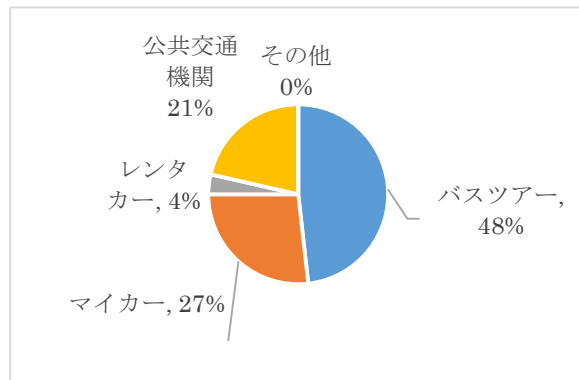
④シニア層 (N = 66)



⑤未経験者 (N = 82)



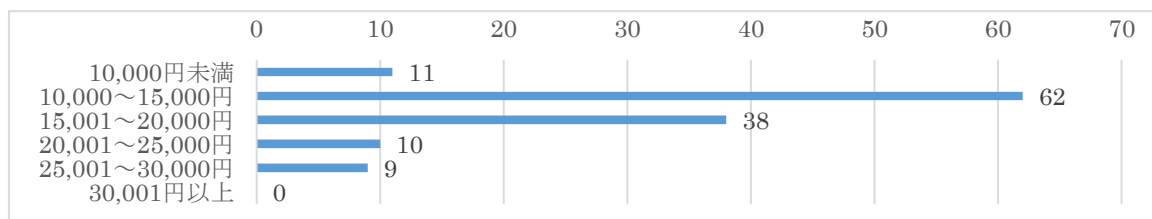
⑥経験者 (N = 47)



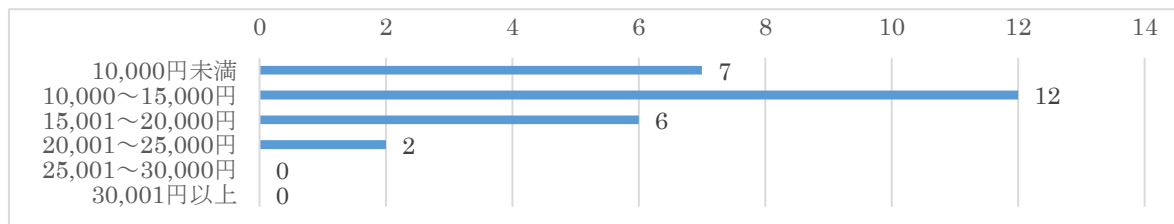
⇒本事業はバスツアーの形態で実施したが、次回の訪問に関しては半数以上が他の交通手段としてマイカー、公共交通機関、レンタカー等をあげた。特に若年層と壮年層でマイカーの割合が多くシニア層ではバスツアーが多い。マイカーでは自由度が高い分、自らの情報収集を必要とするという特徴がある。バスツアーではその逆で自由度が少ない分、要領よく地域のポイントを回遊できる。各交通手段の特徴を把握して使い分けることが大切である。経験別では大きな差異はなかった。

8) 今回のような農家民宿ツアーで適正だと思われる旅行代金【回答数】

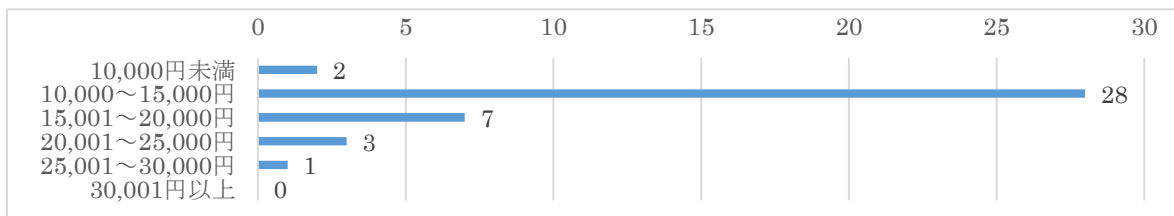
①全体 (N = 130)



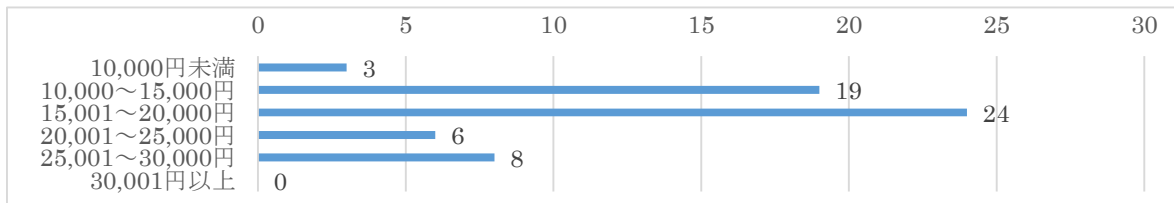
②若年層 (N = 27)



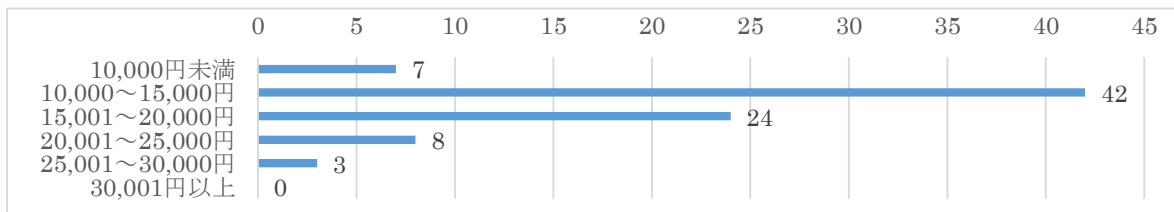
③壮年層 (N = 41)



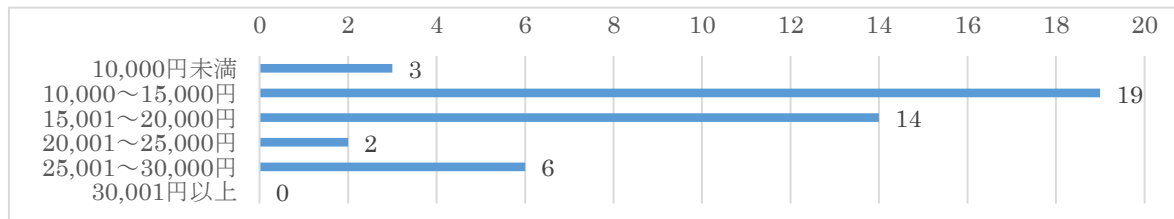
④シニア層 (N = 60)



⑤未経験者 (N = 84)



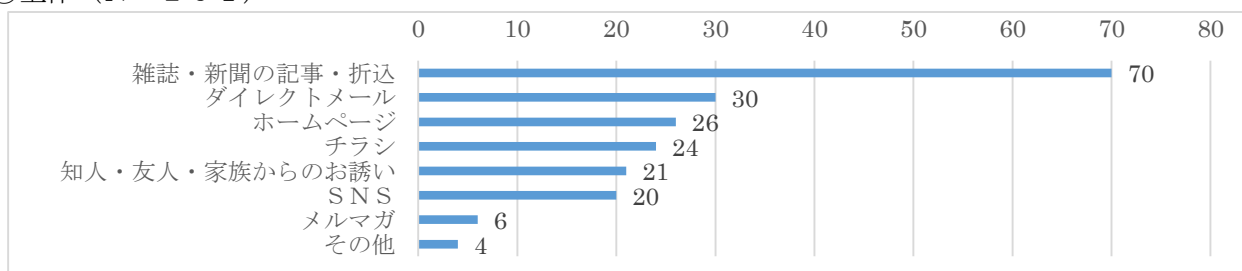
⑥経験者 (N = 44)



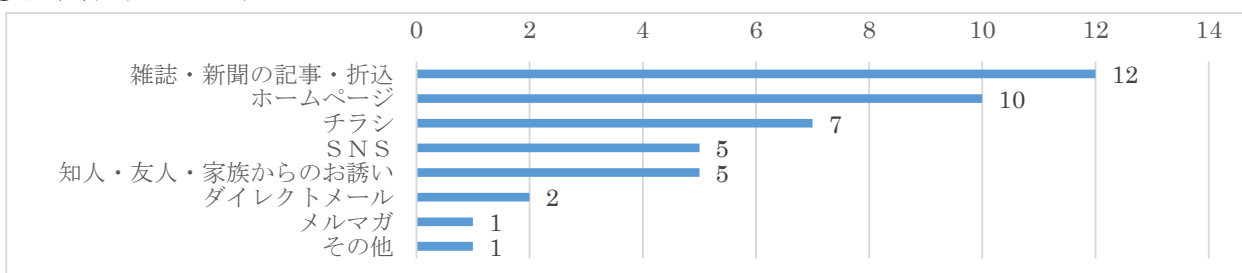
⇒宿泊を伴うツアーであるにも関わらず、10,000～15,000円という現実的でない料金帯の回答が最も多かった。特に若年層と壮年層で回答が集中した。未経験者・経験者でも同じ料金帯の支持が高い。農家民宿に滞在する一般市場向けツアーという販売形態・チャネルにおいて、今後の価格設定および付加価値の訴求方法に課題を残す結果となった。(第6章でも後述)

9) 今回のようなツアーの告知はどのような手段が効果的か【回答数】

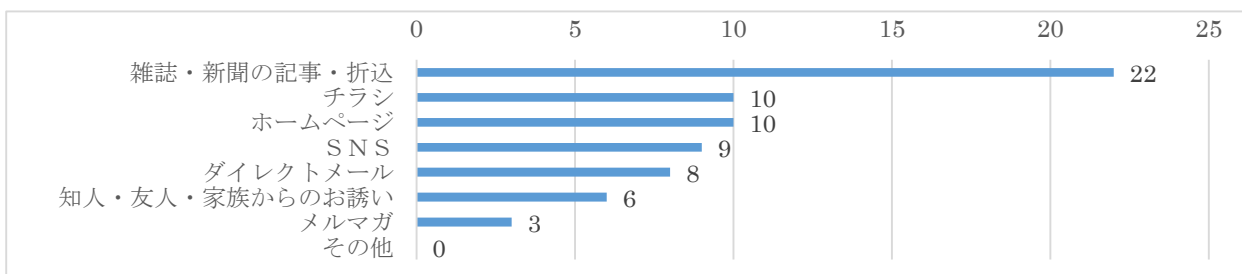
①全体 (N=201)



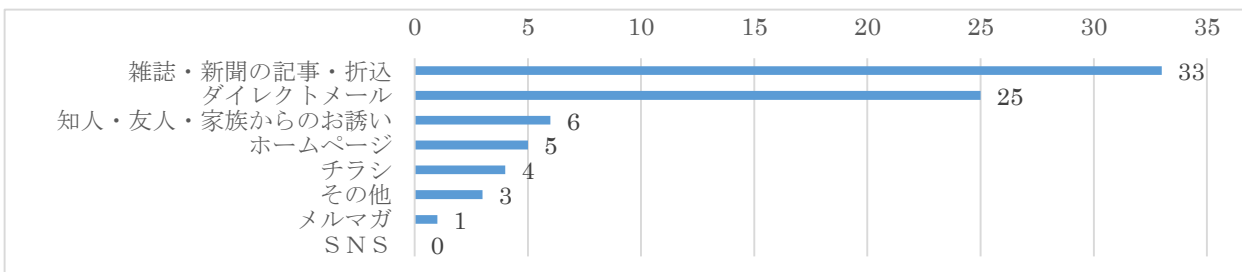
②若年層 (N=43)



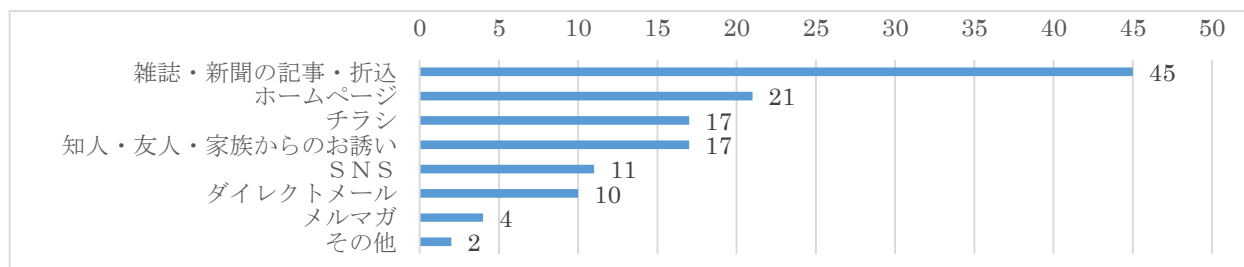
③壮年層 (N=68)



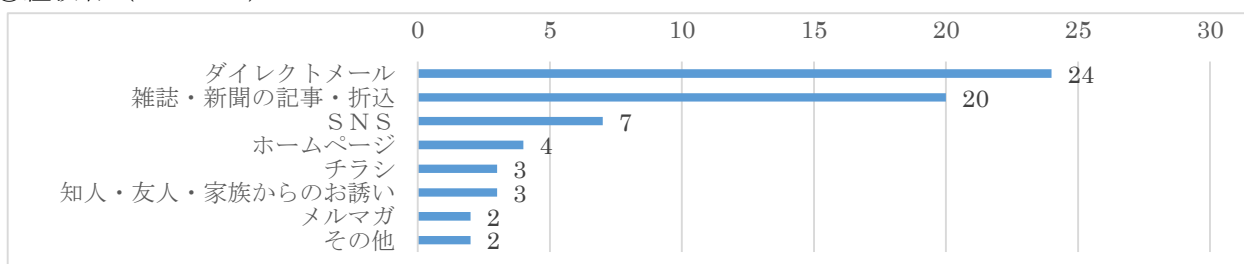
④シニア層 (N=77)



### ⑤未経験者（N=127）



### ⑥経験者（N=65）



⇒全体として「雑誌・新聞の記事・折込」が最も多く、各世代からの支持も高かった。既にWEB化が浸透した中でも紙媒体の有効性が確認できたが、記事掲載（パブリシティ）でない限りは有料の広告掲載なるので、予算がある時は有効に活用できるが常用できる告知手段とは言い難い。旅行会社であれ地域協議会であれ情報の発信元を問わず、若年層と壮年層で比較的支持の高いホームページやSNS、経験者の多いシニア層で支持の高いダイレクトメールが今後のポイントになると想定する。そして媒体はWEBであっても紙であっても訴求対象の明確化（世代・居住地域・属性）および情報量の確保と更新が不可欠と考える。

## （5）ツアーの改善事項

本事業における参加者のアンケートや声、事実から改善点を下記の通り紹介する。

### 1) 参加者から

- 参加者に事前の打合せ会を持って、参加者同士のつながりを作るようにしてほしい。  
⇒参加者に事前確認をしてから往路の車中で簡単な自己紹介をする配慮があっても良い。
- バス内で地図等を配り、移動地域を説明するなどした方が実感がより強く湧くと感じています。  
⇒訪問地域の情報は往路の車中または到着時にオリエンテーション的に必ず行う必要がある。
- 名所（風景）も1つくらい寄りたかった。  
⇒グリーン・ツーリズムのプログラムにこだわり過ぎると、参加者のニーズから離れてしまうこともある。地域の観光プログラムも柔軟に取り入れることも大切。
- 夕食が集会所というのは残念でした。何か落ち着きませんでした。  
⇒グリーン・ツーリズムは体験と交流がメインであっても、参加者は有料で参加されているので、最低限のサービスを望まれる。施設や場所の選定においても雰囲気は少しでも印象の良い所を意識する必要がある。

- 収穫体験では具体的本数などを予め決めておいたほうがスムーズに進むのではないかと感じました。  
⇒大人の場合は、不公平が生じないよう最低限のルールを提示することが求められる。収穫や料理等で数量が限られるケースの場合は、予め具体的な案内が無難。
- 宿の方が高齢だと気を使ってしまうこともあり。  
⇒参加者が宿の方に逆に気を使ってしまったケース。ご高齢の方が活躍できるのがグリーン・ツーリズムの魅力でもあり極めて難しい感想だが、ご家族がいるのであれば少しでも役割分担をして参加者には気を使わせる状況が生じないよう留意が必要。
- 宿によって対応に差がありました。  
⇒民宿は基本的に個人経営なので個性があってそれが魅力だが、今回のように団体で分宿するような場合は、食事の内容や飲み物の案内、お土産の渡し方等に最低限の共通ルールを事前に揃える必要がある。建物の外観・内装等、施設についてもあまり差がつかないような選定が望まれる。

## 2) 地域から

- 多種多様な体験内容を提供することができました。しかし、少々体験を詰め過ぎてしまったように感じます。  
⇒特に限られた滞在時間では体験等を詰め込み過ぎてしまう傾向は否めない。参加者に無理が生じないよう注意する必要があるのと合わせて、採用できなかったプログラムは次回以降のお楽しみとしてPRすることも大切。
- 催行の決定時期をいつにするのか、スキーシーズンでもあり民宿の方の受入都合もあるので早めの催行決定が望ましいです。  
⇒特に募集型ツアーの場合は、集客の人数によって催行の可否を判断する必要がある。繁忙期でのツアー実施の際には、受入れの可否と合わせて催行判断日を予め決める等の対応が求められる。

## 3) 添乗員から

- かんじき作りが2時間の予定が3時間になった。説明をする方がお一人しかいらっしゃらなかったことと手順書が全体で3部しかなかった点が原因かと思われます。  
⇒時間や手間のかかる体験の場合は、指導や案内がスムーズになるよう配慮が必要となる。
- ほうき作り体験では暖房の準備がないため、寒い中立った状態での作業により配慮が必要であるのではないかと感じました。  
⇒特に雪国の冬期では、地元と参加者との間で体感温度が異なるケースがある。地元では寒さに慣れていても参加者は寒さを感じているかもしれない。
- 昼食後すぐの体験が「ジビエ体験」でした。鹿を解体するという事で、参加者のみなさんは多少後ずさりをしていたようでした。体験順番を考慮する必要があったと思います。  
⇒体験プログラムの順番は参加者の目線に立って組み立てることが大事。





## 第5章 ツーリズムEXPOジャパンへの出展

## 1. 実施概要

- (1) イベント名：ツーリズムEXPOジャパン2015
- (2) 開催期間：平成27年9月24日（木）～27日（日）
- (3) 会場：東京ビッグサイト 東展示場
- (4) 来場者数：173,602人（主催者公式発表数）
- (5) 出展目的：農山漁村地域のパンフレットや映像、地域の特産品のPRおよび旅行業関係者や消費者とマッチングする機会を創出し交流人口の増大を目指す。またアンケートを実施し移住定住を含むグリーン・ツーリズムに対するニーズ調査を行う。

### (6) 出展地域・団体：

- ①岩手県遠野市<遠野山・里・暮らしネットワーク>
- ②秋田県仙北市<仙北市観光商工部観光課>
- ③栃木県大田原市<大田原ツーリズム>
- ④千葉県君津市<君津市農業農村活性化協議会>
- ⑤長野県飯山市<信州いいやま観光局>
- ⑥滋賀県守山市<もりやま食のまちづくりプロジェクト>
- ⑦京都府美山町<南丹市美山エコツーリズム推進協議会>
- ⑧静岡県菊川市<せんがまち棚田倶楽部>
- ⑨世界農業遺産（GIAHS）<農林水産省農村環境課>

※出展地域の選定にあたっては、事務局による推薦および併催した「VISIT JAPAN トラベルマート2015」参加地域との連携、農林水産省（GIAHS）からの推薦を参考にした。

### (7). 出展時の様子



## 2. 来場者アンケート調査の結果

- (1) 実施日 : 平成27年9月25日(金)～27日(日) 3日間
- (2) 実施場所 : 会場内のグリーン・ツーリズム出展ブース周辺
- (3) 調査対象 : ツーリズムEXPOジャパン2015への来場者
- (4) 対象・手法 : 来場者を無作為に選び、調査表を渡して自記入式で回答
- (5) 回収数 : 25日:360枚 26日:450枚 27日:350枚(合計1,160枚)
- (6) 集計対象数 : 回収した1,160枚から無作為に300サンプルを抽出し集計

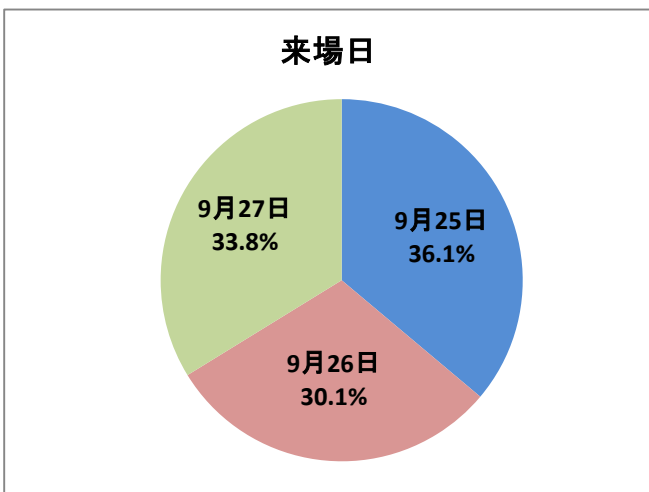
・内閣府が実施する世論調査や自治体を実施する住民意識調査などは、国民や住民全員ではなく、無作為に抽出した一定の人数を対象に「標本調査」で行われる。この際、誤差が大きくなるように一定の計算式を用いて必要なサンプル数を設定する。

・統計学上は母集団が1億人の意識を分析するのに385人程度で十分とされているが、今回はツーリズムEXPOジャパン来場者173,602人を母集団として、要求精度を10%、信頼度を95%で計算すると約96サンプルとなる。今回はさらに精度を高める意味から、その約3倍である300サンプルを対象とした。

<基本情報>

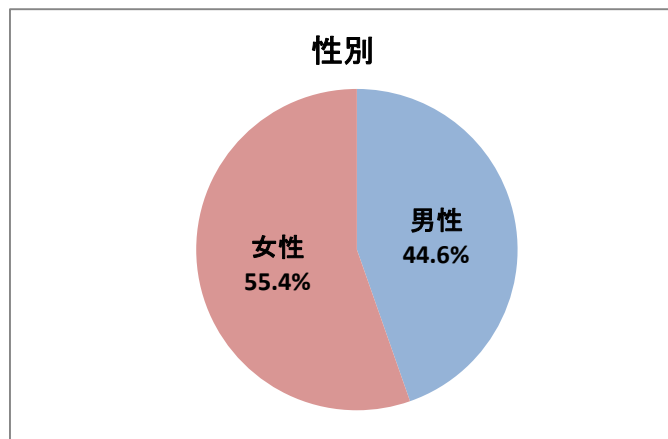
①来場日

| 合計   | 9月25日 | 9月26日 | 9月27日 |
|------|-------|-------|-------|
| 299  | 108   | 90    | 101   |
| 100% | 36.1% | 30.1% | 33.8% |



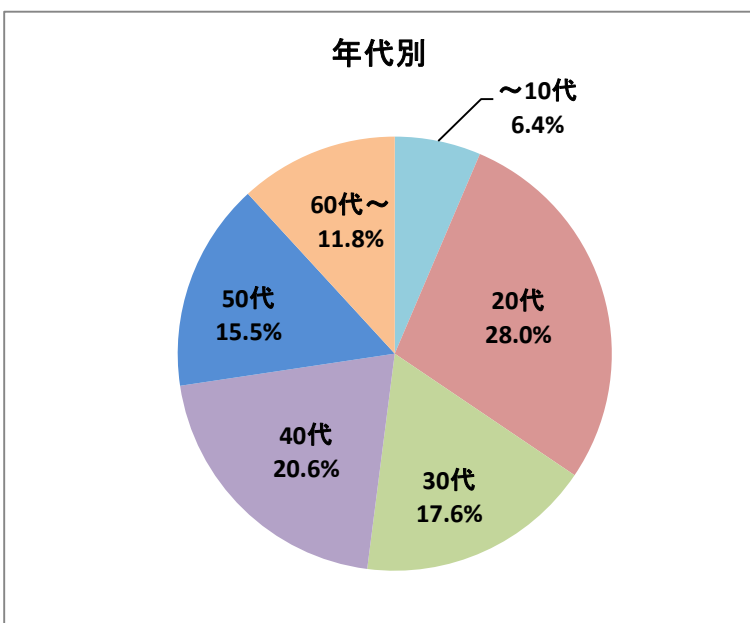
②性別

| 合計   | 男性    | 女性    |
|------|-------|-------|
| 298  | 133   | 165   |
| 100% | 44.6% | 55.4% |



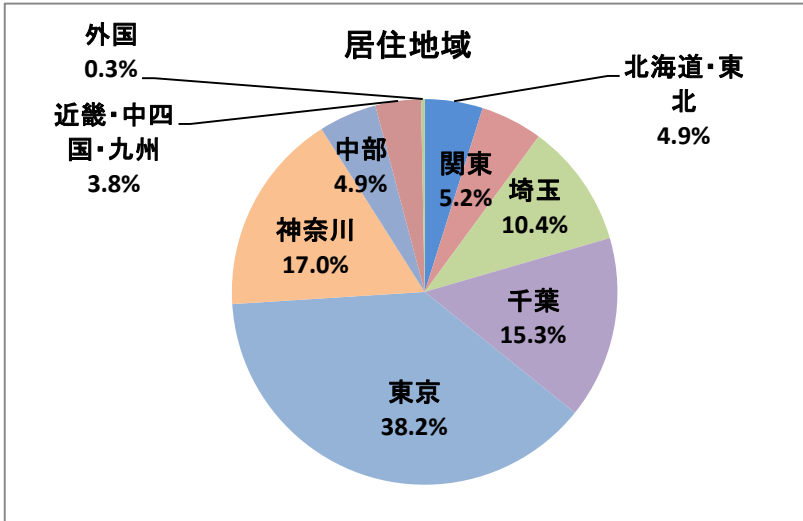
③年代別

| 合計   | ～10代 | 20代   | 30代   | 40代   | 50代   | 60代～  |
|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 296  | 19   | 83    | 52    | 61    | 46    | 35    |
| 100% | 6.4% | 28.0% | 17.6% | 20.6% | 15.5% | 11.8% |



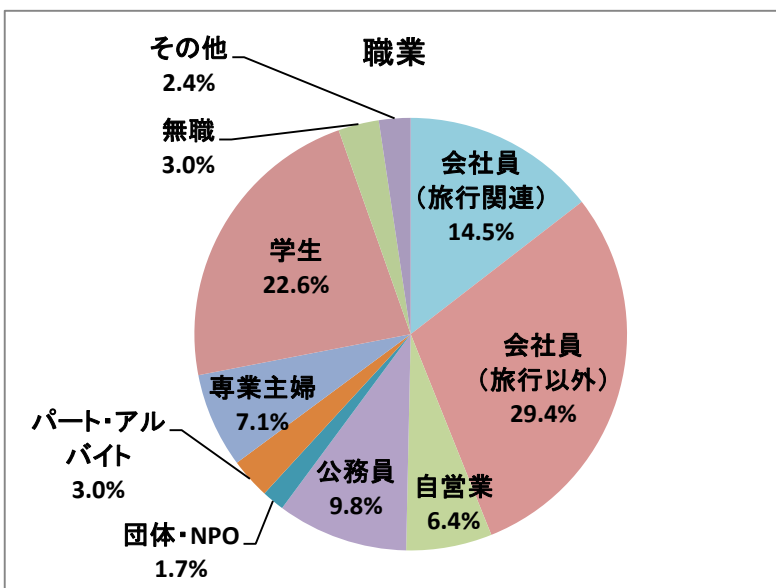
④居住地域

| 合計     | 北海道・東北 | 関東   | 埼玉    | 千葉    | 東京    | 神奈川   | 中部   | 近畿・中四国・九州 |
|--------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------|-----------|
| 287    | 14     | 15   | 30    | 44    | 110   | 49    | 14   | 11        |
| 100.0% | 4.9%   | 5.2% | 10.4% | 15.3% | 38.2% | 17.0% | 4.9% | 3.8%      |



⑤職業

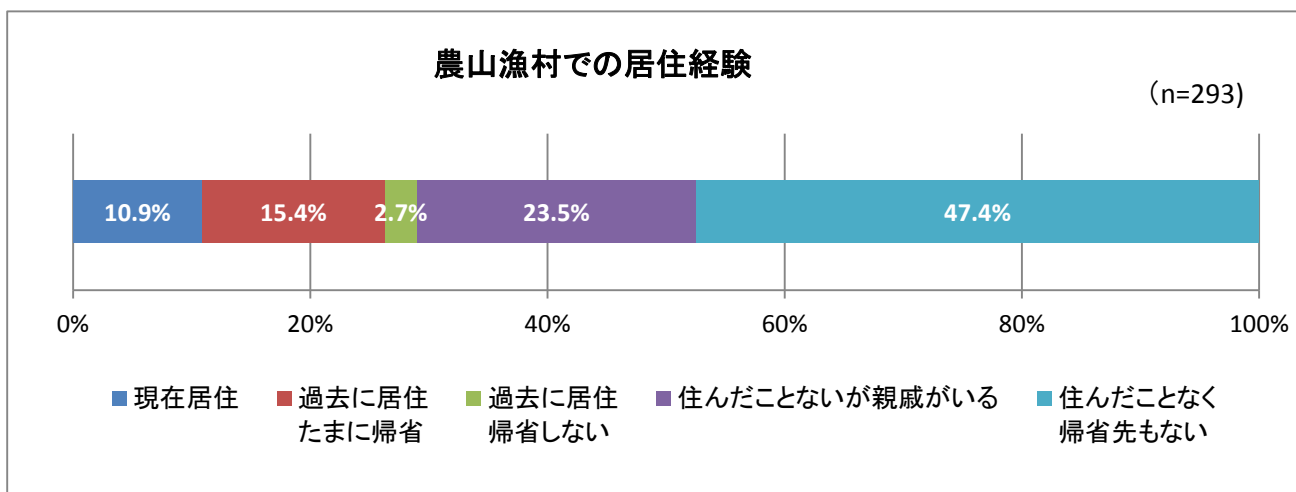
| 合計   | 会社員<br>(旅行関連) | 会社員<br>(旅行以外) | 自営業  | 公務員  | 団体・NPO | パート・アルバイト | 専業主婦 | 学生    | 無職   | その他  |
|------|---------------|---------------|------|------|--------|-----------|------|-------|------|------|
| 296  | 43            | 87            | 19   | 29   | 5      | 9         | 21   | 67    | 9    | 7    |
| 100% | 14.5%         | 29.4%         | 6.4% | 9.8% | 1.7%   | 3.0%      | 7.1% | 22.6% | 3.0% | 2.4% |



<ニーズ調査>

①農山漁村での居住経験

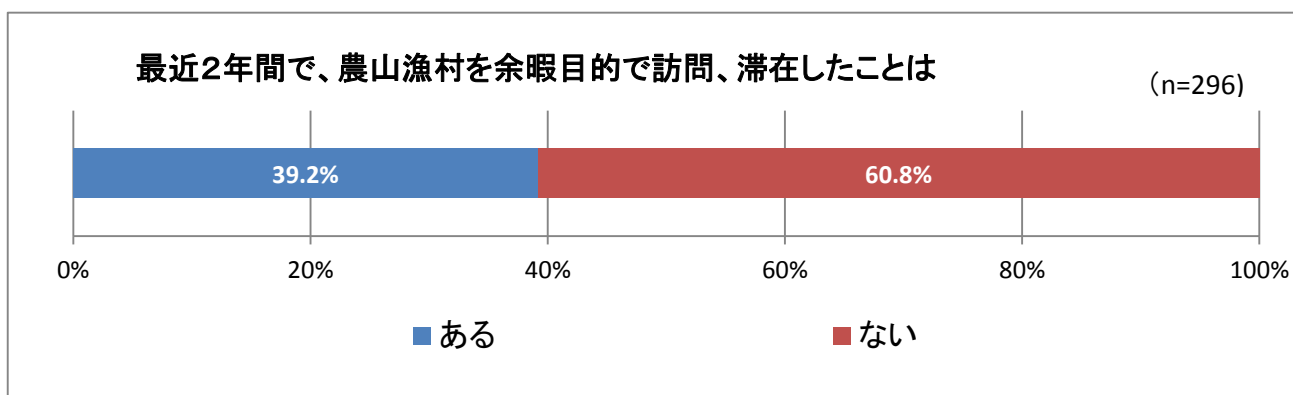
| 合計   | 現在居住  | 過去に居住<br>たまたま帰省 | 過去に居住<br>帰省しない | 住んだことない<br>が親戚がいる | 住んだことなく<br>帰省先もない |
|------|-------|-----------------|----------------|-------------------|-------------------|
| 293  | 32    | 45              | 8              | 69                | 139               |
| 100% | 10.9% | 15.4%           | 2.7%           | 23.5%             | 47.4%             |



東京都心で開催されたイベントであり、8割が首都圏在住者である。そして半数近くが農山漁村に「住んだこともなく帰省先もない」農山漁村となじみが薄いという結果が出た。

②最近2年間で農山漁村へ余暇目的で訪問したり滞在したか

| 合計   | ある    | ない    |
|------|-------|-------|
| 296  | 116   | 180   |
| 100% | 39.2% | 60.8% |



クロス集計（男女別）

|    | 合計  | ある | ない  |
|----|-----|----|-----|
| 男性 | 133 | 63 | 70  |
| 女性 | 161 | 52 | 109 |

|    | 合計   | ある    | ない    |
|----|------|-------|-------|
| 男性 | 100% | 47.4% | 52.6% |
| 女性 | 100% | 32.3% | 67.7% |

クロス集計（年代別）

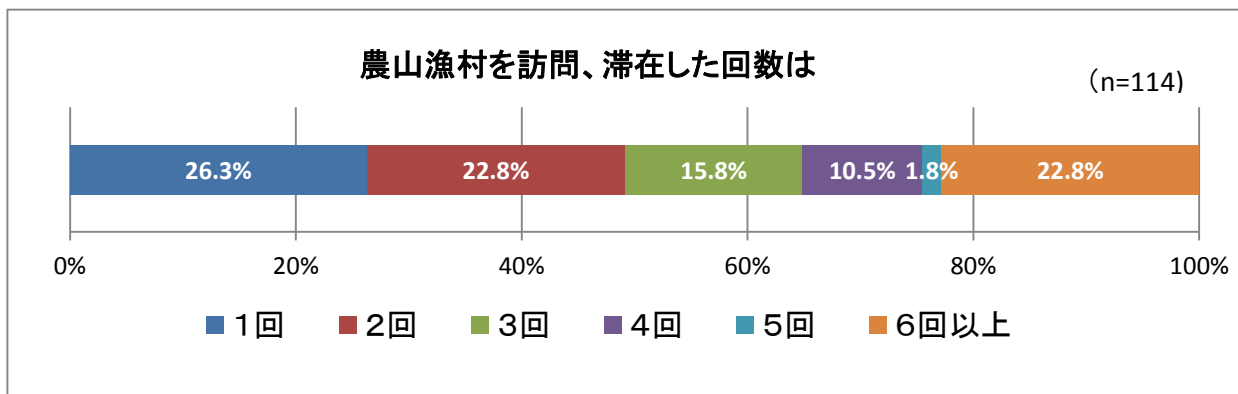
|      | 合計 | ある | ない |
|------|----|----|----|
| ～10代 | 19 | 6  | 13 |
| 20代  | 82 | 34 | 48 |
| 30代  | 52 | 21 | 31 |
| 40代  | 60 | 20 | 40 |
| 50代  | 46 | 20 | 26 |
| 60代～ | 33 | 14 | 19 |

|      | 合計   | ある    | ない           |
|------|------|-------|--------------|
| ～10代 | 100% | 31.6% | <b>68.4%</b> |
| 20代  | 100% | 41.5% | 58.5%        |
| 30代  | 100% | 40.4% | 59.6%        |
| 40代  | 100% | 33.3% | <b>66.7%</b> |
| 50代  | 100% | 43.5% | 56.5%        |
| 60代～ | 100% | 42.4% | 57.6%        |

最近2年間の余暇目的の農山漁村への滞在経験は、4割にとどまった。性別では女性、年代別では～10代と40代で比較的経験数が少なかった。

③ ②で「ある」と答えた方へ、訪問の回数ほどのくらいか

| 合計   | 1回    | 2回    | 3回    | 4回    | 5回   | 6回以上  |
|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 114  | 30    | 26    | 18    | 12    | 2    | 26    |
| 100% | 26.3% | 22.8% | 15.8% | 10.5% | 1.8% | 22.8% |



クロス集計（性別）

|    | 合計 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回以上 |
|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 男性 | 62 | 14 | 15 | 10 | 6  | 1  | 16   |
| 女性 | 51 | 16 | 10 | 8  | 6  | 1  | 10   |

|    | 合計   | 1回    | 2回    | 3回    | 4回    | 5回   | 6回以上  |
|----|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 男性 | 100% | 22.6% | 24.2% | 16.1% | 9.7%  | 1.6% | 25.8% |
| 女性 | 100% | 31.4% | 19.6% | 15.7% | 11.8% | 2.0% | 19.6% |

クロス集計（年代別）

|      | 合計 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回以上 |
|------|----|----|----|----|----|----|------|
| ～10代 | 5  | 2  | 1  | 2  | 0  | 0  | 0    |
| 20代  | 34 | 10 | 6  | 3  | 5  | 1  | 9    |
| 30代  | 21 | 7  | 8  | 0  | 2  | 1  | 3    |
| 40代  | 20 | 4  | 3  | 6  | 1  | 0  | 6    |
| 50代  | 20 | 4  | 4  | 5  | 2  | 0  | 5    |
| 60代～ | 13 | 3  | 4  | 2  | 2  | 0  | 2    |

|      | 合計   | 1回    | 2回    | 3回    | 4回    | 5回   | 6回以上         |
|------|------|-------|-------|-------|-------|------|--------------|
| ～10代 | 100% | 40.0% | 20.0% | 40.0% | 0.0%  | 0.0% | 0.0%         |
| 20代  | 100% | 29.4% | 17.6% | 8.8%  | 14.7% | 2.9% | <b>26.5%</b> |
| 30代  | 100% | 33.3% | 38.1% | 0.0%  | 9.5%  | 4.8% | 14.3%        |
| 40代  | 100% | 20.0% | 15.0% | 30.0% | 5.0%  | 0.0% | <b>30.0%</b> |
| 50代  | 100% | 20.0% | 20.0% | 25.0% | 10.0% | 0.0% | <b>25.0%</b> |
| 60代～ | 100% | 23.1% | 30.8% | 15.4% | 15.4% | 0.0% | 15.4%        |

（余暇目的で）2回以上訪問した方が7割以上を占め、リピート率が高い結果が出た。6回以上のヘビーリピータは、男女とも2割前後、年代別では20代、40代、50代で比較的高い傾向がある。

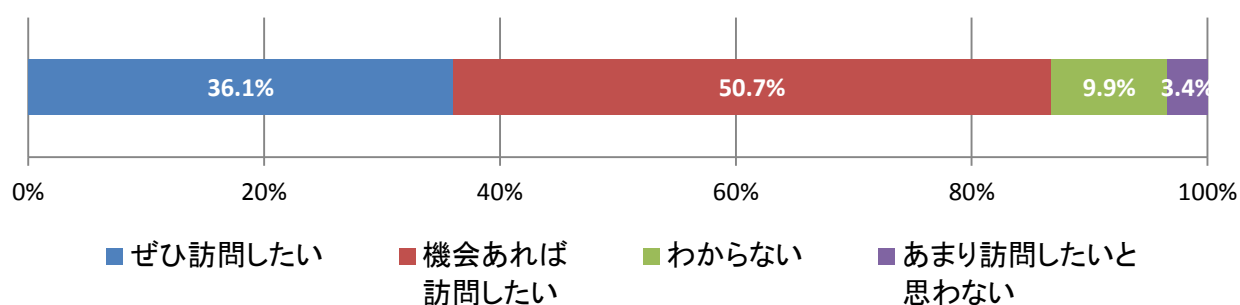
④今後、農山漁村を余暇を目的に訪問したり滞在したいか

| 合計   | ぜひ訪問したい | 機会あれば訪問したい | わからない | あまり訪問したいと思わない |
|------|---------|------------|-------|---------------|
| 294  | 106     | 149        | 29    | 10            |
| 100% | 36.1%   | 50.7%      | 9.9%  | 3.4%          |



### 今後、農山漁村を余暇目的で訪問、滞在したいか

(n=294)



#### クロス集計 (性別)

|    | 合計  | ぜひ訪問したい | 機会あれば訪問したい | わからない | あまり訪問したいと思わない |
|----|-----|---------|------------|-------|---------------|
| 男性 | 131 | 41      | 72         | 13    | 5             |
| 女性 | 161 | 65      | 77         | 14    | 5             |

|    | 合計   | ぜひ訪問したい | 機会あれば訪問したい | わからない | あまり訪問したいと思わない |
|----|------|---------|------------|-------|---------------|
| 男性 | 100% | 31.3%   | 55.0%      | 9.9%  | 3.8%          |
| 女性 | 100% | 40.4%   | 47.8%      | 8.7%  | 3.1%          |

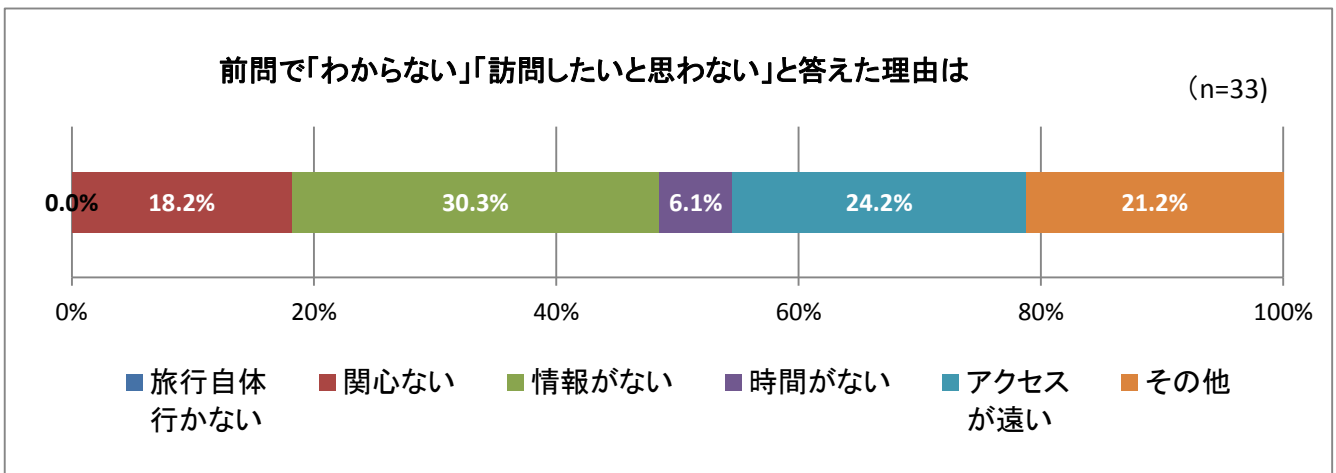
#### クロス集計 (年代別)

|      | 合計 | ぜひ訪問したい | 機会あれば訪問したい | わからない | あまり訪問したいと思わない |
|------|----|---------|------------|-------|---------------|
| ～10代 | 19 | 7       | 9          | 2     | 1             |
| 20代  | 80 | 44      | 36         | 0     | 0             |
| 30代  | 50 | 18      | 23         | 6     | 3             |
| 40代  | 61 | 16      | 34         | 10    | 1             |
| 50代  | 46 | 13      | 25         | 7     | 1             |
| 60代～ | 34 | 6       | 20         | 4     | 4             |

|      | 合計   | ぜひ訪問したい | 機会あれば訪問したい | わからない | あまり訪問したいと思わない |
|------|------|---------|------------|-------|---------------|
| ～10代 | 100% | 36.8%   | 47.4%      | 10.5% | 5.3%          |
| 20代  | 100% | 55.0%   | 45.0%      | 0.0%  | 0.0%          |
| 30代  | 100% | 36.0%   | 46.0%      | 12.0% | 6.0%          |
| 40代  | 100% | 26.2%   | 55.7%      | 16.4% | 1.6%          |
| 50代  | 100% | 28.3%   | 54.3%      | 15.2% | 2.2%          |
| 60代～ | 100% | 17.6%   | 58.8%      | 11.8% | 11.8%         |

男女とも9割近くの方が農山漁村へ余暇目的で訪問したいとの意向があった。年代別だと特に20代でその傾向が強く、全体的にも年齢が低い層で訪問意識が高まる傾向がある。

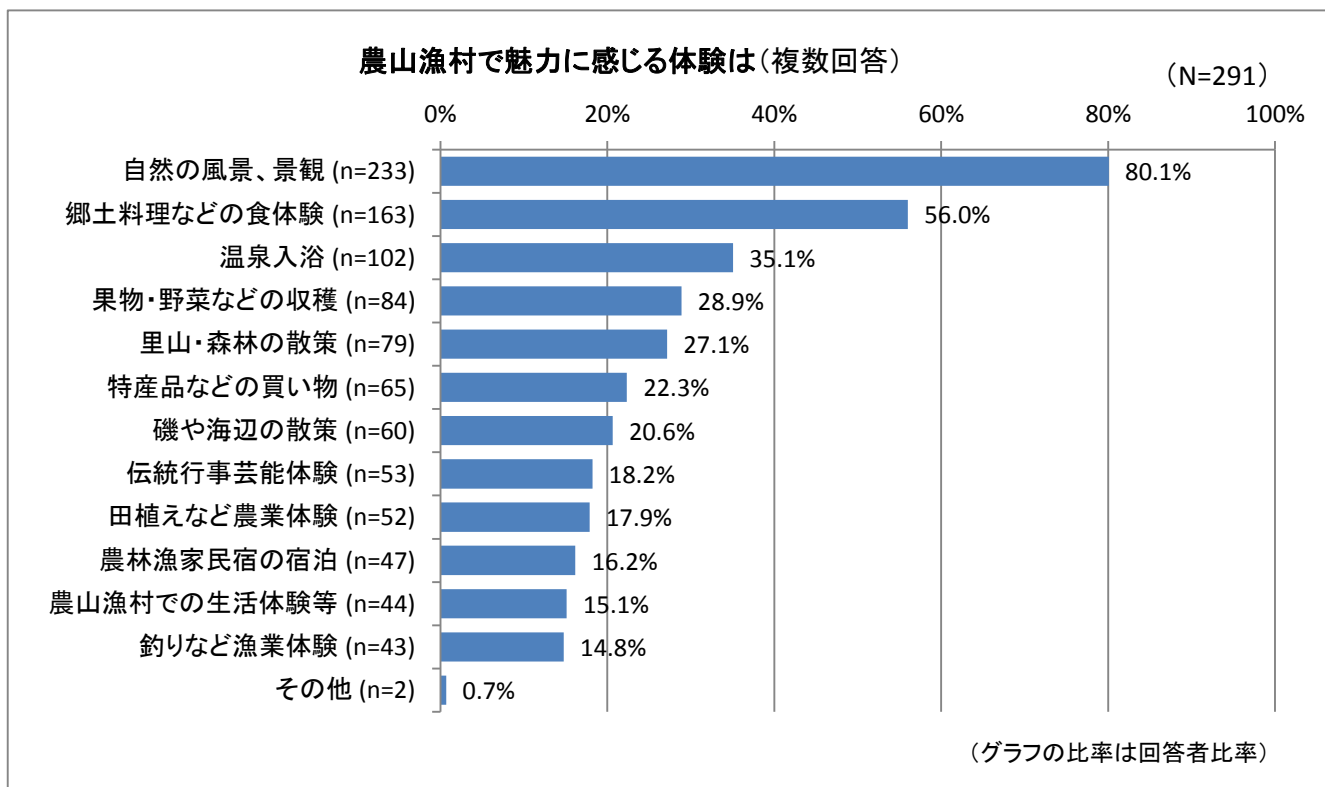
⑤ ④で「分からない」、「あまり訪問したいと思わない」と答えた方へ、その理由は（複数回答）



「関心が無い」はやむを得ないが、「情報がない」に関しては的確に情報提供できれば訪問意向に繋がる可能性がある。「アクセス」に関しても、日本のグリーン・ツーリズムは近距離（日帰り圏内）でも楽しめる分野なので、やはり情報提供ができれば訪問に繋がる可能性があるといえる。

⑥農山漁村で魅力を感じる体験はどのようなことか（複数回答）

| 合計  | 自然の風景、景観 | 郷土料理などの食体験 | 特産品などの買い物 | 果物・野菜などの収穫 | 田植えなど農業体験 | 釣りなど漁業体験 | 里山・森林の散策 | 磯や海辺の散策 | 伝統行事芸能体験 | 温泉入浴  | 農林漁家民宿の宿泊 | 農山漁村での生活体験等 | その他  |
|-----|----------|------------|-----------|------------|-----------|----------|----------|---------|----------|-------|-----------|-------------|------|
| 291 | 233      | 163        | 65        | 84         | 52        | 43       | 79       | 60      | 53       | 102   | 47        | 44          | 2    |
|     | 80.1%    | 56.0%      | 22.3%     | 28.9%      | 17.9%     | 14.8%    | 27.1%    | 20.6%   | 18.2%    | 35.1% | 16.2%     | 15.1%       | 0.7% |



#### クロス集計（性別）

|    | 合計  | 自然の風景、景観 | 郷土料理などの食体験 | 特産品などの買い物 | 果物・野菜などの収穫 | 田植えなど農業体験 | 釣りなど漁業体験 | 里山・森林の散策 | 磯や海辺の散策 | 伝統行事芸能体験 | 温泉入浴 | 農林漁家民宿の宿泊 | 農山漁村での生活体験等 | その他 |
|----|-----|----------|------------|-----------|------------|-----------|----------|----------|---------|----------|------|-----------|-------------|-----|
| 男性 | 128 | 100      | 67         | 29        | 32         | 17        | 24       | 40       | 35      | 26       | 40   | 15        | 15          | 1   |
| 女性 | 161 | 132      | 95         | 35        | 52         | 35        | 19       | 39       | 25      | 27       | 61   | 31        | 29          | 1   |

|    | 合計 | 自然の風景、景観 | 郷土料理などの食体験 | 特産品などの買い物 | 果物・野菜などの収穫   | 田植えなど農業体験    | 釣りなど漁業体験     | 里山・森林の散策     | 磯や海辺の散策      | 伝統行事芸能体験 | 温泉入浴  | 農林漁家民宿の宿泊 | 農山漁村での生活体験等 | その他  |
|----|----|----------|------------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|-------|-----------|-------------|------|
| 男性 |    | 78.1%    | 52.3%      | 22.7%     | 25.0%        | 13.3%        | <b>18.8%</b> | <b>31.3%</b> | <b>27.3%</b> | 20.3%    | 31.3% | 11.7%     | 11.7%       | 0.8% |
| 女性 |    | 82.0%    | 59.0%      | 21.7%     | <b>32.3%</b> | <b>21.7%</b> | 11.8%        | 24.2%        | 15.5%        | 16.8%    | 37.9% | 19.3%     | 18.0%       | 0.6% |

クロス集計（年代別）

|      | 合計 | 自然<br>の<br>風景、<br>景観 | 郷土<br>料理<br>などの食<br>体験 | 特産<br>品な<br>どの買<br>い物 | 果<br>物・<br>野菜<br>などの収<br>穫 | 田植<br>えな<br>ど農<br>業体<br>験 | 釣り<br>など<br>漁業<br>体験 | 里<br>山・<br>森林<br>の散<br>策 | 磯や<br>海辺<br>の散<br>策 | 伝<br>統<br>行事<br>芸能<br>体験 | 温<br>泉<br>入浴 | 農<br>林<br>漁家<br>民宿<br>の宿<br>泊 | 農<br>山<br>漁村<br>での生<br>活体<br>験等 | その<br>他 |
|------|----|----------------------|------------------------|-----------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------|--------------------------|---------------------|--------------------------|--------------|-------------------------------|---------------------------------|---------|
| -10代 | 19 | 16                   | 7                      | 2                     | 7                          | 2                         | 1                    | 4                        | 3                   | 3                        | 7            | 4                             | 4                               | 0       |
| 20代  | 82 | 71                   | 55                     | 20                    | 27                         | 18                        | 17                   | 28                       | 16                  | 15                       | 28           | 20                            | 18                              | 1       |
| 30代  | 52 | 43                   | 30                     | 10                    | 15                         | 14                        | 10                   | 14                       | 14                  | 14                       | 19           | 10                            | 7                               | 1       |
| 40代  | 60 | 45                   | 32                     | 17                    | 18                         | 11                        | 7                    | 9                        | 12                  | 10                       | 23           | 6                             | 5                               | 0       |
| 50代  | 46 | 36                   | 25                     | 10                    | 12                         | 5                         | 6                    | 17                       | 8                   | 8                        | 18           | 7                             | 9                               | 0       |
| 60代- | 28 | 19                   | 13                     | 6                     | 3                          | 2                         | 2                    | 6                        | 6                   | 3                        | 6            | 0                             | 1                               | 0       |

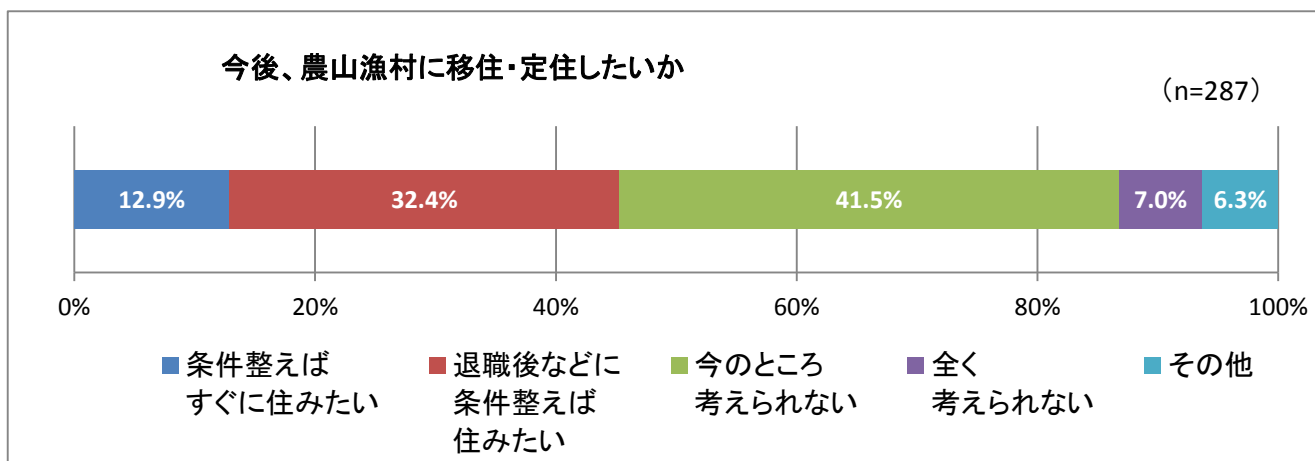
|      | 合計 | 自然<br>の<br>風景、<br>景観 | 郷土<br>料理<br>などの食<br>体験 | 特産<br>品な<br>どの買<br>い物 | 果<br>物・<br>野菜<br>などの収<br>穫 | 田植<br>えな<br>ど農<br>業体<br>験 | 釣り<br>など<br>漁業<br>体験 | 里<br>山・<br>森林<br>の散<br>策 | 磯や<br>海辺<br>の散<br>策 | 伝<br>統<br>行事<br>芸能<br>体験 | 温<br>泉<br>入浴 | 農<br>林<br>漁家<br>民宿<br>の宿<br>泊 | 農<br>山<br>漁村<br>での生<br>活体<br>験等 | その<br>他 |
|------|----|----------------------|------------------------|-----------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------|--------------------------|---------------------|--------------------------|--------------|-------------------------------|---------------------------------|---------|
| -10代 |    | 84.2<br>%            | 36.8<br>%              | 10.5<br>%             | 36.8<br>%                  | 10.5<br>%                 | 5.3%<br>%            | 21.1<br>%                | 15.8<br>%           | 15.8<br>%                | 36.8<br>%    | <b>21.1<br/>%</b>             | <b>21.1%</b>                    | 0.0%    |
| 20代  |    | 86.6<br>%            | <b>67.1<br/>%</b>      | 24.4<br>%             | 32.9<br>%                  | 22.0<br>%                 | 20.7<br>%            | <b>34.1<br/>%</b>        | 19.5<br>%           | 18.3<br>%                | 34.1<br>%    | <b>24.4<br/>%</b>             | <b>22.0%</b>                    | 1.2%    |
| 30代  |    | 82.7<br>%            | 57.7<br>%              | 19.2<br>%             | 28.8<br>%                  | 26.9<br>%                 | 19.2<br>%            | 26.9<br>%                | <b>26.9<br/>%</b>   | <b>26.9<br/>%</b>        | 36.5<br>%    | <b>19.2<br/>%</b>             | <b>13.5%</b>                    | 1.9%    |
| 40代  |    | 75.0<br>%            | 53.3<br>%              | 28.3<br>%             | 30.0<br>%                  | 18.3<br>%                 | 11.7<br>%            | 15.0<br>%                | 20.0<br>%           | 16.7<br>%                | 38.3<br>%    | 10.0<br>%                     | 8.3%                            | 0.0%    |
| 50代  |    | 78.3<br>%            | 54.3<br>%              | 21.7<br>%             | 26.1<br>%                  | 10.9<br>%                 | 13.0<br>%            | <b>37.0<br/>%</b>        | 17.4<br>%           | 17.4<br>%                | 39.1<br>%    | 15.2<br>%                     | 19.6%                           | 0.0%    |
| 60代- |    | 67.9<br>%            | 46.4<br>%              | 21.4<br>%             | 10.7<br>%                  | 7.1%<br>%                 | 7.1%<br>%            | 21.4<br>%                | 21.4<br>%           | 10.7<br>%                | 21.4<br>%    | 0.0%                          | 3.6%                            | 0.0%    |

全体の上位5位は、「風景・景観」「食」「温泉」「収穫」「散策」と比較的ライトに経験・体験できるプログラムが支持された。また性別で男女間で差が出たのは、「果物・野菜の収穫体験」や「田植えなど農業体験」など農業系で女性の支持が高く、「漁業体験」「磯や海辺の散策」「里山・森林の散策」などアクティブ系で男性の支持が高かった。

年代別では「農林漁家民宿の宿泊」や「農山漁村での生活体験等」という、比較的核心なプログラムで若年層の支持が高いという印象的な結果が出た。

⑦今後、農山漁村に移住したいか

| 合計   | 条件が整えば<br>すぐに住みたい | 退職後などに<br>条件が整えば<br>住みたい | 今のところ<br>考えられない | 全く<br>考えられない | その他  |
|------|-------------------|--------------------------|-----------------|--------------|------|
| 287  | 37                | 93                       | 119             | 20           | 18   |
| 100% | 12.9%             | 32.4%                    | 41.5%           | 7.0%         | 6.3% |



クロス集計 (性別)

|    | 合計  | 条件が整えば<br>すぐに住みたい | 退職後などに<br>条件が整えば<br>住みたい | 今のところ<br>考えられない | 全く<br>考えられない | その他 |
|----|-----|-------------------|--------------------------|-----------------|--------------|-----|
| 男性 | 130 | 17                | 42                       | 53              | 10           | 8   |
| 女性 | 155 | 20                | 51                       | 66              | 9            | 9   |

|    | 合計   | 条件が整えば<br>すぐに住みたい | 退職後などに<br>条件が整えば<br>住みたい | 今のところ<br>考えられない | 全く<br>考えられない | その他  |
|----|------|-------------------|--------------------------|-----------------|--------------|------|
| 男性 | 100% | 13.1%             | 32.3%                    | 40.8%           | 7.7%         | 6.2% |
| 女性 | 100% | 12.9%             | 32.9%                    | 42.6%           | 5.8%         | 5.8% |

クロス集計（年代別）

|      | 合計 | 条件が整えば<br>すぐに住みた<br>い | 退職後などに<br>条件が整えば<br>住みたい | 今のところ<br>考えられない | 全く考えられ<br>ない | その他 |
|------|----|-----------------------|--------------------------|-----------------|--------------|-----|
| ～10代 | 18 | 2                     | 8                        | 4               | 3            | 1   |
| 20代  | 80 | 9                     | 38                       | 28              | 2            | 3   |
| 30代  | 50 | 10                    | 13                       | 20              | 6            | 1   |
| 40代  | 60 | 7                     | 19                       | 30              | 1            | 3   |
| 50代  | 44 | 4                     | 13                       | 17              | 5            | 5   |
| 60代～ | 31 | 3                     | 2                        | 18              | 3            | 5   |

|      | 合計   | 条件が整えば<br>すぐに住みた<br>い | 退職後などに<br>条件が整えば<br>住みたい | 今のところ<br>考えられない | 全く<br>考えられない | その他   |
|------|------|-----------------------|--------------------------|-----------------|--------------|-------|
| ～10代 | 100% | 11.1%                 | <b>44.4%</b>             | 22.2%           | 16.7%        | 5.6%  |
| 20代  | 100% | 11.3%                 | <b>47.5%</b>             | 35.0%           | 2.5%         | 3.8%  |
| 30代  | 100% | <b>20.0%</b>          | 26.0%                    | 40.0%           | 12.0%        | 2.0%  |
| 40代  | 100% | 11.7%                 | 31.7%                    | 50.0%           | 1.7%         | 5.0%  |
| 50代  | 100% | 9.1%                  | 29.5%                    | 38.6%           | 11.4%        | 11.4% |
| 60代～ | 100% | 9.7%                  | 6.5%                     | <b>58.1%</b>    | 9.7%         | 16.1% |

「移住・定住」という踏み込んだ質問も実施した。1割が「条件が整えばすぐに住みたい」、3割が「退職後などに条件が整えば住みたい」と回答し、半数近くが潜在的なニーズも含め「移住・定住」の意向があるという結果になった。

性別での傾向に大きな違いは無かったが、年代別では、若年層で「移住・定住」の意向が強いという結果が出た。

今回の調査は、8割以上を首都圏在住者から回答を受け取った。端的に回答者の傾向をまとめると、「都市部在住」で、「旅行が好き」だが、「農山漁村への余暇訪問経験が少ない」が、「訪問への意向は高い」ということがいえる。

当然ながら、先述したように性別・年代別で意向が異なる箇所も多々あったが、とりわけ若年層において、体験で「農林漁家民宿の宿泊」や「農山漁村での生活体験等」の支持が高く、移住・定住でも意向が強いという傾向が出たのは、今後の地域活性化に向けて心強い結果といえる。

### 3. 出展地域アンケート

- (1) 実施日 : 平成27年11月から12月
- (2) 調査対象 : ツーリズムEXPOジャパン2015への出展地域代表者
- (3) 対象・手法 : メールまたは電話によるヒアリング
- (4) 回収数 : 9地域

#### ①今回の出展に関して、良かった点

- ・ 3日間お世話になりました。このような機会をいただきありがとうございました。このような形の出展が初めてでしたので、**他団体さんの取り組み・配布資料**も含め大変勉強になりました。また、**消費者の要望**も聞くことが出来参考になりました。これからの活動に活かしていきたいと思えます。
- ・ 前はトラベルマートの商談会と合わせると5日間の開催となったので、出張の人員を割けない地方団体(自治体)には、日程的に有難かった。
- ・ 多くの出会いがあり、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」のPRにも繋がり**呈茶サービスでは「美味しい!!」の言葉を今まで参加したイベントの中で一番多くの方から頂けたのではない**でしょうか。お茶の生産家として実に嬉しいことでした。
- ・ **商談会にも参加出来、以後の仕事につなげることが出来た**。開催期間中70人を越える方々と具体的な話しをすることが出来た。以後もメール等で縁をつないでいっている。
- ・ グリーン・ツーリズムの分野でも **FITの需要が高い**という事を改めて知ることができた。イベント出店において、**他地域の工夫(写真多めのディスプレイやお土産)など参考**になった。
- ・ 今回の出展がきっかけで、企業と連携した世界農業遺産PR事業の実施につながっている。
- ・ 旅行業界に限らず**幅広い企業・団体に世界農業遺産について知っていただけ**て良かった。
- ・ 設営、撤収を農協観光さんに担当していただき、出展者としては負担が少なく大変有り難かった。
- ・ **欧米豪のエージェントの方々との商談をする機会**は、通常の業務の中でほとんどありませんが、そのような機会をいただきましたことは今後、**インバウンドの受入地域を拡大するにあたって非常に有意義な場**であったと感謝いたします。具体的な進展はみられませんが、今後もこのような場を設定頂ければ参加させていただきたく思います。
- ・ 農林漁業関係(ツーリズム)が一同に集積して提案したこと。
- ・ **各地域のツーリズムを比較**して見る事ができた。
- ・ 農協観光さんのネットワークが享受できたこと。
- ・ 海外エージェントのブースを見る事ができたこと。

## ②今回の出展に関して、改善する点

### <設営について>

- ・3日間と言う長丁場で、長時間立っている事がきつかったです。もう少し座れるスペースが欲しかったです。
- ・面積をもう少し広くするか、出展数を絞るかした方が良いと思います。
- ・担当者が立っていないブースもあったが、当該ブースの出展内容について関心を持っていた来場者も見受けられ、余計なお世話だが少し勿体ないと感じた。(その時は机に置いてあった名刺をお持ちいただくよう勧めた。)できるだけ説明のできる者が各ブースにいたほうが良いと思う。

### <ツールについて>

- ・全国のツーリズムプログラムを作成したり、地域別案内パンフ(関東版・関西版・東北北海道・九州等)があると良いです。
- ・今回はパンフレットのみの展示が多かったが、来場者を惹きつけるには**試食試飲**や**体験型イベント**を実施すると良いのではないかと思った。

### <ターゲットについて>

- ・教育旅行に関心のある旅行会社、教育関係者の来場が多いと、より商談に繋がりやすいと感じた。
- ・インバウンドの**誘致内容**も必要かと思います。
- ・ほとんど全ての旅行会社が**FIT**の情報欲しがっていた。特にハイクラスの中国人(華僑)向け。ファミリーで農泊できないか、など質問多かった。
- ・外国人の来場が多かった為、**英語版の資料**などもっと充実させた方がよかった。(会社の英語版パンフレットがあったことでコミュニケーション取りやすかった)

## ③具体的な商談や来訪に繋がっている案件があればその内容

### <短期>

- ・東京にお住まいの方、数件からお茶の注文をいただきました。又、棚田オーナーの申込みがあり来年度の応募をいただきました。
- ・山岳系の旅行会社と共同で首都圏からの農業関連ツアーを実施することが出来た。
- ・旅行系出版社 Web ページで世界農業遺産の特集を組む予定。現在掲載準備中。
- ・大手不動産会社が所有している商業施設内で世界農業遺産の**PR**ができないか検討中。

### <中長期>

- ・具体的に「遠野」と言う名を目的に訪れてくれた方も居た為「1度は行ってみたい」とよく言われるので、長いスパンで辛抱強く**PR**したい。
- ・おうみんちでは「食と農」を軸にした体験観光を、国内外から誘致するための取組みを強化して参ります。そのために様々な体験付き商品化と、琵琶湖周辺の関係機関と連携した取組みを始めたばかりです。その効果が出るのは、2~3年間ぐらいかかるのではと思っています。
- ・商談会後の翌週に、美山を訪問されたエージェントがおられました。具体的なツアー一造成には時間がかかり来年度以降の具体化が予想されます。しかしながら、その可能性は不確定で、今後のアプローチが重要だと思っています。



#### ④今回の出展全般に対して意見等

- ・ 3日間お世話になりました。このような機会をいただきありがとうございました。このような形の出展が初めてでしたので、他団体さんの取り組み・配布資料も含め大変勉強になりました。また、**消費者の要望も聞くことが出来**参考になりました。これからの活動に活かしていきたいと思えます。
- ・ 他のブースに比べ少々地味ではありましたが楽しい3日間でした。次回、参加するとしたら若いメンバーで参加させたいと思えます。
- ・ 私達は**インバウンド関連の商談が多かった**です。インバウンドに取りくんでいる地域がこのブースに参加したらもっと実績があがるのではないのでしょうか。他の地区はコスプレ等していましたね。**必要であれば作業着でブースに立ちます**。出展に関する一切を準備頂いているので次回は集客があがるようにもっといろいろ私達参加者が出来ることをしたいと思えます。
- ・ 開催までの準備や終了後のまとめまで、農協観光様には本当にお世話になり、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。次回また機会があればよろしく願いいたします。
- ・ 来場者は短時間しかブースに滞在しないので、「**持ち帰りたい!**」と思わせるようなお土産で**話題作り**が必要と感じた。
- ・ これから農泊中心のグリーンツーリズムを始めたい、始めたけれども上手くいかない、どうしたら良いのか、など**自治体担当者から質問**受けることが多かった。**具体的な運営ノウハウは需要がある**。
- ・ グリーンツーリズムでFITに取り組んでいる成功事例があれば知りたい。
- ・ 今回の出展が様々な企業とのご縁につながりました。準備から出展結果の取りまとめまで、手厚いバックアップありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。
- ・ **他言語のプロモーション資料等**が、当方の準備不足で充分でなかつたので、今後は、準備をすすめてゆきたい。

⇒出展したことへの効果について、当日のPR・交流の観点および強弱ありつつも事後の商談・来訪も含め概ね良好な評価を頂けた。その反面で具体的な要望・改善意見も頂いており、以下にその内容を紹介する。

①インバウンド向け資料の充実およびインバウンド対応可能地域の出展

②グリーン・ツーリズムに関する総合情報の充実（特に旅行会社にも渡せる個人旅行者向けの紙媒体）

③話題性があるお土産や試食試飲、体験型の催し等の導入

特に①に関しては、想定以上に外国人および海外系旅行会社の来訪者が多かったことから意見が多かった。今後も当日のPR・交流と合わせて事後マッチングも意識した運営が期待される。



## 第6章 まとめ

## 1. 現状の課題

過去のグリーン・ツーリズム推進連絡会議※等で抽出された共通の課題や本事業を含め当社の取組で見受けられる現場での課題を集約すると次の内容があげられる。

※グリーンツーリズム推進連絡協議会：農林水産省 農村振興局 都市農村交流課主催のグリーン・ツーリズム関係者を集めた会議

### (1) 訪問者の課題

- 1) 情報の入手先が分からない (本章2-(4)(5))
- 2) アクセスに対する不安 (本章2-(2))
- 3) コストパフォーマンスに対する不安 (本章2-(3))

### (2) 取組地域関係者の課題

- 1) 地域資源のプログラム化・プラン造成についてのノウハウ不足 (本章2-(1))
- 2) 人材不足および育成
- 3) 受け入れ体制の確立と地域内連携
- 4) 情報発信と外部連携についてのノウハウ不足 (本章2-(4))
- 5) 安全対策

### (3) 観光関係者（旅行会社等）の課題

- 1) グリーン・ツーリズムに対する不安（時間・手間） (本章2-(1)(4)(5))
- 2) マスツーリズムとしてのビジネスの不確立 (本章2-(4)(5))
- 3) 取組地域の安全対策に対する不安

下線を引いた項目の右端に記載した（ ）は本章で課題に対して述べている箇所

特に下線の項目に関しては本事業で取組んだ領域でもあり、本章において農家民宿に焦点を絞り検証と合わせて今後の取組を横断的にまとめたい。なお(2)-5)および(3)-3)の安全対策については「農林漁家民宿 開業運営の手引き」の第4章、(2)-3)の地域内連携については同書の第5章を参照いただきたい。

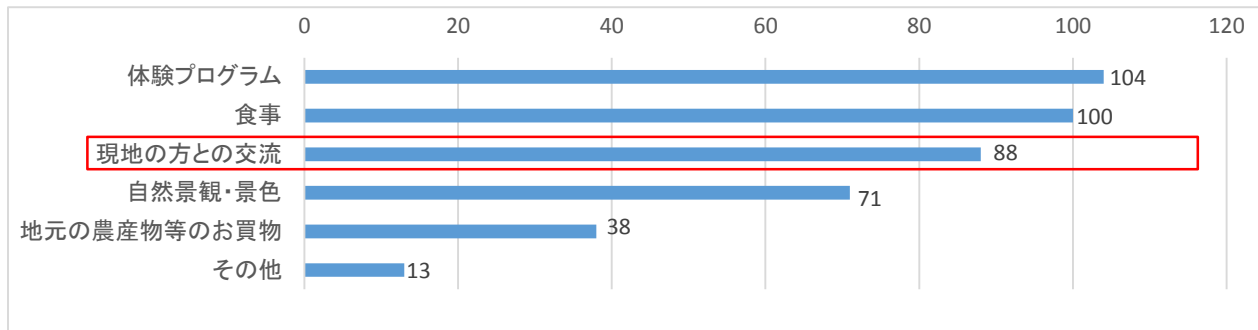
## 2. 今後の取組の方向性

### (1) プログラム

訪問者に提供するグリーン・ツーリズムプログラムについて、平成27年度事業（農家民宿ツアー、本事業）と平成26年度事業（日帰りツアー）を比較しながら述べてい。

表1

1-1 平成27年度事業（農家民宿ツアー） 良かったプログラム(N=141) ※複数回答



1-2 平成26年度事業（日帰りツアー） 良かったプログラム(N=749) ※複数回答

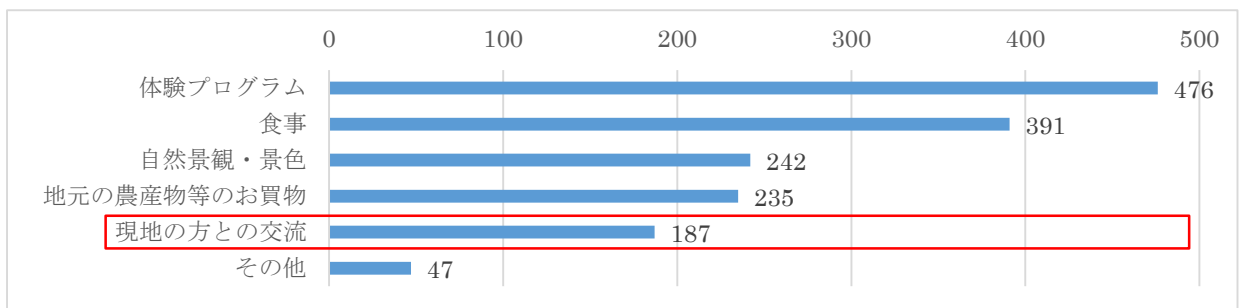
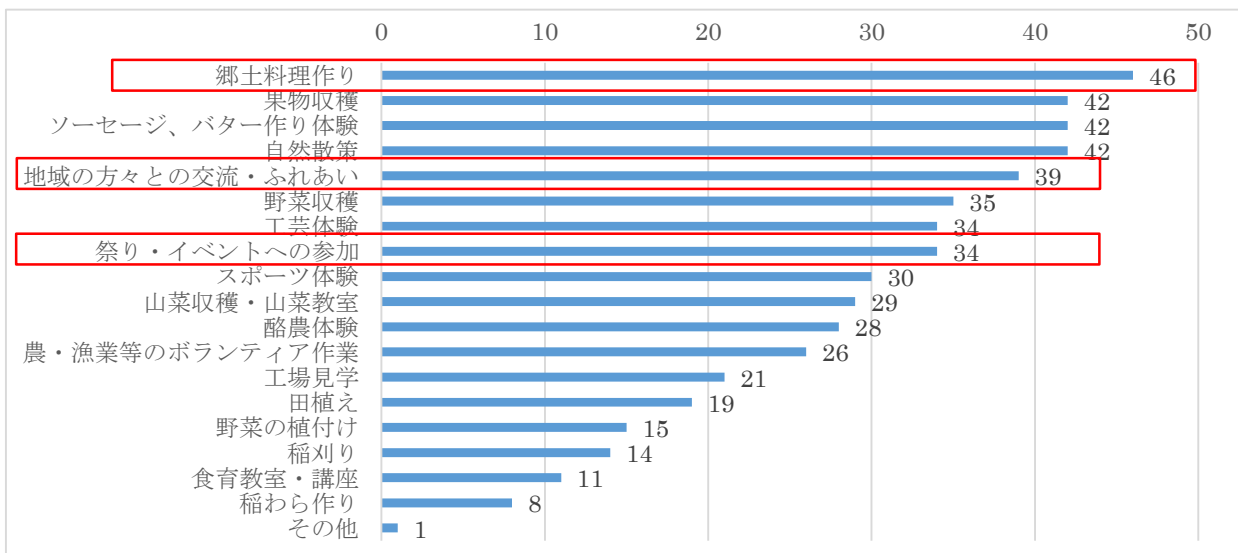


表1はツアーの最後に「良かったプログラム」を聞いた結果である。農家民宿ツアーでは「現地の方との交流」が上位にくるのに対し、日帰りツアーでは下位になっている。

表2

2-1 平成27年度事業（農家民宿ツアー） 今後どのような体験をしたいか(N=124) ※複数回答



2-2 平成26年度事業（日帰りツアー）今後どのような体験をしたいか(N=608) ※複数回答

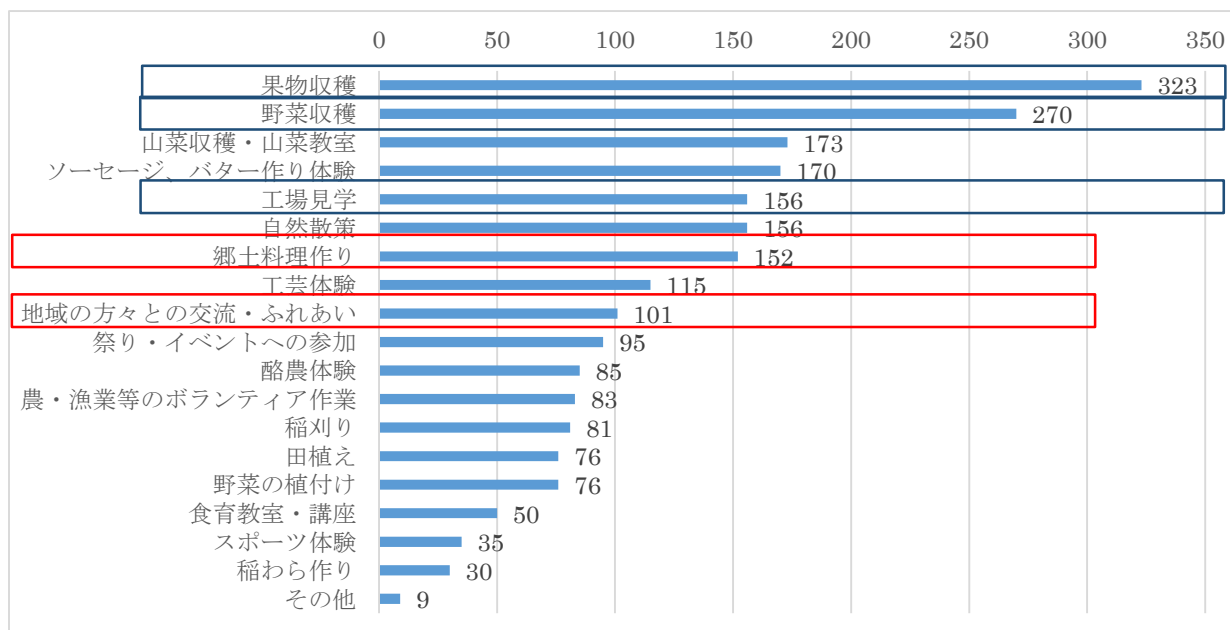


表2においても、農家民宿ツアーでは「郷土料理作り体験」や「地域の方々との交流・ふれあい」等地域に滞在して交流を楽しみながらじっくり取り組むプログラムが上位にくるのに対し、日帰りツアーではそれらが下位になっている。日帰りでは「果物収穫」「野菜収穫」「工場見学」等、比較的短時間で体験できるプログラムが上位にあるという特徴がある。（地域訪問体験）

本事業での農家民宿ツアー参加者の体験に関するコメントを一部紹介する。

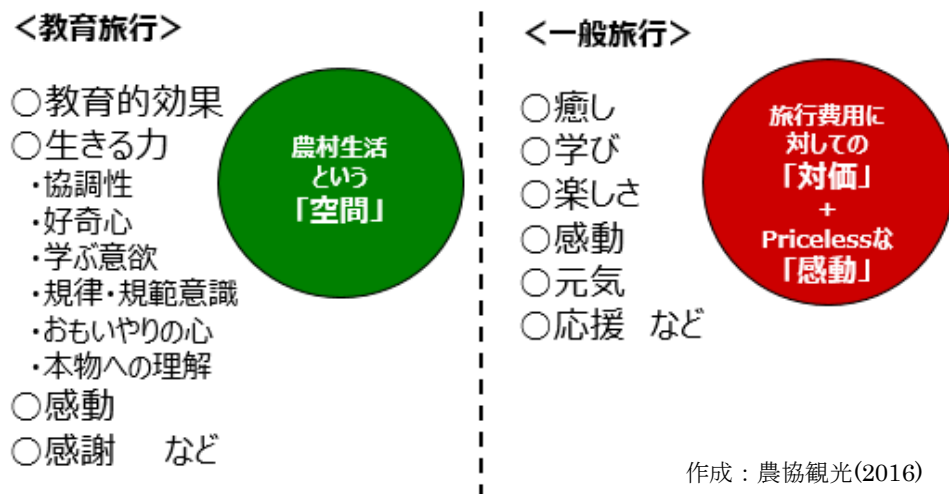
- 毎食、愛情たっぷりのメニューで満足でした。
- 心のこもった手作りの会席。りんご入りのおこわ。作り手のパッションが伝わった。
- 囲炉裏を囲んでの夕食とお酒のつぎ方、頂き方が楽しく和やかになりました。
- 現地の名物やおかみさんのこだわりの食事を食べられ、地元の方といっぱいお話ができて満足しました。
- 地元の人には普通にみえる風景も都会の人には珍しい光景でした。
- たくさん温かくもてなして貰い、嬉しかったです。
- 体験と地元の方との交流（ふれあい）2本柱だと思います。
- たくさん話をする事が出来、現地に親しむ事が出来ました。とても良い方々でした。
- 時間が止まっているような感じでよかったです。

定量的な結果に加え、定性的な参加者からのコメントにおいても、農家民宿ツアーの特徴（地域滞在交流）が色濃く出ている。

地域で提供するプログラムは、訪問者の滞在目的・期間や訪問者の居住地に合わせた選択と提案が重要であるといえる。

また今回は教育旅行ではなく大人が参加する一般市場に対しての訴求を行った。普段は教育旅行に慣れている地域・協議会であっても、大人の対応には若干戸惑ったという地域からのご感想やそうした様子を心配する参加者からのコメントもあった。次の図表1は「教育旅行」と「一般旅行」のプログラムに関する違いをキーワードにまとめたものである。

図表1 教育旅行と一般旅行の違い（キーワード）



教育旅行は学校教育の一環で行われる活動であり、農山漁村における空間において体験やコミュニケーションを通じて知識に限らず幅広く生きる力を醸成するものである。訪問に係る費用の負担は保護者がするにしても、基本的な訪問目的は教育にある。

それに比して一般旅行は、訪問者が宿泊代や交通費、旅行代金等を自ら支払って訪れ、その対価として各々の期待や目的を得るものといえる。最終的に対価には表せない感動が得られたとしても、最低限のサービスの提供は不可欠となる。

教育旅行では農村生活体験として、農作業の手伝いや掃除、犬の散歩であってもプログラムになり得るが、一般市場に対しては食せること、持ち帰れること等、空間での体験だけではなく対価として物理的に得られるものが無いと満足を得られない傾向があるといえる。

## (2) 再訪ニーズとアクセス

グリーン・ツーリズムの中でも農家民宿への訪問滞在において、宿泊者の再訪（リピーター化）に向けたニーズの把握は重要なポイントになると考える。これについても27年度事業（農家民宿ツアー）と26年度事業（日帰りツアー）を比較しながら述べてい。

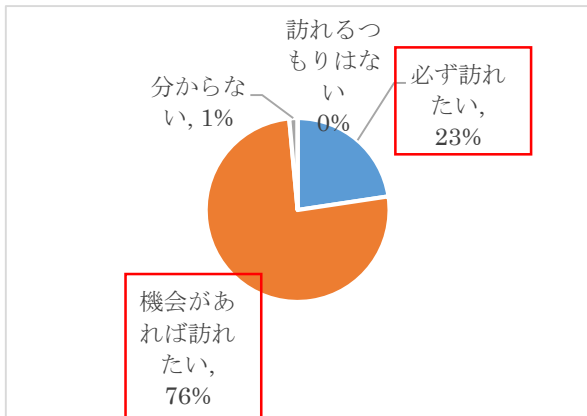
表3では再訪したいかを聞いた。日帰りに比べ農家民宿の方が、「必ず訪れたい」の割合が多く、また「機会があれば訪れたい」を含めた全体でも再訪ニーズが強い。

表4ではいつ訪れたいかを聞いた。訪問先との距離が近いことが前提の日帰りの方が1年以内の割合が多い。農家民宿に対しては再訪ニーズは強いが次の訪問までは若干期間をおく傾向がある。

また表5では次回訪れる際の交通手段についても聞いている。これに関しては大きな相違はなかった。

表 3

3-1 平成 2 7 年度事業（農家民宿ツアー）  
今回訪問した地域に再訪したいか(N=137)



3-2 平成 2 6 年度事業（日帰りツアー）  
今回訪問した地域に再訪したいか(N=697)

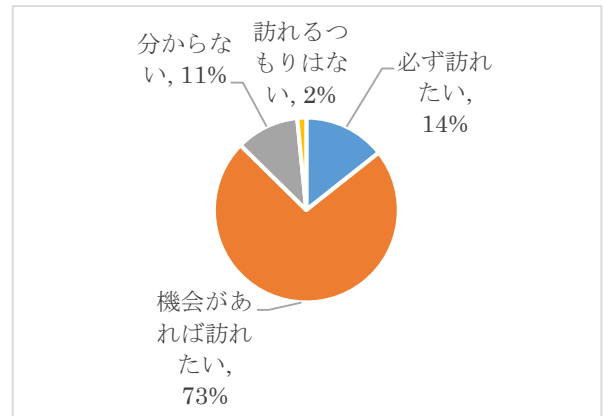
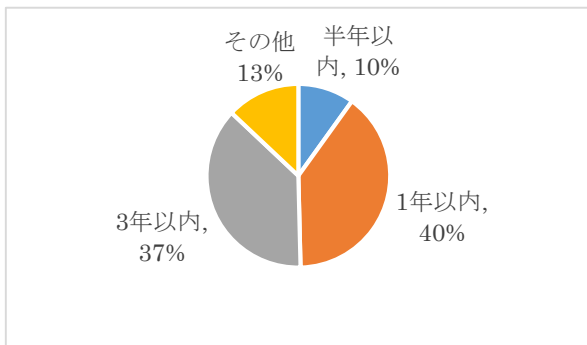


表 4

4-1 平成 2 7 年度事業（農家民宿ツアー）  
今回訪問した地域にいつ再訪したいか(N=131)



4-2 平成 2 6 年度事業（日帰りツアー）  
今回訪問した地域にいつ再訪したいか(N=569)

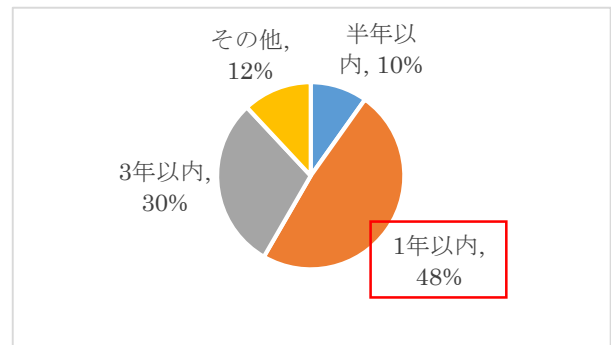
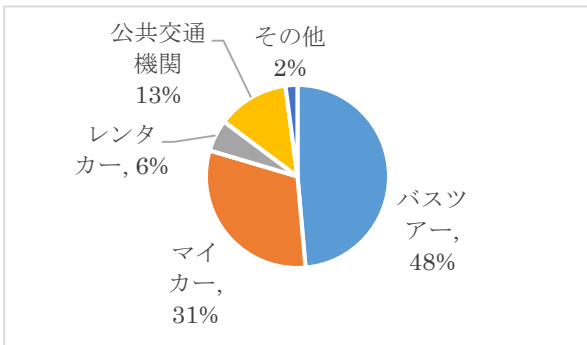
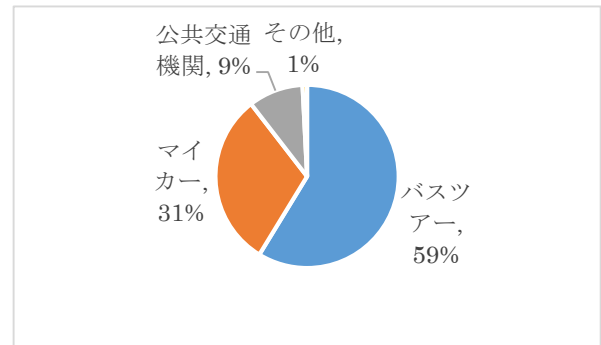


表 5

5-1 平成 2 7 年度事業（農家民宿ツアー）  
次回訪れる際の交通手段のイメージ(N=142)



5-2 平成 2 6 年度事業（日帰りツアー）  
次回訪れる際の交通手段のイメージ(N=630)



※平成 26 年度事業では「レンタカー」の項目はなし



再訪ニーズとアクセスに関しては、26年度事業でもふれたように、訪問者目線で考えると、移動にかかる時間と費用はプログラムの内容と同等か、それ以上に決定的な判断要因になるといえる。

農家民宿に宿泊する訪問者は、日帰り訪問と比べても非日常の環境を求めて基本的に一定の時間と距離、費用（交通費）をかけてくることを想定する。再訪に対するアクセス条件は、無理に克服するものではなく、図表2にあるように、それを前提として利点と不利点を理解した上で取組むことが必要と考える。

図表2 訪問者からみた地域までのアクセス イメージ

| 要素        | 都市部から近距離（日帰り圏） | 都市部から遠距離（宿泊圏） |
|-----------|----------------|---------------|
| 移動にかかるコスト | 安い             | 高い            |
| 移動にかかる時間  | 短い             | 長い            |
| 訪問頻度      | 多い             | 少ない           |
| 交流の密度     | 浅い             | 深い            |
| 非日常性      | 低い             | 高い            |

作成：農協観光(2015)

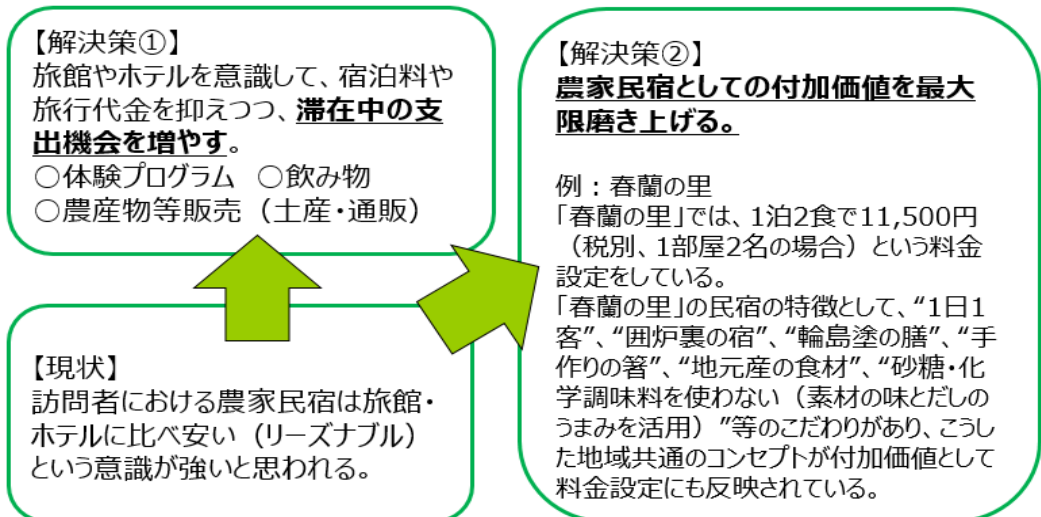
(3) 価格

第4章でも述べたように、農家民宿に滞在する一般市場向けの販売形態・チャネルについては、本事業の参加者アンケートにあるプログラムに対しての高い満足度に反比例したコストパフォーマンス意識（価格意識）の低さから課題を残す結果となっている。

農家民宿に滞在し交流や体験を楽しむという非日常空間が都市住民にとっては魅力であり、充足感を得られるものであっても、旅館やホテルと比較して施設等のハード面まで考慮すると、農家民宿に付加価値を見出して一定のコストを許容できるほど市場はまだ成熟していないのかもしれない。

図表3は訪問者の価格意識に対する解決策をまとめたものである。解決策①にあるように訪問者ニーズを意識し旅館やホテルに比べ宿泊料を抑えつつ地域滞在中に支出の機会を提供することと合わせ、今後は解決策②のように訪問者の価値観や所得水準を意識して、高い付加価値を価格に反映させる“めり張り”を付すことも必要と思われる。

図表3 訪問者の価格意識に対する解決策



作成：農協観光(2016)

(4) 販売チャネル（販売先）とプロモーション（販売方法）

本事業では、下記グリーン・ツーリズムの販売形態における「V 宿泊バスツアー」を検証の一手法として採用し実施した。図表4にあるように販売チャネルとしては複数の旅行会社との外部連携も試みた。

|                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| グリーン・ツーリズムの販売形態（例） |                    |
| I                  | 体験のみ               |
| II                 | 宿泊のみ ※農林漁家民宿を前提とする |
| III                | 観光地宿泊・訪問+数時間の体験    |
| IV                 | 日帰りバスツアー           |
| V                  | 宿泊バスツアー            |
| VI                 | 教育旅行を中心とした農村滞在     |
| VII                | 農林漁家民宿等での長期滞在      |

作成：農協観光(2016)

図表4 外部連携先・結果リスト

| No | 会社名 | 区分       | 系統            | 特徴   | 客層                                   | 掲載ツアー   | 告知方法   | 集客結果                                 |
|----|-----|----------|---------------|--|--------------------------------------|---|--|--------------------------------------|
| 1  | A社  | 旅行会社     | 会員制旅行会社       | 主に50代以上のシニア層を中心とした会員組織を有し、各種趣味に特化したツアーやイベントのポータルサイトを運営 | 各種趣味に関心を持つ主に50代以上のシニア層(会員数:約32万名)    | ①石川県能登町<br>②栃木県大田原市<br>③沖縄県東村                       | ■メルマガへのツアー情報掲載(82,449通、首都圏エリア)<br>①石川県能登町・・・クリック数:144件<br>②栃木県大田原市・・・クリック数:76件<br>③沖縄県東村・・・クリック数:63件<br>CTR 0.34%  | なし                                   |
| 2  | B社  | 旅行会社     | 福利厚生代行企業      | クライアント数3500社・会員数165万人を抱える日本最大級の福利厚生代行企業                | 主に大企業に勤める勤労世代およびその家族                 | ①石川県能登町<br>②栃木県大田原市<br>③沖縄県東村                       | ■メルマガへのツアー情報掲載(約30万通、全国)<br>■ツアーサイトへのツアー情報掲載   | なし                                   |
| 3  | C社  | 旅行会社     | 会員制旅行会社       | シニア層を中心とした会員組織を有し、山岳旅行や文化旅行などテーマ型旅行を好むファンを抱える          | 山岳旅行や文化旅行などテーマ型旅行を好むシニア層(年間参加者延べ1万名) | ①石川県能登町<br>②栃木県大田原市                                 | ■会員ダイレクトメールへのツアーチラシ封入(1,000通 ※ツアー参加者に限り封入)   | ①石川県能登町3名<br>②栃木県大田原市1名              |
| 4  | D社  | 旅行会社     | 会員制旅行会社       | シニア層を中心とした会員組織を有し、コアなグリーン・ツーリズムファンを抱える                 | グリーン・ツーリズムに関心の高いシニア層(会員数:約4,500名)    | ①石川県能登町<br>②栃木県大田原市<br>③沖縄県東村                       | ■会員ダイレクトメールへのツアーチラシ封入(約4,000通 ※首都圏エリア会員に限り封入)  | ①石川県能登町7名<br>②栃木県大田原市9名<br>③沖縄県東村12名 |
| 5  | E社  | ネット系旅行企業 | 口コミ旅行サイト      | 旅行のクチコミと比較を専門としたサイト<br>ユーザー参加型の情報発信に特化                 | 旅行に関心が高い若年層から壮年層を中心とした客層             | ①石川県能登町<br>②栃木県大田原市<br>③宮崎県小林市<br>④沖縄県東村            | ■ポータルサイトへの情報掲載<br>クリック数 PC:816/スマートフォン:184<br>■会員へのメルマガ配信<br>12/18配信分 配信数:144,259<br>クリック数:339件 CTR:0.34%<br>1/13配信分 配信数:144,630<br>クリック数:371件 CTR:0.26% | なし                                   |
| 6  | F社  | ネット系旅行企業 | バスツアー情報サイト    | 日本各地の観光・穴場スポットなど魅力を発信する旅行予約サイト<br>バスツアーの情報が充実          | 旅行に関心が高い若年層から壮年層を中心とした客層             | ①石川県能登町<br>②栃木県大田原市<br>③宮崎県小林市                      | ■ポータルサイトへの情報掲載<br>①石川県能登町・・・クリック数:26件<br>②栃木県大田原市・・・クリック数:38件<br>③宮崎県小林市・・・クリック数:131件  | なし                                   |
| 7  | G社  | ネット系旅行企業 | エコツーリズム系情報サイト | 自然と環境に係るツアーやイベント情報を発信するポータルサイト                         | 自然や環境に関心の高い主に都市生活者                   | ①秋田県大館市<br>②石川県能登町<br>③栃木県大田原市<br>④宮崎県小林市<br>⑤沖縄県東村 | ■ポータルサイトへの情報掲載<br>①秋田県大館市・・・クリック数:120件<br>②石川県能登町・・・クリック数:69件<br>③栃木県大田原市・・・クリック数:108件<br>④宮崎県小林市・・・クリック数:201件<br>⑤沖縄県東村・・・クリック数:117件                    | なし                                   |

図表 5 主な販売チャネルと集客結果

| No    | 地域名                 | ツアー名                                    | 旅行形態 | 主な参加世代      | 参加人数 | 旅行代金(大人) | 主な販売チャネル               |
|-------|---------------------|---|------|-------------|------|----------|------------------------|
| 1     | 北海道<br>上川郡<br>東川町   | 水と写真の町「東川」の魅力体験ツアー                      | 受注型  | 壮年層         | 9    | 17,800円  | 企業営業                   |
| 2     | 秋田県<br>大館市          | いただきます。おおだて。                            | 募集型  | シニア層        | 16   | 19,800円  | 地元リビング誌                |
| 3     | 栃木県<br>大田原市         | 農家に泊まって！学んで！<br>大人の食育ツアー                | 募集型  | シニア層        | 10   | 18,800円  | 会員組織へのDM               |
| 4     | 群馬県<br>利根郡<br>みなかみ町 | 雪のみなかみへ行こう！<br>かまくらで麦ぶた鍋&雪国ステイ2日間       | 募集型  | シニア層<br>親子層 | 38   | 11,000円  | 連携都市における区報<br>(東京都中野区) |
| 5     | 石川県<br>鳳珠郡<br>能登町   | 奥能登「春蘭の里」じわもん(地場もの)<br>づくし              | 募集型  | シニア層        | 10   | 39,800円  | 会員組織へのDM               |
| 6     | 岐阜県<br>郡上市          | 水と暮らす町“郡上八幡”の城下町めぐり<br>とジビエ体験・絶品ジビエ料理の旅 | 受注型  | 若年層         | 11   | 15,500円  | 団体営業<br>(サークル組織)       |
| 7     | 京都府<br>綾部市          | のんびり綾部味わいツアー                            | 受注型  | 若年層         | 23   | 22,750円  | 学校営業<br>(専門学校)         |
| 8     | 広島県<br>山県郡<br>北広島町  | 芸北！地産地消と田舎生活を満喫！                        | 募集型  | 壮年層<br>シニア層 | 10   | 16,000円  | 企業営業<br>地元新聞           |
| 9     | 宮崎県<br>小林市          | 北きりしま冬の田舎物語                             | 募集型  | シニア層        | 11   | 17,500円  | 地元リビング誌                |
| 10    | 沖縄県<br>国頭郡<br>東村    | 沖縄パインナッブル畑でゆいま〜る                        | 募集型  | シニア層        | 12   | 18,800円  | 会員組織へのDM               |
| 参加者合計 |                     |   |      |             | 150  |          |                        |

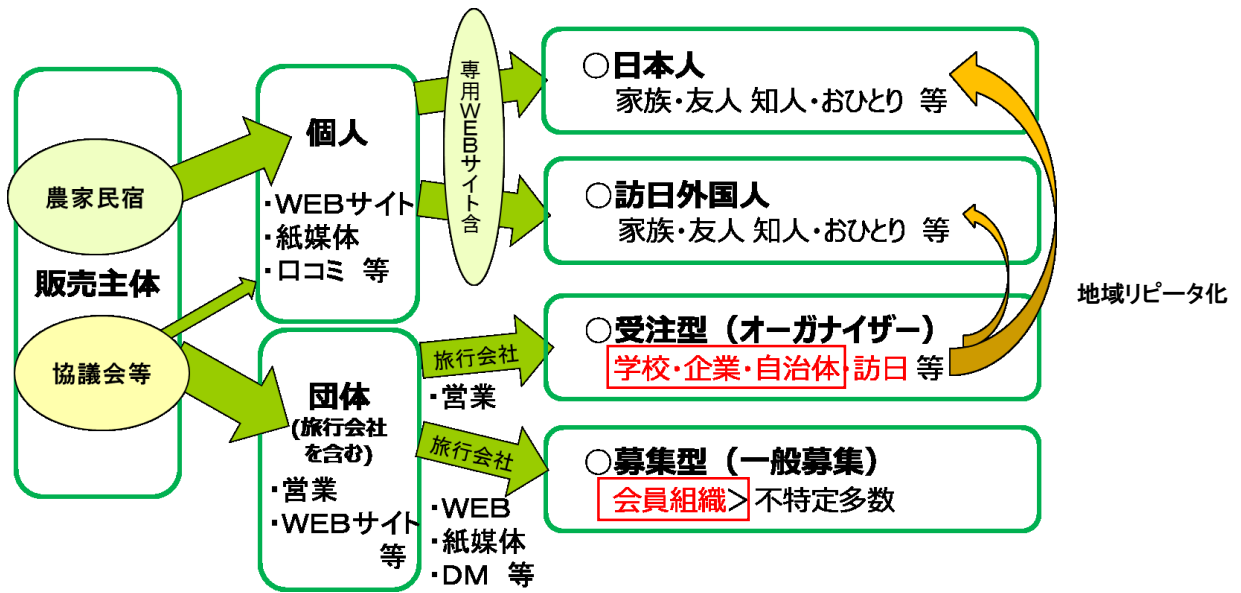
図表 4,5 の結果からWEBサイト上 (HP、メルマガ) や新聞告知での不特定多数への告知についてはほとんど成果が見られなかった。比較的有効だったのが、グリーン・ツーリズムや山岳旅行、文化旅行に関心の高いシニア層が属する会員向けダイレクトメール (図表 4 の No3,4) および壮年女性にターゲットを絞リエリアマーケティングに長けた地元リビング誌であった (図表 5 の 2,9)。

また企業・団体・学校・自治体等、受注型での提案・連携に関しては一定の成果を残す結果となった。特に自治体同士の連携には、防災協定を含め様々な連携の形態があり、農家民宿を活用したグリーン・ツーリズムにおいて可能性を秘めているといえる。(群馬県みなかみ町と東京都中野区は「なかの里まち連携」で協定関係)

本事業における販売チャネルとプロモーションの結果を踏まえ、地域から農家民宿をPRする際のイメージを図表 6 にまとめた。農家民宿自ら直販する場合は主に個人向け、協議会等の地域組織から販売する場合は主に団体向けを想定する。ここ数年で農家民宿を扱う予約受付サイトの整備・普及が進んでいることから、今後は農家民宿がこうしたサイトを通じて直接個人に訴求する機会が増えていくと予想される。サイト上での外国語の整備も整えば訴求先として個人の外国人も視野に入る。

団体においては、協議会等から直接営業するケースは当然ながら、各所に営業拠点および営業人材を持つ旅行会社との連携も地域にとっては引き続き重要な販売チャネルの1つになると考える。本事業で成果のあった項目 (受注型における学校・企業・自治体、募集型における会員組織) を念頭に、教育旅行に限らず一般市場も含めたニーズの取り込みに地域と旅行会社が連携して取り組むことが重要である。

図表 6 地域からみた農家民宿の販売チャンネルとプロモーション イメージ



作成：農協観光(2016)

(5) まとめ ～農家民宿の可能性 都市農村交流の結合点(connecting point)として～

農家民宿を活用したグリーン・ツーリズムに積極的な地域は教育旅行の受入に既に取り組みられているケースが大部分である。子供たちにとって農家民宿でのお父さん・お母さんたちとの交流は密で心に残る。別れ際に自然と涙が出る。大人でさえたった1泊の滞在なのに宿の人たちに親近感が湧く。これこそが農家民宿の魅力だ。だから子供でも大人でも外国人でも、一度のご縁があれば再訪につながる可能性がある。

本事業はこのような農家民宿に着目し、手引きの作成、セミナーの開催(プラン造成・リスクマネジメント)、ツアーの検証、イベントへの出展(ツーリズムEXPOジャパン)と多岐に渡る内容で実施した。

セミナーを通じて地域における農家民宿への期待をプランという形で具現化しつつ、それを活用したツアーの検証では、参加者の高い満足度から都市住民が地域に滞在し体験・交流をする拠点として農家民宿が大きな可能性を持っていることを改めて再認識できた。今後は手引きを通じて地域の交流拠点(結合点)として農家民宿の開業にチャレンジする方が少しでも増えることを目指したい。

そして課題も抽出された。特に価格や販売チャンネル・プロモーションについては、今後も解決に向けて様々なアプローチが求められる。不特定多数に訴求することも大切だが、今回の農家民宿ツアーの集客結果で見られた通り、学校・企業・自治体等の団体および会員組織等の農山漁村に関心の高い層に絞ることの有効性に加え、「ご縁があって宿泊した方への声かけ(フォロー)」もリピーターにつながる最も有効な手段の1つであるといえる。そして地域として次世代につないでいく長い視野で取り組むことがグリーン・ツーリズムだけでなく地域の課題を解決し活性化の可能性を拡げることになると確信する。

## 本事業における関係者のコメント集

### <ツアー参加者>

- 訪れた場所の方々の**地域愛**を感じました。とても楽しかったです。
- たくさん話をする事が出来、**現地に親しむ事**が出来ました。とても良い方々でした。
- 心のこもった手作りの会席。りんご入りのおこわ。**作り手のパッション**が伝わった。
- 地元の人には普通にみえる風景も**都会の人には珍しい光景**でした。
- 皆さんが**地元を好きと身体全体で表現**しているのが良かったです。
- 村を守ろうとする意気と人生を楽しんで人も幸せに**と思う生き様（に感動）。
- 地元おこしで奮闘されているのが分かり感動をしました。これからも**応援をしたいし、広めたい**と思ひ、日本にもいいところがいっぱいあるもんだと感じました。
- 星空のすがすがしさ**には大声を上げるくらいだった。
- 夜神楽見学中のふるまいそばは、親戚総出でおもてなし**をして頂き地域のあたたかさに触れることができました。
- 地元ならではのスケジュール**にただ頭が下がります。
- 実施前には、民宿に対して暗く閉鎖的なイメージを持っている学生もいましたが、宿泊をしたことでそのようなイメージは払拭されてまた訪れたいとの意見が多くありました。これにより2日目からの学生の様子が一変し、表情が明るくなったことが特徴的でした。

### <地域関係者>

- 観光を学ぶ学生が来訪し、農業体験や農家民宿を体験して感動してくれたことで、地元の受入農家の人たちの自信やモチベーションにつながりました。
- お客様の年齢が私たちに近かったせいか、食材や料理方法と話題が多くて楽しい時間が過ごせました。私たちの今後の受入に勉強させられることがありとてもよかったです。

### <農家民宿のお母さん>

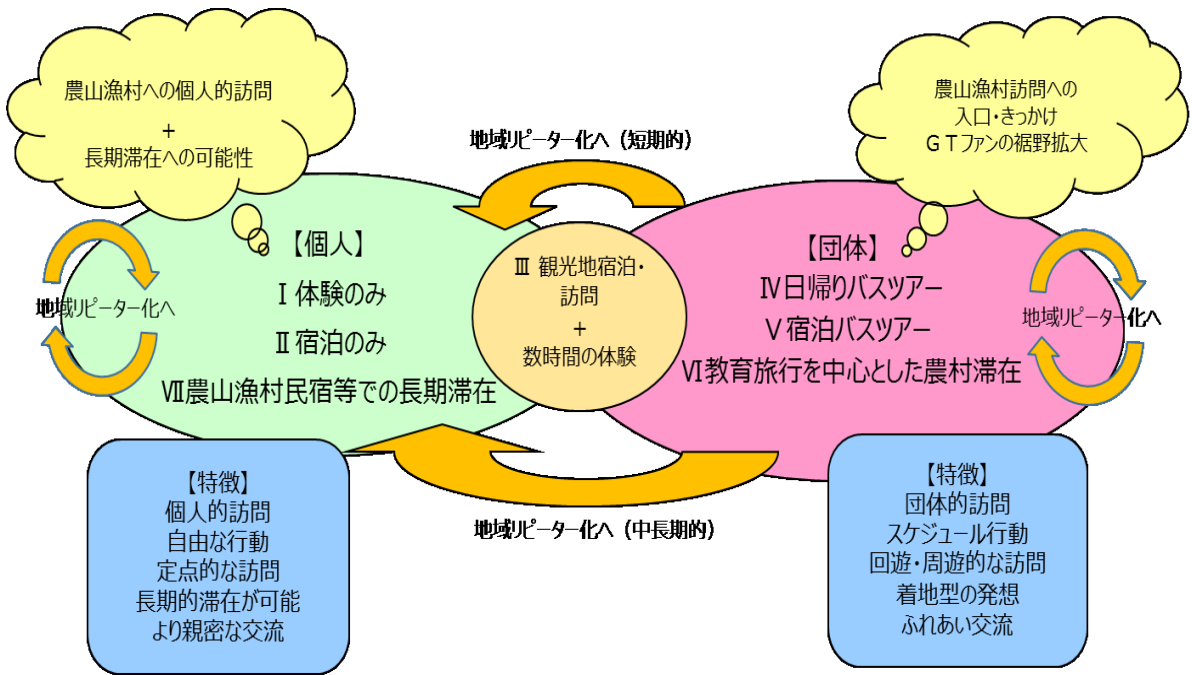
（農家民宿をやって良かったと思うこと）

- この**地域に居ながらにして全国や世界の人たちと接**することができることです。言葉はつながらなくても**ハートはつながります**。お客さまとの時間をありがたくすごしています。
- 自然と友人が増えて、自分が良い意味で変わったと周りの人から言われるようになりました。**一人ひとりの生き方や考え方を交流で学ぶ**ことができ嬉しいです。

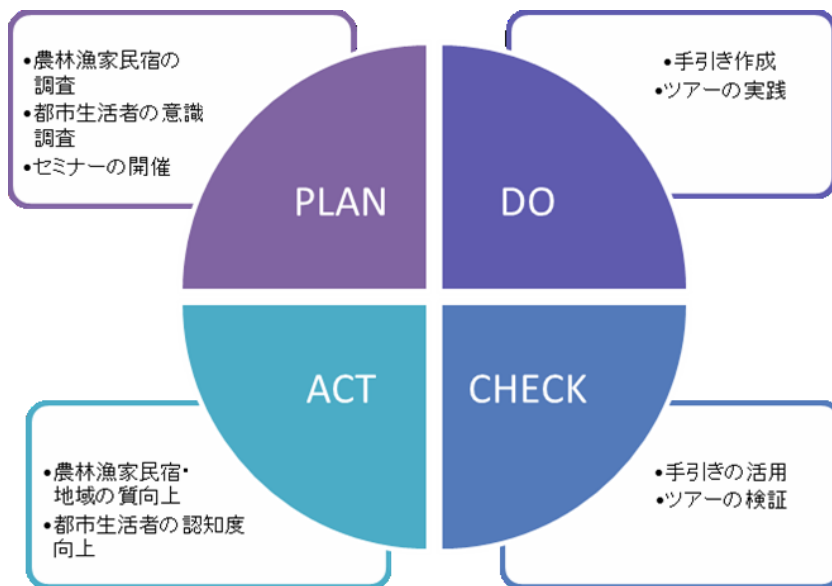
（ファンの心をつかむポイント）

- 生み育ててくれた母や家族にしてもらったことを思い出しながらお客さまに接しています。代償を意識しないで**家族的な交流**ができれば双方にとって満足できます。
- 地域や家庭の状況、自分の技量や健康に合わせて無理のないやり方を続けてきました。また大人でも子どもでも**誰でも一人の人として接していることがお客さまからの信頼感につながっているのか**と思います。

図表7 グリーン・ツーリズムの交流 イメージ



図表8 本事業のPDCAサイクル



普段どおりに  
少しのおもてなしの気持ちと  
笑顔があれば  
あなたはいつも元気になって帰っていく  
また会える日の楽しみをおみやげに

下記の事業WEBページに次の資料を掲載しています。

- 農林漁家民宿 開業・運営の手引き
- 農林漁家民宿 開業・運営の手引きガイド（ダイジェスト版）
- 実施報告書（本書）
- 別添資料① プラン造成講座・リスクマネジメント研修 資料
- 別添資料② 農林漁家民宿開業・運営の手引き活用・ツアー検証セミナー 資料
- 別添資料③ 各ツアーのレポート
- 別添資料④ 各ツアーのアンケート

平成28年3月発行

(株)農協観光 旅行事業部 グリーンツーリズム事業課

〒101-8613 東京都千代田区外神田1-16-8 Nツアービル6F

TEL 03-5297-0309

FAX 03-5297-0130

URL <http://www.ntour.jp/>

事業WEBページ <http://ntour.jp/green2015/>

※無断転用を禁じます。